

人文学類
ハンドブック

2021（令和3年度）入学者用

金沢大学人間社会学域人文学類

School of Humanities, Kanazawa University

人文学類によるこそ

人文学類新入生のみなさん、ご入学おめでとう。

みなさんは、おおきな希望や期待、そして若干の不安をかかえながら金沢大学に入ってこられたことでしょう。これからはこの金沢大学人文学類がみなさんの新しい活動の場となります。とは言っても、金沢大学はあくまでも「場所」にすぎません。そこでどのような学びをし、どのような人間関係を形成して、どのような「花」を咲かせていくのか、すべては、みなさんの主体的で能動的な姿勢にかかっています。大学が授業や施設などを提供するのには当たり前ですが、それらはどこまでも素材であり、目的があって初めて素材は素材としての意味をもちます。人文学類には7つのプログラムと28の標準的履修モデルが用意されています。あなたは何を学ぶために人文学類を選びましたか。どこに自分の最大の関心がありますか。プログラムを選択するまでの1年間、自らの目的をとことん問い直してみてください。そして、プログラムに進んだあとは、教員、職員、先輩、同輩、後輩、いろいろな人との豊かな交わりを通じて、そして提供される様々な素材を活用して、思う存分に自分の目的を実現していきましょう。そのとき、この『人文学類ハンドブック』はみなさんにとって大切な指針となりますので、十分に熟読してください。

人文学とは、行動、思想、文化、歴史、言語、文学といった人間の多様な営みやその産物に現代的視点から解釈を施し意味を与えて、普遍的な価値を考究するとともに新しい知を創出していく、人間探究の基礎的学問です。ただ、残念なことに、「社会のニーズ」や「時代のニーズ」という尺度で測られるとき、人文学という学問は実用性に欠けるものとして、ともすれば消極的・否定的な評価が与えられがちです。確かに、人文学を修めたからといって、それが就職活動や資格取得に直ちに有利に働くということはありません。しかし、みなさんには——人文学を志したみなさんだからこそ——、実用性や効率性、経済性を求めるそのような社会や時代のニーズという尺度だけでものを判断する人であってほしくないし、むしろそのような尺度を無批判に受け容れることなくいったん相対化できる人であってほしいのです。

少し乱暴な分け方ですが、私たちが生き延び、生存するために必要な知識を与えてくれるのが理系学問であるとするれば、その知識をふまえながらも「善き生とは」と問い続けるのが人文学だと言えます。生の基盤において、数量化不能で科学では扱うことのできない人間的な価値についての知識がなくては、「生き延びのための知識」も私たちの「幸福」——他のものの手段とはなりえない究極の生の目的——に資することはないでしょう。要するに、これは正しいのか、これは美と言えるのか、善とは何か、という普遍的な人間的価値への不断の問いかけは、私たちの豊かな生にとって不可避であり、人文学は人間に対する深い理解（本当の意味での「教養」）とそのような能動的な問いかけの姿勢を育てていくものなのです。

最後に一言。私たちは「関係」を生きる存在です。その意味では、孤立は人の本来的なあり方とは言えません。問題に直面して一人思い悩むこともあるでしょう。しかし、その時には、抱え込まないで周りの人に相談してみてください。親でも、友人でも、教員でも、カウンセラーでも誰でもいいです。まず話してみましょ。自分一人では思いもつかなかった視点を示唆してもらえるかもしれません。同じように、隣に悩んでいる人がいるときは、あなたが話しかけてあげてください。

大いに思索し、大いに読書し、大いに語り、大いに悩み、豊かな「関係」を作り上げ、充実した実りある大学生活をみなさんが送られることを祈念しています。

目 次

人文学類によるこそ

目 次

教 員 名 簿

学習計画について

1. 授業科目の配分について…………… 1
2. 専門教育科目と共通教育科目の関連について…………… 1
3. 学域 GS 科目について…………… 2
4. 学域 GS 言語科目について…………… 2
5. 英語学習にかかる卒業要件について…………… 3
6. 「人文学基盤科目」について…………… 5
7. プログラムについて…………… 6
8. 英語による履修プログラムについて…………… 7
9. 公認心理師養成プログラムについて…………… 8
10. 副専攻について…………… 9
11. 免許状・資格取得のための履修について…………… 9
 - (1) 教育職員免許状
 - (2) 学芸員資格取得
 - (3) 社会調査士
 - (4) 考古調査士 (2 級)

プログラム別履修科目一覧と教育方針・履修上の注意 …… 15

- (1) 学類共通 (学域 GS 科目, 学域 GS 言語科目, 人文学基盤科目, 卒論関係) 履修科目一覧
- (2) プログラム別履修科目一覧と教育方針・履修上の注意

修学上の心得

1. 授業について…………… 56
2. 専門教育科目の単位数について…………… 56
3. 履修登録について…………… 56
4. 定期試験について…………… 56
5. 転学類, プログラムの変更について…………… 57
6. 授業科目履修の具体的方法について…………… 57
7. 卒業論文について…………… 60
8. 体験実習科目について…………… 60

(1) インターンシップ	
(2) 異文化体験実習	
9. 外部検定試験等による単位認定について	62
10. 富山大学人文学部との単位互換について	64
11. 授業の撮影・録画・録音について	64
一般心得について	
1. 共同研究室の使用について	65
2. 時間外自習室について	65
3. 姓名等の変更・異動について	66
4. アドバイス教員について	66
5. 休学・退学について	66
6. 事故等について	66
7. 非常時における授業・試験等の取扱いについて	67
8. 学生に対する公示について	67
9. 学生団体の結成届出について	67
10. 学生が行う集会・掲示について	67
11. 就職・インターンシップ等支援について	67
12. 駐車・駐輪について	68
13. 『金沢大学学生便覧』『きいつけまっし』参照事項	68
大学院について	69
金沢大学履修規程	71
金沢大学人間社会学域規程	75
人文学類細則	111
非常時等における緊急登学停止措置に関する要項（抄）	142
人間社会学域校舎配置図	143

学習計画について

1. 授業科目の配分について

卒業及び学位取得に必要な単位は、下の表のとおりです。共通教育科目と専門教育科目の中から必要な単位を修得しなければなりません。共通教育の単位の修得については、「共通教育科目履修案内」に詳しく説明されています。両科目とも1年次から配置されていますが、共通教育科目は1年次を中心とした低学年で、専門教育科目は主に2年次以降の高学年で修得するよう配置されています。

学 年	授業科目の配置
4 年	専門教育科目 学域 GS 科目 学域 GS 言語科目 専門基礎科目(人文学基盤科目) 専門科目 (教職科目)
3 年	
2 年	
1 年	
	共通教育科目 導入科目 GS 科目 (6 群) GS 言語科目 自由履修科目 初習言語科目

2. 専門教育科目と共通教育科目の関連について

人文学類の単位修得要件は、下の別表第1にあるとおりです。

別表第1 単位修得要件

区 分		修得すべき単位数及び条件		
共通教育科目	導 入 科 目	36 単位以上	大学・社会生活論 1 単位 データサイエンス基礎 1 単位 地域概論 1 単位 1 群から 5 群の各群から 2 単位を含む 12 単位 6 群から 3 単位 ※単一の群で 3 単位を超える修得単位は、自由履修科目に算入する。 計 15 単位	28 単位以上
	GS 科目 (6 群)		TOEIC 準備コース 4 単位, EAP コース 4 単位	
	GS 言語科目		2 単位以上	
	自由履修科目※ ¹			
	基礎科目			
	初習言語科目		1 言語 8 単位以上	
専門教育科目	学 域 GS 科 目	88 単位以上	アカデミックスキル 1 単位 プレゼン・ディベート論 1 単位 学域俯瞰科目 データサイエンス応用系科目 2 単位以上	6 単位以上
	学域 GS 言語科目		2 科目 2 単位	
	専門基礎科目 (人文学基盤科目)		「人文学序説 A・B・C・D」4 単位を含む 14 単位以上を必ず履修すること。	
	専門科目		「卒業論文演習 A」1 単位, 「卒業論文演習 B」1 単位, 「卒業論文演習 C」1 単位, 「卒業論文演習 D」1 単位, 「卒業論文」6 単位を必ず履修すること。また、これら 10 単位に加えて、各プログラムで指定する専門科目 54 単位以上の履修が必要。※ ²	
卒業に必要な単位数		124 単位以上		

※¹ 共通教育科目における自由履修科目は、GS 科目、基礎科目および初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した単位、並びにその他の共通教育科目（導入科目及び GS 言語科目を除く）の単位を指します。

※² 教職免許を取得するために必要な「教育の基礎的理解に関する科目等」や「各教科の指導法」の単位は、卒業要件に含まれませんので、十分に注意して下さい。

2 年次以降はプログラムを選択することになり、必要な単位の内容もプログラムごとに異なります。希望するプログラムの専門科目のことも考慮に入れながら、1 年次より計画的に単位修得ができるよう学習計画をたてる必要があります。

専門教育科目の中の「学域 GS 科目」は、後掲の「プログラム別履修科目一覧と教育方針・履修上の注意」の表に「学域 GS 科目」と表示されている科目群から 8 単位を修得する必要があります。また、「学域 GS 言語科目」も 2 単位を修得しなければなりません。

3. 学域 GS 科目について

学域 GS 科目は、共通教育科目の GS 科目と同じように金沢大学〈グローバル〉スタンダード (KUGS) に対応して開講する専門教育科目で、初学者科目(「アカデミックスキル」,「プレゼン・ディベート論」), 学域俯瞰科目, データサイエンス応用系科目から構成されています。初学者科目は 1 年次前期 (Q1・Q2) に、学域俯瞰科目とデータサイエンス応用系科目は、主に 1 年次後期 (Q3・Q4) から 2 年次にかけて複数開講されます。初学者科目 2 単位, 学域俯瞰科目とデータサイエンス応用系科目から 6 単位 (ただし、データサイエンス応用系科目は 2 単位以上) の計 8 単位以上を修得する必要があります。

なお、本学類では 8 単位を超えて修得した学域 GS 科目単位は「選択科目」に算入されます。

また、学域 GS 科目は、システム抽選対象科目となります。履修登録期間内の登録者数が各科目の適正人数(受講上限数)を超えた場合、履修登録期間終了後に、共通教育科目と同じくシステムにより抽選が行われます。履修登録補正期間になると抽選結果をインターネットで確認できますので、履修が許可されなかった場合や履修登録を間違えた場合は、補正を行ってください。なお、操作方法等は共通教育科目のシステム抽選対象科目と同じです。

4. 学域 GS 言語科目について

学域 GS 言語科目は、人間社会学域専門教育科目の基礎的な内容を英語で話し、書き、発表することができるようになること、ひいては様々な実践的英語力を身につけ海外留学希望者の専門的な英語力の底上げを図ることを目的とした専門教育科目です。主に 2 年次後期 (Q3, Q4) に開講します。「学域 GS 言語科目 I (1 単位)」及び「学域 GS 言語科目 II (1 単位)」を 1 単位ずつ計 2 単位修得する必要があります。

なお、学域 GS 言語科目は単位の重複履修が認められています(時間割が同じ時限の科目履修は不可)。

本学類では 2 単位を超えて修得した学域 GS 言語科目の単位は、2 単位まで「選択科目」に算入されます。

また、授業による履修のほか、以下の①～②の方法での単位修得も可能です。詳細は掲示等で案内します。

①外部検定試験による単位認定

外部検定試験で所定のスコアや成績を得た者は、申請により、学域 GS 言語科目の単位認定を受けることができます。

対象英語外部検定試験名	スコア等成績	認定単位
TOEIC (Listening & Reading Test)	630 以上	「学域 GS 言語科目 I・II」2 単位
TOEIC (Listening & Reading IP Test)	630 以上	
TOEFL iBT	※	
TOEFL-ITP		
IELTS		

※TOEFL iBT, TOEFL-ITP, IELTS のスコア等の成績については、後日告知します。

○単位認定についての留意事項

- ・ 成績評価は「認定」となります。
- ・ 認定された科目は GPA (59 ページを参照) 算出の対象外となります。
- ・ 認定単位数は、クォーターで定められた上限単位数には含めません。
- ・ 本制度による「学域 GS 言語科目」認定単位は 2 単位を限度とします。「学域 GS 言語科目 I・II」のうち、既にどちらか 1 単位を修得している場合は、未修得の残りの 1 単位分を認定します。

②派遣留学や海外研修による単位修得方法

<派遣留学（本学との交流協定に基づく外国の大学への留学）>

留学先大学で修得した科目のシラバスの内容により、「学域 GS 言語科目」に限らず、その他の専門教育科目や共通教育科目全般が認定の対象科目となります。申請を希望する場合は、派遣留学前に人間社会系事務部学生課へ相談してください。

<派遣留学以外の海外研修>

本学域各学類提供の海外研修プログラムや国際機構ホームページ掲載の各種プログラムでの海外研修を行った場合、当該プログラムで規定される授業科目単位（学域 GS 言語科目以外の授業科目もあります）の修得が可能です。詳細は掲示等で案内します。

5. 英語学習にかかる卒業要件について

社会のグローバル化が急速に進むなか、本学では、さまざまな場でグローバルに活躍できる高度人材育成のため、「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」をテーマに各種取組を進めています。中でも、英語学習において、①英語外部検定試験の複数回受験、②英語外部検定試験の基準スコアのクリア、③英語で開講される専門科目（EMI 科目）の修得が卒業要件に含まれています。①は全学で義務付けられており、②と③については人文学類独自の基準が設けられて、2つの必修科目（「人文学序説A」と「卒業論文演習A」）の単位認定要件となっています。

英語学習にかかる卒業要件	概要	単位認定要件の対象科目※
① 英語外部検定試験の複数回受験	2 回以上英語外部検定試験を受験する (1 回目は 1 年次 Q4 の TOEIC-IP テスト)	人文学序説 A
② 英語外部検定試験の基準スコアのクリア	英語外部検定試験で所定の基準スコア (TOEIC (L&R) 600 相当) をクリアする	人文学序説 A
③ 英語で開講される専門科目の修得	英語で開講される専門科目 (EMI 科目) を履修し、所定の単位数 (プログラム別に 2~4 単位) を修得する	卒業論文演習 A

※該当科目を履修して合格となる成績を修めていても、各条件を満たし、所定の手続きを取るまで単位の発行が保留されます。

①英語外部検定試験の複数回受験について

本学では英語の外部検定試験受験を義務化しており、最低2回の受験が必要となります。

1回目の受験… 1年次に共通教育科目のGS言語科目「TOEIC準備」を履修してTOEICテストに必要な英語能力向上をはかり、大学が実施するTOEIC-IPテストをQ4に受験。

2回目の受験… 2年次に専門教育科目「学域GS言語科目」を履修して人間社会学域に共通する基礎的な英語力を身につけ、各自で英語の外部検定試験を受験。(対象試験についての詳細は別に示す。)

上記2回目の英語の外部検定試験受験は、下表のとおり、本学類では必修の人文学基盤科目である「人文学序説A」の単位認定要件の一部となります。(「人文学序説A」を履修して合格となる成績を収めていても、2回目の英語外部検定試験を受け、かつ所定の基準スコアをクリアするまで単位の発行が保留されます。) このため、2年次以降早めに2回目の外部検定試験を受験して下さい。詳細については、別に掲示等でお知らせします。

取扱い	受験時期 (推奨)	対象英語外部検定試験	受験免除者
① 2回受験すること と②の基準スコア (TOEIC 600相当)を クリアすることが 「人文学序説A」の単 位認定要件の一部と なります	2年次以降 (早期)	TOEIC (Listening & Reading Test) TOEIC (Listening & Reading IP Test) TOEFL iBT TOEFL-ITP IELTS	・TOEIC 760以上のスコア (またはそれに相当する 他の対象英語外部検定試 験のスコア)を有する者 ・本学が定める英語圏を国 籍とする者

※TOEFL iBT, TOEFL-ITP, IELTSのスコア等の成績については、後日告知します。

②英語外部検定試験の基準スコアについて

本学では、卒業までに英語の外部検定試験において所定の基準を満たす必要があります。人文学類の基準スコアは以下のとおりです。対象のいずれかの試験で基準スコアをクリアしてください。

対象英語外部検定試験	基準スコア
TOEIC (Listening & Reading Test)	600
TOEIC (Listening & Reading IP Test)	600
TOEFL iBT	※
TOEFL-ITP	
IELTS	

※TOEFL iBT, TOEFL-ITP, IELTSの基準スコアについては、後日告知します。

○単位認定についての留意事項

- ・大学が1年次Q4に実施するTOEIC-IPテストで基準スコアをクリアした場合、「人文学序説A」の認定要件の一部を満たすこととなりますが、そのスコアはTOEIC準備クラスの単位認定に使用するの
で、他の科目の単位認定には使えません。
- ・英語外部検定試験の2回目（あるいはそれ以上）の受験によって「人文学序説A」の認定要件に使用
するスコア等の成績は、一定のハイスコアを取得した場合、他の科目の単位認定の申請に利用する
ことができます。（詳細は人社系教務係に確認してください。）
- ・1年次にTOEIC（L&R）760以上のスコア（またはそれに相当する他の対象英語外部検定試験のスコ
ア）を取得した場合、2年次以降の受験が免除され、①と②の要件を同時に満たしたことになります。
- ・なお、1回目の受験で基準スコアを達成した場合でも、2回目の受験免除のスコアに達していない場
合は、2回目の受験が必要となります。

③英語で開講される専門科目（EMI科目）の修得について

本学では英語による専門科目（EMI科目）の修得が必須となっており、人文学類では各プログラムで
必要なEMI科目の単位数を定めています。プログラムごとの修得単位数は以下のとおりです。EMI科目
に該当する科目については、各プログラムのオリエンテーションや掲示等で確認してください。

プログラム	EMI科目の修得単位数
心理学プログラム	2
現代社会・人間学プログラム	2
考古学・文化資源学プログラム	4
歴史学プログラム	2
日本・中国言語文化学プログラム	2
欧米言語文化学プログラム	4
言語科学プログラム	2

6. 「人文学基盤科目」について

「人文学基盤科目」は、人文学類生が、人文諸学の基礎的な知識や方法論を学んで人文学的教養を幅
広く身につけるために設定された科目群です。人文学類生はすべて、配属されるプログラムに関わり
なく、この「人文学基盤科目」群のうち「人文学序説A, B, C, D」計4単位を必ず履修するとともに、
残りの科目から自分の関心にしたがって計10単位以上（合計14単位以上）を履修してください。

なお、プログラム（および標準的履修モデル）によっては特に履修が推奨されている科目があります
ので、詳細は各プログラムの概要説明で確認してください。「人文学基盤科目」は下の表の通りです。
対象学年が「1～4年」となっているものは1年次から受講可能です。

人文学基盤科目	単位	対象学年	人文学基盤科目	単位	対象学年
人文学序説A（必修）	1	1～4年	北陸の考古学	1	2～4年
人文学序説B（必修）	1	1～4年	宗教芸術論	1	2～4年
人文学序説C（必修）	1	1～4年	イメージを読み解く	1	2～4年
人文学序説D（必修）	1	1～4年	グローバルヒストリー	1	2～4年

現代社会・人間学入門	1	1～4年	歴史学と現在 1	1	1～4年
哲学の始源	1	1～4年	歴史学と現在 2	1	1～4年
社会情報学 A	1	1～4年	日本語学講義 1	1	2～4年
社会情報学 B	1	1～4年	日本の物語と語り物	1	2～4年
ジェンダーと社会 A	1	1～4年	日本文学の近代	1	2～4年
ジェンダーと社会 B	1	1～4年	日本文学とメディア	1	2～4年
知覚・認知心理学 A	1	2～4年	中国の言語文化 A	1	2～4年
知覚・認知心理学 B	1	2～4年	中国の言語文化 B	1	2～4年
学習・言語心理学 A	1	2～4年	言語研究入門	1	2～4年
学習・言語心理学 B	1	2～4年	文学研究入門	1	2～4年
感情・人格心理学 A	1	2～4年	比較文学入門	1	2～4年
感情・人格心理学 B	1	2～4年	言語認知科学入門	1	2～4年
古代文明論	1	2～4年	—	—	—

7. プログラムについて

1年次には、共通教育科目や1年次から受講可能な専門教育科目を履修しますが、2年次からはプログラムを選択して、各プログラムの専門科目を中心に学ぶことになります。人文学類におかれているプログラムは以下の7プログラムです。

プログラム別学生受入適正上限表

学域	学類 (一学年定員)	プログラム	適正上限数	標準的履修モデル
人間社会学域	人文学類 (141)	心理学プログラム	20	心理学
				公認心理師取得
		現代社会・人間学プログラム	35	哲学・倫理学
				社会学
				地理学
				文化人類学
				応用倫理学
				現代社会論
		考古学・文化資源学プログラム	30	考古学
				文化資源学
				文化遺産学
				比較文化学
				美術史・建築史学
				宗教学・民俗学
		歴史学プログラム	46	日本史
				東洋史
西洋史				
日本・中国言語文化学プログラム	32	日本語学日本文学		
		中国語学中国文学		
		日本・中国言語文化学総合		
		比較文学		

		欧米言語文化学プログラム	34	英語学英米文学
				ドイツ語学ドイツ文学
				フランス語学フランス文学
				対照言語学
				比較文学
		言語科学プログラム	15	言語学
				言語認知科学

上の表の中で「適正上限」としてあるのは、そのプログラムが受け入れることのできる一学年の学生数で、各プログラムの専門教育を円滑に行うために設定されたものです。志望者がこの上限を超えない限り、志望通りのプログラムに進むことができますが、適正上限数を超えた場合には、1年次の3月に1年次第1～第4クォーターのGPA（59ページを参照）により選考を行い、結果によっては第2志望以下のプログラムに進むことになります。ただし、各プログラムの3～4年生の在籍数の合計（留年生を含む）が各学年の適正上限数の合計を下回る場合は、定められた適正上限数のプラス10%を限度として、当該プログラムへの志望者を受け入れます（令和4年度以降に適用）。選考においては、修得単位数が28単位以上（修得単位数には評価が可否の科目及び教職科目を含む）の者を優先してGPA順の選考を行います。また、GPAが等しい場合には、修得単位数の多い者を優先します。修得単位数が28単位未満の者については、GPT（GPA×単位数）順で選考を行います。選択プログラムは入学年度ごとに決まりますので、諸事情により1年次末にプログラムを選択しなかった場合は、入学年度が同じ学生の選択結果を確認し、適正上限に空きがあるプログラムの中から選択することになります。プログラムの選択方法の詳細等については毎年開催されるプログラム選択説明会で説明しますので、必ず参加して確認してください。不明な点は人社系教務係に問い合わせてください。

[選択プログラムの変更]

選択したプログラムでの学習が自分の考えていたものと違った場合や学習内容を変更したい場合には、他のプログラムへの変更を願い出ることができます。変更希望先のプログラムにおいて、同じ入学年度の学生数が適正上限に満たない時には、願い出が認められます。原則として、プログラムを移って以後6学期の履修が必要です。ただし、転入前の単位の取得状況によっては短縮を認められることがありますので、詳細については人社系教務係に問い合わせてください。また、出願前に、現在のプログラムのプログラム長あるいは指導教員に必ず相談をして、指導を受けてください。プログラムの変更は2年次以降、毎年7月と12月に出願期間が設けられています。

8. 英語による履修プログラムについて

本学の推進する「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」というテーマに基づき、本学類では英語履修プログラム「言語文化学」を開設しています。

このプログラムは、選択しているプログラムでの所定の学修に加えて、言語を中心とする文化の固有性や多様性を英語によって学際的・分野横断的に学ぶ補完的なプログラムであり、いずれのプログラムを選択していても登録することが可能です。登録後、定められた科目を履修し、単位を取得することにより、卒業時に本プログラムの修了書が授与されます。

この英語履修プログラム「言語文化学」への登録は、2年次以降所定の手続きを経て決定します。詳細は別に掲示等でお知らせします。

9. 公認心理師養成プログラムについて

公認心理師とは

心の健康問題に対し、他の関係者とも連携しながら心理に関する支援を行う国家資格です。心理学に関する専門的知識及び技術をもって、以下の行為を行うことを業とする者とされています。

- 1 心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析すること。
- 2 心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと。
- 3 心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと。
- 4 心の健康に関する普及を図るための教育及び情報の提供を行うこと。

公認心理師資格について

公認心理師資格を有するには、以下 (i), (ii) を両方とも満たした上で、国家試験を受験し、合格する必要があります。

- (i) 大学（学士課程）において必要な科目を修めて卒業する。
 - (ii) 大学院で必要な科目を修めて修了する。または、所定の実務経験を積む。
- ※本学における (ii) 大学院課程での対応については、現在検討中です。

人間社会学域「公認心理師養成プログラム」について

本学域「公認心理師養成プログラム」を修了することで、学士課程での要件を満たすことができます。本プログラムの履修要件及び修了要件は以下のとおりです。詳細は別にお知らせします。

履修要件… 人間社会学域規程（以下、「学域規程」）別表第 10-2 に規定された修得すべき単位数を修得していること

修了要件… 学域規程別表第 10-1 に規定された全科目を修得すること

- ※ 学域規程別表第 10-1 に規定された科目単位は卒業要件に算入できません。
- ※ 学域規程別表第 10-2 に規定された科目は、人文学類専門教育科目の科目番号で履修登録してください（ただし、教育職員免許状取得希望者除く）。その場合、学類および各プログラムの指定に従った卒業要件に算入できます。

なお、教育職員免許状取得希望者は、「発達心理学 (b)」「学校心理学（心理学的支援法）」「教育相談論（教育・学校心理学）」の 3 科目について、学校教育学類専門教育科目の科目番号で履修することで、教育職員免許状取得のための「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位数に算入することが可能です。ただし、その場合、当該 3 科目の単位数は卒業要件に算入できませんのでご注意ください。

プログラムの受け入れ人数には上限があり、希望者数が受け入れ上限を超えた場合は、選考により履修者を決定します。

本プログラムを修了することにより、公認心理師試験に必要な証明書の交付を受けることができます。

10. 副専攻について

副専攻とは、2年次以降の、選択するプログラムや履修モデルでの学修に加え、学類やプログラムの区分を超えて、興味関心のある分野をひとりひとりが主体的に選び、学際的、横断的に学ぶことにより、視野を広げ、柔軟な発想力や応用力を養うことを目的とした制度です。

定められた科目を履修し、単位を修得することにより、その分野を副専攻として修了したことが認定されます。

なお、人間社会学域の学生は、卒業要件単位として認められる選択科目枠などを利用して修得していくことになります。

詳細については、金沢大学 Web サイト（「金沢大学 副専攻」で検索）に掲載しています。入学年度によって副専攻の種類や履修すべき科目が異なりますので、そちらを参照してください。

11. 免許状・資格取得のための履修について

選択プログラムによって、各種資格の取得の難しさが異なります。

関連領域の教員へ相談の上、プログラム選択や学習の計画を立ててください。

(1) 教育職員免許状

教育職員免許状取得に関しては、別冊を用意しましたので、そちらを参照してください。

(2) 学芸員資格取得

(1) 学芸員とは

博物館には総合、科学、自然史、歴史、美術、動物園、植物園、水族館など、各種各様のものがあり、それぞれの博物館には次に掲げる職務に従事する専門的職員（学芸員）がいます。

ア. 博物館資料の収集、保管、展示

イ. 博物館資料の利用に関する説明、助言、指導

ウ. 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究及び保管、展示等に関する技術的な研究

エ. 博物館資料に関する案内書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の作成

オ. その他企画、立案に関する業務

(2) 博物館の専門的職員（学芸員）となるためには

専門的職員（学芸員）となる資格は、「博物館法」及び「同法施行規則」に次のように定められています。

学芸員となる資格 (博物館法 第五条 一) 学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの

文部科学省令で定める必修科目の単位と、人間社会学域で開講される科目との関係は、次ページのとおりのとおりです。

博物館法施行規則 第1条第1項に定める 科目及び単位数		左記に対応して開設されている 授業科目及び単位数			開講学類 (プログラム)	開講 年度
科目	単位数	授業科目	開講年次	単位数		
博物館概論	2	博物館概論 A	1・2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
		博物館概論 B	1・2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
生涯学習概論	2	生涯学習論 A	2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
		生涯学習論 B	2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
博物館資料論	2	博物館資料論 A	2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
		博物館資料論 B	2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
博物館経営論	2	博物館経営論 A	2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
		博物館経営論 B	2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
博物館資料 保存論	2	博物館資料 保存論 A	2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
		博物館資料 保存論 B	2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
博物館展示論	2	博物館展示論 A	2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
		博物館展示論 B	2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
博物館情報・ メディア論	2	博物館情報・ メディア論 A	2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
		博物館情報・ メディア論 B	2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
博物館教育論	2	博物館教育論 A	2・3・4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
		博物館教育論 B	2・3・4年	1		
博物館実習	3	博物館実習 A	4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
		博物館実習 B	4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
		博物館実習 C	4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年
		博物館実習 D	4年	1	人文学類 (考古学・文化資源学)	毎年

【注意事項】

1. 「博物館資料論 A・B」「博物館経営論 A・B」「博物館資料保存論 A・B」「博物館展示論 A・B」「博物館情報・メディア論 A・B」「博物館教育論 A・B」は、「博物館概論 A・B」の単位を修得してから履修するのが望ましいが、必修科目の履修などやむを得ない理由がある場合は、「博物館概論 A・B」の単位を修得していなくても履修を認める。
2. 「博物館実習」は、原則として学芸員資格取得に必要な科目全ての単位を修得した者のみ履修を認める。また、2年次までに必要な科目全ての単位を修得した場合は3年次での履修も認める。例外として4年次で「生涯学習論 A・B」,「博物館経営論 A・B」,「博物館情報・メディア論 A・B」の単位修得が済んでいない者も、同時履修を条件として認める。留学による未修得は別途考慮する場合がある。ただし、科目等履修生は認めない。

●標準的な履修モデル

- 1年 博物館概論 A・B
- 2～3年 生涯学習論 A・B
博物館資料論 A・B
博物館資料保存論 A・B
博物館展示論 A・B
博物館経営論 A・B
博物館情報・メディア論 A・B
博物館教育論 A・B
- 4年 博物館実習 A・B・C・D

●資格取得の方法

上表に記した科目の単位を全て取得した者は、人社系教務係に請求することにより、卒業時に「学芸員資格取得証明」を得ることができる。

(3) 社会調査士

(1) 社会調査士とは

社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等をとらえることのできる能力を有することを示す、学士課程卒業レベルの資格です。一般社団法人 社会調査協会<<https://jasr.or.jp>> (以下、協会) が認定します。金沢大学では、2004年以降、この資格を取得している卒業生は150名以上います。

(2) 社会調査士となるためには

下記の表の A~G に対応する授業科目の単位を修得することで、卒業の際に、社会調査士資格を取得することができます。どのプログラムの学生でも資格取得は可能ですが、実習的科目が多く履修人数の制限もあるため、現代社会・人間学プログラム以外のプログラムでは、取得のための負担がかなり大きくなります。また、2年生以上で、一定数の単位を修得するなどの条件を満たせば、在学中に「社会調査士(キャンディデイト)」を取得することができ、就職活動の際などに活用できます。

協会で定める「資格取得のための標準カリキュラム」と、金沢大学人文学類で開講される授業科目との対応関係は、次の表の通りです。

社会調査協会の標準カリキュラム		左記に対応して開設されている授業科目			資格取得の要件
科目名	時間数	授業科目	開講年次	単位	
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	90分×15回相当	社会調査基礎 1, 2	2~4年	2	必修
【B】調査設計と実施方法に関する科目	90分×15回相当	社会学調査法 1, 2	2~4年	2	必修
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目	90分×15回相当	経験社会学演習	2~4年	2	必修
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	90分×15回相当	基礎社会統計学 1, 2	2~4年	2	必修
【E】多変量解析の方法に関する科目	90分×15回相当	発展社会統計学 1, 2	2~4年	2	【E】、【F】のうちいずれか1科目を選択必修
【F】質的な調査と分析に関する科目	90分×15回相当	現代社会・人間学実習 E※	3~4年	2	【E】、【F】のうちいずれか1科目を選択必修
【G】社会調査を実際に経験し学習する科目	90分×30回相当	現代社会・人間学実習 A, B, C, D※	3~4年	4	必修

<注>

- 1) E科目とF科目は選択で、片方の修得でかまいません。
- 2) 入学年度によって表の記載が異なっていることがあるので、注意してください。
- 3) 毎年度4月の時点では、どの授業科目も協会に科目認定申請している段階にあります。科目認定の結果については、協会のページ <<https://jasr.or.jp/>>で、最新の「金沢大学」の情報を参照してください。また、過去にさかのぼって認定科目が追加される場合もあります。
- 4) 授業科目のなかには毎年度は開講されないものがあるので、開講予定を把握して、計画的に履修して

審査を通過した学生には、考古調査士資格認定機構から「考古調査士資格認定証」が送られます。

資格申請を考えている学生は考古学の担当教員に必ず相談して下さい。申請のための単位を取得しているか、担当教員が事前に確認します。

第1科目群（考古学の概説）

考古学概説 A（1単位）、考古学概説 B（1単位）

第2科目群（考古学の基礎的方法論を扱う科目群）

地域考古学 A,B（各1単位）、社会考古学 A,B（各1単位）

第3科目群（考古学の個別分野を特論的に扱う科目群）

比較考古学演習 A,B（各1単位）、考古科学演習 A,B（各1単位）

第4科目群（考古学調査の技術的実習分野）

考古学実習 A,B（各1単位）、考古学実習 1,2（各1単位）

第5科目群（埋蔵文化財を扱う科目群）

地域考古学演習 A,B（各1単位）、社会考古学演習 A,B（各1単位）

(2)～(4)の3つの資格は、人文学類が中心に開講している科目を取ることによって取得可能な資格（学芸員、考古調査士（2級））と人文学類生のみが取得可能な資格（社会調査士）です。この他に、取得可能な資格については、全学生に配付されている学生便覧に掲載されています。

プログラム別履修科目一覧と教育方針・履修上の注意

- (1) 学類共通（学域 GS 科目，学域 GS 言語科目，人文学基盤科目，卒論関係）履修科目一覧
- (2) プログラム別履修科目一覧と教育方針・履修上の注意

以下に掲げるのは，人文学類共通及び7つのプログラムの，卒業するために必要な単位数一覧表と，教育方針・履修上の注意点です。

2年次以降のプログラムにおける単位修得方法の基本になるものですから，随時参照し，疑問点はアドバイザー教員や人社系教務係に尋ねてください。

学類共通（学域GS科目，学域GS言語科目，人文学基盤科目，卒論関係）

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	
			必修	選択必修		
初學者科目	アカデミックスキル	1	1			
	プレゼン・ディベート論	1	1			
学域GS科目	大学・学問論	1			}	
	ジェンダーと教育	1				
	異文化理解1	1				
	異文化理解2	1				
	文学概論1	1				
	文学概論2	1				
	世界遺産学	1				
	ルールリテラシー	1				
	人文社会科学における法	1				
	イメージの比較文化学	1				
	防災学入門	2				
	現代日本の文化と社会	1				
	地域創造学1	1				
	地域創造学2	1				
	教育の制度と経営 ※1	2				
	生徒の生活と進路の指導論 ※1	2				
	GS科目発展系科目群 ※2	-				
	データサイエンス応用系科目	データサイエンスの技術	1			}
		国際経済の理論とデータ	1			
		国際貿易の理論とデータ	1			
データの活用に向けた線形代数学入門		2				
情報処理		1				
計量政治分析実習		2				
ビジネス・データ分析（ビジネス・データ・サイエンス）		1			}	
統計データ分析の基本（多変量解析）		1				
データで考える日本の未来（データサイエンス）		1				
統計ソフトRによるビッグデータ分析		1				
金融リテラシー		1				
白書の購読と議論		1				
地域課題解決と政策立案のための統計データ分析：EBPM（根拠に基づく政策立案）		1				
統計学技能Ⅰ		2				
統計学技能Ⅱ		3				
データサイエンス系発展科目群 ※3	-					
学域GS科目 小計			8			
学域GS言語科目	学域GS言語科目Ⅰ	1	1		2年	
		1			海外研修等	
	学域GS言語科目Ⅱ	1	1		2年	
		1			海外研修等	
学域GS言語科目 小計			2			

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
人文学基盤科目	人文学序説A	1	1		1～4年
	人文学序説B	1	1		1～4年
	人文学序説C	1	1		1～4年
	人文学序説D	1	1		1～4年
	現代社会・人間学入門	1			1～4年
	哲学の起源	1			1～4年
	社会情報学A	1			1～4年
	社会情報学B	1			1～4年
	ジェンダーと社会A	1			1～4年
	ジェンダーと社会B	1			1～4年
	知覚・認知心理学A ※4	1			2～4年
	知覚・認知心理学B ※4	1			2～4年
	学習・言語心理学A ※4	1			2～4年
	学習・言語心理学B ※4	1			2～4年
	感情・人格心理学A ※4	1			2～4年
	感情・人格心理学B ※4	1			2～4年
	古代文明論	1			2～4年
	北陸の考古学	1			2～4年
	宗教芸術論	1			2～4年
	イメージを読み解く	1			2～4年
	グローバルヒストリー	1			2～4年
	歴史学と現在1	1			1～4年
	歴史学と現在2	1			1～4年
	日本語学講義1	1			2～4年
	日本の物語と語り物	1			2～4年
	日本文学の近代	1			2～4年
日本文学とメディア	1			2～4年	
中国の言語文化A	1			2～4年	
中国の言語文化B	1			2～4年	
言語研究入門	1			2～4年	
文学研究入門	1			2～4年	
比較文学入門	1			2～4年	
言語認知科学入門	1			2～4年	
人文学基盤科目 小計			14		
卒論関係	卒業論文演習A	1	1		4年
	卒業論文演習B	1	1		4年
	卒業論文演習C	1	1		4年
	卒業論文演習D	1	1		4年
	卒業論文	6	6		4年
卒業関係 小計			10		

- ※1 教育職員免許取得希望者は、人間社会学域規程別表第7に定める科目番号95050「教育の制度と経営」、科目番号95270「生徒の生活と進路の指導論」で履修すること。
なお、この場合、修得した単位は教育職員免許取得に必要となるため、学域GS科目の単位として認められない。
- ※2 学域GS科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS科目発展系科目群」の科目（GS科目の発展系として位置づけられる科目を言う。）を履修することができる。
なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4月初めに公示する。
- ※3 当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4月初めに公示する。
- ※4 心理学プログラムの心理学モデルにおいては履修を推奨する科目（○）、公認心理師取得モデルにおいては履修を強く推奨する科目（◎）。

- 選択科目には、以下の単位が含まれる。
- ①学域GS科目で8単位を超えて修得した単位
 - ②学域GS言語科目で2単位を超えて修得した単位（上限2単位）
 - ③選択したプログラムの授業科目で卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
 - ④人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
 - ⑤他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限24単位）

心理学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	心理学モデル	公認心理師取得モデル	備考
			必修	選択必修				
	学域GS科目 ※1	-	8		学類共通 参照	●	●	
	学域GS言語科目	-	2			●	●	
	人文学基盤科目	-	14			●	●	
	卒論関係	-	10			●	●	
基礎講義	心理学概論A	1	1	8	2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学概論B	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	臨床心理学概論A	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	臨床心理学概論B	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学統計法1A	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学統計法1B	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学統計法2A	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学統計法2B	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	基礎社会統計学1	1		2～4年	○		選択科目として履修	
	基礎社会統計学2	1		2～4年	○		選択科目として履修	
	応用倫理学	2		2～4年	○		選択科目として履修	
	社会学概論1	1		1～4年	○		選択科目として履修	
	社会学概論2	1		1～4年	○		選択科目として履修	
	社会調査基礎1	1		1～4年	○		選択科目として履修	
	社会調査基礎2	1		1～4年	○		選択科目として履修	
	哲学概論A	2		1～4年	○		選択科目として履修	
	哲学概論B	2		1～4年	○		選択科目として履修	
	音声学1	1		2～4年	○		選択科目として履修	
	音声学2	1		2～4年	○		選択科目として履修	
	音声学3	1		2～4年	○		選択科目として履修	
	音声学4	1		2～4年	○		選択科目として履修	
	言語と認知A1	1		2～4年	○		選択科目として履修	
	言語と認知A2	1		2～4年	○		選択科目として履修	
プログラム指定の専門科目	社会・集団・家族心理学A	1		6	2～4年		◎	公認心理師科目
	社会・集団・家族心理学B	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	心理学特殊講義A	1			2～4年	○		
	心理学特殊講義B	1			2～4年	○		
	応用心理学特殊講義A	1			2～4年	○		
	応用心理学特殊講義B	1			2～4年	○		
	神経・生理心理学A	1			2～4年	○	◎	公認心理師科目
	神経・生理心理学B	1			2～4年	○	◎	公認心理師科目
	健康・医療心理学A	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	健康・医療心理学B	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	司法・犯罪心理学A	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	司法・犯罪心理学B	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	産業・組織心理学A	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	産業・組織心理学B	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	心理的アセスメントA	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	心理的アセスメントB	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	障害者・障害児心理学A	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	障害者・障害児心理学B	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	発達心理学	2			2～4年 学校教育学類開講		◎	公認心理師科目
	心理学的支援法	2			3～4年 学校教育学類開講		◎	公認心理師科目
福祉心理学	2		2～4年 学校教育学類開講		◎	公認心理師科目		
教育・学校心理学	2		3～4年 学校教育学類開講		◎	公認心理師科目		
発展社会統計学1	1		2～4年	○		社会学開講科目		
発展社会統計学2	1		2～4年	○		社会学開講科目		
社会言語学1	1		2～4年	○		言語学開講科目		
社会言語学2	1		2～4年	○		言語学開講科目		
基礎演習・実習	心理学実験1A	1	1	2	2～4年 心理学プログラムは2年次必修	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学実験1B	1	1		2～4年 心理学プログラムは2年次必修	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学実験2A	1	1		2～4年 心理学プログラムは2年次必修	●	●	心理学プログラムは2年次必修
	心理学実験2B	1	1		2～4年 心理学プログラムは2年次必修	●	●	心理学プログラムは2年次必修
	心理学研究法1A	1	1		3～4年 心理学プログラムは3年次必修	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは3年次必修
	心理学研究法1B	1	1		3～4年 心理学プログラムは3年次必修	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは3年次必修
	心理学研究法2A	1	1		3～4年 心理学プログラムは3年次必修	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは3年次必修
	心理学研究法2B	1	1		3～4年 心理学プログラムは3年次必修	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは3年次必修
	心理学実験・調査演習A	1			原則として3年次必修	◎	◎	原則として3年次必修
	心理学実験・調査演習B	1			原則として3年次必修	◎	◎	原則として3年次必修
	心理学実験・調査演習C	1			3～4年	◎	◎	

心理学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	心理学モデル	公認心理師取得モデル	備考
			必修	選択必修				
発展演習・実習	学習心理学演習A	1	8		2～4年	○		
	学習心理学演習B	1			2～4年	○		
	比較心理学演習A	1			2～4年	○		
	比較心理学演習B	1			2～4年	○		
	行動分析学演習A	1			2～4年		○	
	行動分析学演習B	1			2～4年		○	
	知覚心理学演習A	1			2～4年		○	
	知覚心理学演習B	1			2～4年		○	
	神経心理学演習A	1			2～4年		○	○
	神経心理学演習B	1			2～4年		○	○
	基礎心理学演習A	1			2～4年		○	
	基礎心理学演習B	1			2～4年		○	
	応用心理学演習A	1			2～4年		○	
	応用心理学演習B	1			2～4年		○	
	人格心理学演習A	1			2～4年			○
	人格心理学演習B	1			2～4年			○
	青年心理学演習A	1			2～4年			○
	青年心理学演習B	1			2～4年			○
	臨床心理学演習A	1			2～4年			○
	臨床心理学演習B	1			2～4年			○
	健康心理学演習A	1			2～4年			○
健康心理学演習B	1	2～4年			○	○		
認知行動療法演習A	1	2～4年				○	○	
認知行動療法演習B	1	2～4年				○	○	
プログラム指定の専門科目 小計			32					
選択科目 ※2				22				
合計				88				

履修モデルについて

- ：必修科目
- ◎：履修を強く推奨する科目
- ：履修を推奨する科目

※1 学域 GS 科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS 科目発展系科目群」の科目（GS 科目の発展系として位置づけられる科目を言う。）を履修することができる。
 なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4 月初めに公示する。

- ※2 選択科目には、以下の単位が含まれる。
- ①学域 GS 科目で 8 単位を超えて修得した単位
 - ②学域 GS 言語科目で 2 単位を超えて修得した単位（上限 2 単位）
 - ③選択したプログラムの授業科目で卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
 - ④人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
 - ⑤他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限 24 単位）

[心理学プログラム]

〈教育方針〉

心理学は、心へのさまざまなアプローチのうち、主に行動を手がかりにして心の仕組みや働きについて科学的に研究する学問である。心理学プログラムでは、国家資格「公認心理師」の基礎となる「大学における必要な科目」の多くを開講しているが、単に資格を取得するための知識修得のみならず、学問としての心理学を専門的に学ぶことを重視している。よって「心理学分野の基礎から応用にわたる幅広い知識とその研究方法を学んで人の心と行動の様々な特徴を理解し、修得した知識や方法をもとに社会的問題や心理的課題を実証的な方法で解明することができる」といった学生を育てることを教育目標としている。そのために人が感じ、知り、考え、学ぶ過程や、人間関係、人の発達など、心のさまざまな問題について実証的な方法を用いて、多くの隣接領域と関わりながら研究を進めている。またそれらの研究を進めるために実験や調査などの研究方法が工夫されてきた。

心理学プログラムでは4つの大きな教育目標を持っている。それは、1：このような心理学研究をすすめるために必要な実験や調査の手法を学ぶこと、2：さまざまな心理学の領域で研究されてきたことについて講義や演習を通して学ぶこと、3：学んだ研究法とこれまでの研究の概要を活かして自ら問題（テーマ）設定をして研究をする力を身につけること、4：更に習得した知識・研究法を卒業後の進路に活用できるようにすること、である。

〈科目内容および科目選択について〉

2年生では、基礎講義科目として心理学研究の全体像をつかめるようにした「心理学概論 A,B」「臨床心理学概論 A, B」および「心理学統計法 1A, 1B, 2A, 2B」が開講されている。また基礎演習・実習科目で「心理学実験 1A, 1B, 2A, 2B」も開講されている。「心理学実験 1A, 1B, 2A, 2B」では、複数のテーマによる心理学の基礎的な実験や調査を行い、得られたデータを分析してレポートにまとめる。データの分析には統計の手法を用いることが多く、そのため統計学を「心理学統計法 1A, 1B, 2A, 2B」として学ぶ。3年生では基礎演習・実習科目として「心理学研究法 1A, 1B, 2A, 2B」「心理学実験・調査演習 A, B, C（うち2科目選択）」が必修科目として設定されている。「心理学研究法 1A, 1B, 2A, 2B」ではより高度な実験の技法や調査の手法を学ぶ。また、「心理学実験・調査演習 A, B, C」では自らの関心に基づいた研究テーマについて実験・調査を行いレポートにまとめる。4年生では自らの研究を「卒業論文」にまとめる。

また2年生からは人文学基盤科目および心理学プログラムの発展講義科目において、心理学および隣接諸領域について概説する講義やテーマを絞った講義科目が用意されている。また、英語論文を読み、専門のテーマを学ぶ発展演習・実習科目も用意されている。それぞれ選択科目だが、毎年開講されない科目もあるので、履修には注意されたい。

なお人文学基盤科目で開講されている心理学の科目も公認心理師の受験資格要件としては履修が必須であるためこの点にも注意されたい。

心理学は学問的な発展を遂げる中で多くの隣接領域と関わりをもつようになったが、その範囲は広く、社会科学や発達科学、言語学や、さらには医学、工学など自然科学系の学問とも深く関わっている。心理学を学ぶ者は人間についての様々な視点を持ち、人文学類内外の関連領域について学ぶことにも努めてほしい。

【心理学プログラム CP】2020年入学者から

2年次には、心理学分野全般を概観する概論的な科目および、心理学研究の基本的考え方や基礎技術を習得するための実験を中心とした科目や心理学統計法に関する講義科目を学ぶ。3年次には、さらに高度な実験研究法や調

査法を修得するための科目を学び、さらに、自分の関心に基づいて実験や調査を行いレポートにまとめる科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次には、心理学諸領域の基礎知識や最新トピックなどを各講義および演習を通じて学ぶ。また所定の科目を修得した後、4年次以降に人間社会学域公認心理師養成プログラムの科目を修得することで、国家資格公認心理師となるための「大学における必要な科目」の要件を満たすことができる。なお公認心理師の国家試験を受験するためには、大学における必要な科目を修得して大学を卒業した後、大学院または指定された機関で定められた教育を受ける必要があります。

現代社会・人間学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	哲学・倫理学	社会学	地理学	文化人類学	応用倫理学	現代社会論		
			必修	選択必修									
プログラム指定の専門科目	基礎演習・実習	西洋古代中世哲学基礎演習A	1	6	2～4年	○							
		西洋古代中世哲学基礎演習B	1		2～4年	○							
		近現代哲学基礎演習	2		2～4年	○							
		倫理想基礎演習A	1		2～4年	○							
		倫理想基礎演習B	1		2～4年	○							
		応用倫理学基礎演習A	1		2～4年	○					◎		
		応用倫理学基礎演習B	1		2～4年	○					◎		
		人間学基礎演習A	1		2～4年	○					○		
		人間学基礎演習B	1		2～4年	○					○		
		経験社会学演習	2		2～4年			○			○	○	
		理論社会学演習	2		2～4年			○					
		社会情報学演習1	1		2～4年			○					
		社会情報学演習2	1		2～4年			○					
		地域調査入門演習1	1		2～4年					◎	○		○
		地域調査入門演習2	1		2～4年					◎	○		○
		人文地理学実習1	1		2～4年					◎			○
		人文地理学実習2	1		2～4年					◎			○
		自然地理学実習1	1		2～4年					○			
	自然地理学実習2	1	2～4年					○					
	文化人類学演習A	1	2～4年						◎		○		
	文化人類学演習B	1	2～4年						◎		○		
	発展演習・実習	西洋古代中世哲学演習A	1	12	2～4年	○							
		西洋古代中世哲学演習B	1		2～4年	○							
		西洋古代中世哲学研究演習A	1		2～4年	○							
		西洋古代中世哲学研究演習B	1		2～4年	○							
		近現代哲学演習	2		2～4年	○							
		近現代哲学研究演習	2		2～4年	○							
		倫理想演習A	1		2～4年	○							
		倫理想演習B	1		2～4年	○							
		倫理想研究演習A	1		2～4年	○					○		
		倫理想研究演習B	1		2～4年	○					○		
		人間学演習A	1		2～4年	○					◎		
		人間学演習B	1		2～4年	○					◎		
		人間学研究演習A	1		2～4年	○							
		人間学研究演習B	1		2～4年	○							
		応用社会学演習1	1		2～4年			○			○	○	
応用社会学演習2		1	2～4年				○			○	○		
ジェンダーと社会演習1		1	2～4年				○			○	○		
ジェンダーと社会演習2		1	2～4年				○			○	○		
人文地理学演習1	1	2～4年					○		○				
人文地理学演習2	1	2～4年					○		○				
自然地理学演習1	1	2～4年					○						
自然地理学演習2	1	2～4年					○						
地誌学演習1	1	2～4年					○	○		○			
地誌学演習2	1	2～4年					○	○		○			
現代社会・人間学実習A	1	1	3～4年	●	●	●	●	●	●	●			
現代社会・人間学実習B	1	1	3～4年	●	●	●	●	●	●	●			
現代社会・人間学実習C	1	1	3～4年	●	●	●	●	●	●	●			
現代社会・人間学実習D	1	1	3～4年	●	●	●	●	●	●	●			
現代社会・人間学実習E	2		3～4年		◎	◎	◎						
現代社会・人間学実習F	2		3～4年		◎								
プログラム指定の専門科目 小計			36										
選択科目 ※2			18										
合計			88										

- 履修モデルについて
 ●：必修科目
 ◎：履修を強く推奨する科目
 ○：履修を推奨する科目

※1 学域GS科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS科目発展系科目群」の科目（GS科目の発展系として位置づけられる科目を言う。）を履修することができる。
 なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4月初めに公示する。

- ※2 選択科目には、以下の単位が含まれる。
 ①学域GS科目で8単位を超えて修得した単位
 ②学域GS言語科目で2単位を超えて修得した単位（上限2単位）
 ③選択したプログラムの授業科目で卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
 ④人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
 ⑤他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限24単位）

[現代社会・人間学プログラム]

〈教育方針〉

現代社会・人間学プログラムは、哲学・倫理学、社会学、地理学、文化人類学の学問分野を核としながら、現代における人間と社会、文化、環境について総合的・学際的に学ぶプログラムである。本プログラムでは上記各学問分野の基礎を学んだうえで、より専門的あるいは学際的な研究テーマを学生が自分で選択し、主体的に学ぶことができる。本プログラムでの学修の特徴は、2年次に主に哲学・倫理学、社会学、地理学、文化人類学の学問分野の基礎的な内容を学んだうえで、3年次にはそれぞれの学問分野に設けられたプログラム共通科目の「現代社会・人間学実習」を履修することで、文献の読み込み、データの収集と分析、フィールド調査、徹底的な討論等を通じて、より応用的・実践的な学修を行うことができる点にある。4年次にはそれまでの学修内容を踏まえて、各自で研究テーマを設定し、1年間をかけて卒業論文の執筆に取り組む。このように、現代社会・人間学プログラムでは単に授業に出席するだけの受け身の学修ではなく、自ら研究課題を設定し、現代社会の諸問題に主体的に取り組むためのより応用的・実践的な能力を身につけることが重視される。

〈科目内容および科目選択について〉

現代社会・人間学プログラムでは、以下に示すように、研究テーマに応じて「哲学・倫理学」「社会学」「地理学」「文化人類学」「応用倫理学」「現代社会論」の6つの履修モデルが準備されている。もちろん、学生はこれ以外にも定められた範囲内（基礎講義12単位、発展講義6単位、基礎演習・実習6単位、発展演習・実習12単位）で自由にカリキュラムを組み立てることができるが、その場合にも以下の履修モデルを参考にカリキュラムを組み立ててほしい。なお、現代社会・人間学プログラムではすべての学生が3年次にプログラム共通科目である「現代社会・人間学実習A～D（履修モデルによってはEおよびFも含む）」を履修しなければならない。下記の履修モデル以外のカリキュラムを自分で組んだ場合にも、必ず「現代社会・人間学実習A～D」を履修する必要がある。この授業を履修していないと4年次に卒業論文を執筆することはできないので、その点に留意すること。

〈履修モデル〉

「哲学・倫理学」

授業は講義と演習から構成されている。このうち講義には、概説的なものと、各教員が専門とする領域の中から一定のテーマを設定してそれを深く掘り下げていくもの（特殊講義）とがある。また演習は、英語、ドイツ語、フランス語、ギリシア語等のテキストを読み、外国語の能力を高めるとともに、丁寧な読解を通じて解釈と議論を行うものである。したがって、初習言語については、ドイツ語、フランス語、ギリシア語、ラテン語などのヨーロッパ系言語のいずれかを修得することが望ましい。

科目選択については、哲学・倫理学の基礎的な概念、考え方や問題の所在を分かりやすく講述する「哲学概論A、B」，「人間学概説A・B」，「応用倫理学」を、2年次終了までに複数科目履修しておくことが望ましい。また、哲学史と倫理学史における重要な思想を講述する「西洋古代中世思想史A・B」，「西洋近世思想史A・B」，「西洋倫理思想史A・B」を、3年次終了までに複数科目を履修しておくことが望ましい。なお、哲学、倫理学系の特殊講義も各自の関心に応じて複数科目を選択することが求められる。また、隣接領域科目の「社会学概論A」，「地理学概論A」「文化人類学概論A・B」および関連発展講義も知識や考え方の幅を広げるために受講することが望ましい。

演習科目には「基礎演習」，「演習」，「研究演習」の3種類があるが、各自の外国語の修得状況や関心に応じて適宜選択してよい。ただ、一つのテキストを複数クォーターにわたって講読する場合は、理解を深める上でもできるだけ連続して受講することが望ましい。3年次以降の「現代社会・人間学実習A～D」は必修であり、哲学、倫理学

系の実習において、現代社会が抱える哲学的・倫理的諸課題とその解決に向けた方策等を実践的に探究する。

4年次では、各自が自由にテーマを設定してそれまでの学習の集大成となる卒業論文を作成する。そのために「卒業論文演習 A~D」により、学生個人の関心が結実するように関連分野の教員による指導が行われる。

「社会学」

社会学はヨーロッパ生まれの学問なので、外国語は英語以外にも、できればドイツ語やフランス語を学習することが望ましいだろう。

基礎講義からは、社会学理論と社会調査についての基礎を学ぶ科目である「社会学概論 1・2」,「社会調査基礎 1・2」を早めに履修するほか、「現代社会学 AI~E I」からも適宜履修する。隣接学問の授業科目「比較民族誌」「文化人類学講義」を受講することも望ましい。また基礎演習・実習として、「経験社会学演習」,「理論社会学演習」などを履修し、文献報告を経験し、議論に能動的に参加する。

発展講義では、基礎講義での学びをより深めた専門的なテーマの授業科目が提供される。社会調査におけるデータ収集を学ぶ「社会学調査法 1・2」,社会調査データの分析を深める「発展社会統計学 1・2」,現代社会の様々なトピックを掘り下げて学ぶ「現代社会学 AII~E II」などを履修する。

発展演習・実習としては、3年次に1年を掛けて「現代社会・人間学実習 A~F」が開講されるが、このなかの社会学系の授業を履修して欲しい。先行研究に基づきリサーチクエスションや仮説を立て、それらに基づいた社会調査を実施する。そして収集したデータを適切な手法を用いて分析し、得られた結果を報告会で発表し最終的に報告書にまとめる。これまでに学んだ社会学の理論と調査の知識を総動員する大変重要な科目なので、積極的な参加が望まれる。

4年次には、それまでの社会学系の授業科目等での学びを踏まえ、各自がテーマを設定し、集大成となる卒業論文を作成する。「卒業論文演習 A~D」により、学生個人の関心が結実するように関連分野の教員による指導が行われる。なお、社会調査を実施する学生は、提出予定年度の夏までに「企画書」を作成する。

社会学系の特定の授業科目（社会調査士資格の認定科目）の単位を修得することで、社会調査士資格が取得できる。在学中に取得できるキャンディデイト資格のほか、大学卒業時に本資格を取得できる（必要科目等の詳細は、『人文学類ハンドブック』の該当ページを参照のこと）。

「地理学」

1年次には、コンピュータの基本的な操作方法を修得するとともに、幅広く人文・社会科学および自然科学の教養的な素養を身につけ、専門教育で英語文献を読みこなすために必要な基礎的読解力を養っておくことが望ましい。

基礎講義として「地理学概論 A・B」を履修するほか、「自然地理学概説 A・B」「日本地誌 A・B」,「世界地誌 A・B」などの履修が望ましい。これらは基礎となる授業であるため、早めに受講してほしい。発展講義科目の「人文地理学特殊講義 1・2」,「地誌学特殊講義 1・2」,「自然地理学特殊講義 1・2」では地理学の最新のトピックを取り上げた講義が行われる。また、そのほか「社会学概論 1・2」や「文化人類学概論 A・B」など関連する分野の授業も幅広く履修することが望ましい。

基礎演習・実習の「人文地理学実習 1・2」は地域分析や GIS を用いた主題図の作成といった人文地理学系の内容であり、「自然地理学実習 1・2」は空中写真判読や地形断面図・地形分類図の作成といった自然地理学系の内容

容からなる。「地域調査入門演習1・2」は、地理学的なテーマに基づいてフィールド調査を行う初学的な演習であり、実際に野外で調査をおこない、その調査結果を報告書にまとめる作業を通じて、地域調査の基礎を学ぶ。

発展演習・実習の「人文地理学演習1・2」、「地誌学演習1・2」、「自然地理学演習1・2」は、学生が地理学の代表的な文献（日本語および英語）を読んで発表し、受講者全員でその内容について討議する。

3年次に開講される「現代社会・人間学実習A～E」は、地理学的な問題意識に根ざした応用的なフィールド調査を行い、その成果を報告書にまとめるものである。このうちAおよびBでは、フィールド調査を行う地域についての文献や統計資料、既存研究などを調べて現地調査に備え、Eにおいて夏期休暇期間中に4泊5日の日程でフィールド調査を行う。CおよびDでは調査結果をまとめ、発表し、研究報告書を仕上げる。4年次は「卒業論文演習A～D」において関連分野の教員による指導が行われる。それらをふまえて自ら調査・分析を行い、卒業論文を作成する。

「文化人類学」

授業は講義、演習、実習からなり、それぞれ基礎的なもの（「基礎講義」「基礎演習・実習」と発展的なもの（「発展講義」「発展演習・実習」とに分かれる。英語を用いる授業も多いので、アカデミックな情報収集と発信ができるレベルの英語能力をみがいておくことが望まれる。

基礎講義には1年次から履修可能な入門的な科目が用意されており、哲学・倫理学、社会学、地理学、文化人類学分野の入門科目をまんべんなくとることが望ましい。「文化人類学概論A・B」はぜひ早めに履修しておいて欲しい。

発展講義では、基礎講義で学んだことをふまえて、より専門的なテーマについての講義がおこなわれる。文化人類学分野の発展講義「比較民族誌」「文化人類学講義」をぜひ履修するほか、他分野の発展講義もできるだけ広くとっておくことが望まれる。

演習では、発表やディスカッションなど、学生による積極的な参加が求められ、少人数の学生に対して教員がインテンシブな指導をおこなう。文化人類学の知識を深めるために、「文化人類学演習A・B」はぜひ履修して欲しい。

3年次には、一年をかけて実習をおこなう。「現代社会・人間学実習A～E」で、文化人類学分野の実習に参加して欲しい。文化人類学実習は40年以上にわたって北陸地方の地域集落を対象に実施してきた社会調査実習で、7日間のフィールドワークをもとに、学生各自が特定テーマに関する報告書を執筆する。卒業論文作成の準備ともなる重要な科目なので、積極的な参加が望まれる。

4年次には、学生それぞれがテーマを設定し、大学生活の集大成となる卒業論文を作成する。フィールドワークを土台にした文化人類学分野の卒業論文を完成させるために、「卒業論文演習A～D」において関連分野の教員による少人数指導がおこなわれる。

「応用倫理学」

本プログラムの学際的な履修モデルであり、授業の種別および初習言語についての考え方は基本的に「哲学・倫理学」と同様である。科目選択については、まずもって、倫理学、応用倫理学の基礎的な概念、考え方や問題の所在を講述する「人間学概説A」、「応用倫理学」、「人間学基礎講義A・B」を2年次終了までに履修しておくことが強く推奨される。また、応用倫理学という学問は環境や生命、科学等に関連した現代社会の問題を扱うもの

であり、隣接領域科目の「社会学概論 A」、「社会統計学」、「文化人類学概論 A・B」および関連発展講義も知識や考え方の幅を広げるために受講することが望ましい。

演習科目には「基礎演習」、「演習」、「研究演習」の 3 種類があるが、「応用倫理学基礎演習 A・B」および「人間学演習 A・B」は 2 年次以降早めに履修することが強く推奨される。そのほかの演習については各自の外国語の修得状況や関心に応じて適宜選択してよい。なお、一つのテキストを複数クォーターにわたって講読する場合は、理解を深める上でもできるだけ連続して受講することが望ましい。3 年次以降の「現代社会・人間学実習 A～D」は必修であり、哲学、倫理学系の実習において、現代社会が抱える哲学的・倫理的諸課題とその解決に向けた方策等を実践的に探究する。

4 年次では、各自が自由にテーマを設定してそれまでの学習の集大成となる卒業論文を作成する。そのために「卒業論文演習 A～D」により、学生個人の関心が結実するように関連分野の教員による指導が行われる。

「現代社会論」

本プログラムの学際的な履修モデルであり、基礎講義では、早い段階で「哲学概論 A」、「社会学概論 1・2」、「地理学概論 A」、「文化人類学概論 A」を履修し、幅広く学問の基礎を固めて欲しい。基礎演習・実習でも、2 年次に社会学系、地理学系、文化人類学系の授業科目である「経験社会学演習」、「地域調査入門演習 1・2」、「人文地理学実習 1・2」、「文化人類学演習 A・B」から幅広く選択し、3 年次に選択する発展演習・実習の基礎を築くことを目標としてほしい。

3 年次を中心に、社会学系、地理学系、文化人類学系の発展講義「経験社会学 1・2」、「人文地理学特殊講義 1・2」、「比較民族誌」、「文化人類学講義」などを中心に授業科目を選択して学習し、学際的な視点を高めてほしい。その上で発展演習・実習では、3 年次において、自分の関心・テーマを深めることを目標として、「現代社会・人間学実習 A～D」（プログラム必修科目）の学問系を主として社会学、地理学、文化人類学から（あるいはそこまでの学びのあり方によっては哲学、倫理学からも）選択して、実習科目を学ぶ。並行して、現代社会・世界の諸課題を扱う発展演習である「応用社会学演習 1・2」、「人文地理学演習 1・2」、「地誌学演習 1・2」などを履修し、各領域の理解を深める。

4 年次では、各自が自由にテーマを設定してそれまでの学習の集大成となる卒業論文を作成する。そのために「卒業論文演習 A～D」により、学生個人の関心が結実するように関連分野の教員による指導が行われる。

考古学・文化資源学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	文化資源学	考古学	文化遺産学	比較文化学	美術史・ 建築史学	宗教学・ 民俗学	
			必修	選択必修								
	学域GS科目 ※1	-	8		学類共通 参照	●	●	●	●	●	●	
	学域GS言語科目	-	2			●	●	●	●	●	●	
	人文学基盤科目	-	14			●	●	●	●	●	●	
	卒論関係	-	10			●	●	●	●	●	●	
基礎講義	考古学・文化資源学概説A	1	1	12	1年	●	●	●	●	●	●	
	考古学・文化資源学概説B	1	1		1年	●	●	●	●	●	●	
	比較文化学概説A	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
	比較文化学概説B	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
	文化遺産学概説A	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
	文化遺産学概説B	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
	考古学概説A	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
	考古学概説B	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
	文化資源学の方法論	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
	考古学の方法論	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
プログラム基礎実習	2	2		2年	●	●	●	●	●	●		
発展講義 プログラム指定の専門科目	比較文化論	1		8	2年	○			○		○	
	南アジア文化論	1			2年				○		○	
	仏教文化論	1			2年				○		○	
	日本の思想と宗教	1			2年				○		○	
	文化交流史	1			2年	○			○	○	○	
	宗教文化論	1			2年				○	○	○	
	建築史A	1			2年				○	○		
	建築史B	1			2年				○	○		
	東アジア文化遺産学A	1			2年	○		○				
	東アジア文化遺産学B	1			2年	○		○				
	オリエント文化遺産学A	1			2年							
	オリエント文化遺産学B	1			2年							
	西洋美術史A	1			2年	○		○			○	
	西洋美術史B	1			2年	○		○			○	
	西洋美術史C	1			2年			○			○	
	西洋美術史D	1			2年			○			○	
	比較美術史A	1			2年			○			○	
	比較美術史B	1			2年			○			○	
	地域考古学A	1			2年			○				
	地域考古学B	1			2年			○				
	社会考古学A	1			2年			○				
	社会考古学B	1			2年			○				
	比較考古学A	1			2年	○	○					
	比較考古学B	1			2年	○	○					
	考古科学A	1			2年			○				
	考古科学B	1			2年			○				
	文化人類学概論A	1			2年							○
	文化人類学概論B	1			2年							○
比較民族誌	1		2年							○		
文化人類学講義	1		2年							○		
基礎演習・実習	比較文化論演習A	1		8	2年				○		○	
	比較文化論演習B	1			2年				○		○	
	南アジア文化論演習A	1			2年				○		○	
	南アジア文化論演習B	1			2年				○		○	
	文化交流史演習A	1			2年	○			○	○	○	
	文化交流史演習B	1			2年	○			○	○	○	
	建築史演習A	1			2年				○	○		
	建築史演習B	1			2年				○	○		
	美術史演習A	1			2年			○		○	○	
	美術史演習B	1			2年			○		○	○	
	東アジア文化遺産学演習A	1			2年			○				
	東アジア文化遺産学演習B	1			2年			○				
	オリエント考古学演習A	1			2年	○	○	○		○		
	オリエント考古学演習B	1			2年	○	○	○		○		
	地域考古学演習A	1			2年	○	○	○				
	地域考古学演習B	1			2年	○	○	○				
	社会考古学演習A	1			2年		○					
	社会考古学演習B	1			2年		○					
	比較考古学演習A	1			2年		○					
	比較考古学演習B	1			2年		○					
考古科学演習A	1		2年			○						
考古科学演習B	1		2年			○						

考古学・文化資源学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	文化資源学	考古学	文化遺産学	比較文化学	美術史・ 建築史学	宗教学・ 民俗学	
			必修	選択必修								
プログラム指定の専門科目	発展演習・実習	比較文化学実習A	1	4	3年				○		○	
		比較文化学実習B	1		3年			○		○		
		比較文化学実習C	1		3年			○	○			
		比較文化学実習D	1		3年			○	○			
		文化遺産学実習A	1		3年	○	○		○			
		文化遺産学実習B	1		3年	○	○		○			
		文化遺産学実習C	1		3年	○	○			○		
		文化遺産学実習D	1		3年	○	○			○		
		考古学実習A	1		2年	○	○					
		考古学実習B	1		2年	○	○					
		考古学実習C	1		2年	○	○					
		考古学実習D	1		2年	○	○					
		考古学実習1	1		2年		○					
		考古学実習2	1		2年		○					
		考古学実習3	1		2年		○					
		考古学実習4	1		2年		○					
	学芸員科目	博物館実習A	1		4年 ※3							
		博物館実習B	1		4年 ※3							
		博物館実習C	1		4年 ※3							
		博物館実習D	1		4年 ※3							
博物館概論A		1		1～4年								
博物館概論B		1		1～4年								
博物館資料論A		1		2～4年								
博物館資料論B		1		2～4年								
博物館経営論A		1		2～4年								
博物館経営論B		1		2～4年								
博物館資料保存論A		1		2～4年								
博物館資料保存論B		1		2～4年								
博物館展示論A		1		2～4年								
博物館展示論B		1		2～4年								
博物館教育論A	1		2～4年									
博物館教育論B	1		2～4年									
博物館情報・メディア論A	1		2～4年									
博物館情報・メディア論B	1		2～4年									
生涯学習論A	1		2～4年									
生涯学習論B	1		2～4年									
プログラム指定の専門科目 小計			32									
選択科目 ※2			22									
合計			88									

履修モデルについて
 ●：必修科目
 ◎：履修を強く推奨する科目
 ○：履修を推奨する科目

※1 学域GS科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS科目発展系科目群」の科目（GS科目の発展系として位置づけられる科目を言う。）を履修することができる。
 なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4月初めに公示する。

※2 選択科目には、以下の単位が含まれる。
 ①学域GS科目で8単位を超えて修得した単位
 ②学域GS言語科目で2単位を超えて修得した単位（上限2単位）
 ③選択したプログラムの授業科目で卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
 ④人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
 ⑤他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限24単位）

※3 「博物館実習」は、原則として学芸員資格取得に必要な科目全ての単位を修得した者のみ履修を認める。
 また、必要科目全ての単位を修得した3年生の履修も認める。

〔考古学・文化資源学プログラム〕

〈教育方針〉

このプログラムは考古学と文化資源学というふたつの領域で構成され、このうち文化資源学は、さらに文化遺産学、比較文化学、美術史、建築学、宗教学などの分野を含む。人文学類の中で最も学際的なプログラムである。いずれの分野も文献研究に加えフィールドワークを重視し、それらを通して、過去から現在まで多元的に存在する文化現象を相対的な視点からとらえ、現代に生きるわれわれにとってどのような意義をもつかを明らかにする。フィールドワークを基礎とした文化研究のために、本プログラムでは講義や演習のほか、調査手法に関する科目や、多彩な調査実習科目を用意している。

考古学では、世界各地の遺跡や埋蔵文化財が有する歴史的・文化的価値を正しく理解し、その研究と活用を実践するうえで必要な能力を身につけることを目標とする。授業では、野外調査や室内作業に関わる技術とともに、統計学的なデータ処理や理化学的な分析といった学際的手法についても習得する。教員は世界各地で調査を展開し、外国考古学の最新情報を学生に提供している。また、英語による授業を積極的に推進し、国際性の涵養に努めている。

文化資源学は世界中の有形・無形の文化を「文化資源」としてとらえ直すことで、単なる過去の遺物ではなく、そこに新たな価値を創造するものとして文化を研究しようとする学問である。その価値をただしく理解し評価するために、従来の伝統的な学問体系を基礎として学び、さらにそれらを統合することで、分野横断的な新たな学問の創出を目指す。対象となるのは人間が生み出してきたあらゆる文化現象、具体的には哲学、思想、芸術、宗教、建築、技術、言語、文学、慣習など多岐にわたる。

〈科目内容および科目選択について〉

プログラムへの分属を希望する1年生を対象に、入門のための基礎授業として「考古学・文化資源学概説A・B」が用意されている。2年生からはプログラムを構成する主要な3分野である「比較文化学概説A・B」「文化遺産学概説A・B」「考古学概説A・B」の入門科目が準備されている。これらは必修科目である。

「文化資源学の方法論」と「考古学の方法論」は、それぞれの分野の実際の調査手法についてより深く学ぶ授業である。「プログラム基礎実習」では、実際に短期のフィールドワークをおこない、得られたデータをもとにレポートを作成し、口頭発表もおこなう。これらの科目も必修で、2年生で履修することが望ましい。

それ以外の科目は選択必修、もしくは選択科目であるが、考古学を中心に学ぶか、文化資源学を中心に学ぶかで、いくつか注意すべき点がある。

このうち、考古学を中心に学ぶ学生は、2年次に「考古学実習A～D」もしくは「考古学実習1～4」を履修することを勧める。これらの科目は実測・測量・撮影の技術を習得するもので、いずれも3年次からでも履修できるが、2年次に履修しておいたほうが勉強を進めやすい。また「考古学実習A～D」と「考古学実習1～4」は隔年開講であるため、2、3年次と連続して履修する必要がある。2年次に履修していなければ、3、4年次で履修することになる。考古学を中心に学ぶ学生は「考古学実習A～D」「考古学実習1～4」の全てを履修し、考古学の調査技術に習熟することが望ましい。

文化資源学を中心に学ぶ学生には、「文化資源学」「文化遺産学」「比較文化学」「美術史・建築史学」「宗教学・民俗学」の5つの履修モデルが準備されている。このうち、文化資源学は、プログラムを構成するさまざまな分野

をバランスよく履修することが、それ以外はコアとなる分野の科目を中心に履修することが想定されている。いずれのモデルでも、発展講義の科目群から 8 単位以上、基礎演習・実習の科目群から 8 単位以上を選択して履修する。基礎演習・実習科目はおもに日本語や英語の文献を素材にし、先行研究を自分の力で読み取り、議論を通じて考察する授業で、2～4 年次にわたって履修できる。発展演習・実習の科目群からは 4 単位以上を選択して履修する。おもに 3 年次以上の学生を対象におこなう授業で、それぞれの分野の「実習 A」から「実習 D」までが準備されている。各領域の基本的な研究手法の習得を目指し、実際のフィールドワークも含まれる。

4 年次には、自ら研究テーマを設定し、卒業論文を作成する。卒業論文は大学で学んだことの集大成であるので、積極的な取り組みが求められる。

なお、履修モデルはあくまでも履修の例であり、それにはとらわれずに、各自の関心にしたがって自由に科目を組み合わせ、あらたな学問領域を開拓することも期待される。

(博物館学芸員資格取得を目指す者は、P9 (11. 免許状・資格取得のための履修について (2) 学芸員資格取得)、考古調査士 (2 級) の取得を目指す者は、P13 (11. 免許状・資格取得のための履修について (4) 考古調査士 (2 級)) を参照してください。)

歴史学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	履修モデル			備考
			必修	選択必修		日本史	東洋史	西洋史	
プログラム指定の専門科目 演習科目	日本古代政治史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本古代政治史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本古代政治史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本古代政治史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本古代史料演習A 1	1			2～4年	○			
	日本古代史料演習A 2	1			2～4年	○			
	日本古代史料演習B 1	1			2～4年	○			
	日本古代史料演習B 2	1			2～4年	○			
	奈良平安時代史演習A 1	1			2～4年	○			
	奈良平安時代史演習A 2	1			2～4年	○			
	奈良平安時代史演習B 1	1			2～4年	○			
	奈良平安時代史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本中世地域史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本中世地域史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本中世地域史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本中世地域史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本中世寺院史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本中世寺院史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本中世寺院史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本中世寺院史演習B 2	1			2～4年	○			
	室町戦国時代史演習A 1	1			2～4年	○			
	室町戦国時代史演習A 2	1			2～4年	○			
	室町戦国時代史演習B 1	1			2～4年	○			
	室町戦国時代史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本近世前期史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本近世前期史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本近世前期史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本近世前期史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本近世中期史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本近世中期史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本近世中期史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本近世中期史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本近世後期史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本近世後期史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本近世後期史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本近世後期史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本近代史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本近代史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本近代史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本近代史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本現代史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本現代史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本現代史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本現代史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本近現代史演習A 1	1			2～4年	○			
日本近現代史演習A 2	1			2～4年	○				
日本近現代史演習B 1	1			2～4年	○				
日本近現代史演習B 2	1			2～4年	○				
中国秦漢時代史演習A 1	1			2～4年		○			
中国秦漢時代史演習A 2	1			2～4年		○			
中国唐宋時代史演習A 1	1			2～4年		○			
中国唐宋時代史演習A 2	1			2～4年		○			
中国明清時代史演習A 1	1			2～4年		○			
中国明清時代史演習A 2	1			2～4年		○			
中国秦漢時代史演習B 1	1			3～4年		○			
中国秦漢時代史演習B 2	1			3～4年		○			
中国唐宋時代史演習B 1	1			3～4年		○			
中国唐宋時代史演習B 2	1			3～4年		○			
中国明清時代史演習B 1	1			3～4年		○			
中国明清時代史演習B 2	1			3～4年		○			

12以上

〔歴史学プログラム〕

〈教育方針〉

歴史を理解することは、自らを知り、他者を知り、進むべき道筋を明らかにするために不可欠であり、歴史学はその確実な理解のために、具体的な根拠と実証的な手続きによって、実相の把握とそれに基づく全体像の再構築を目指す学問である。歴史学プログラムでは、この歴史学の方法を修得するため、歴史的に形成されてきた各地域の特性、およびそれに対するこれまでの研究蓄積を十分に顧慮しつつ、さまざまな史料・資料を集めて批判的に読み解く方法を学び、文化や慣習が異なる過去の人々を自分の目で見据え、考える知性と感性を磨いていく。そして自分で問題を見つけ、具体的な根拠と実証的な手続きによってこれを解き明かし、その成果を口頭発表および論文の形で公開する能力を身につける。以上を通して、今日の国際社会の中で、問題の核心を深く理解し、その克服に向けてチャレンジできる人材を養成する。

〈科目内容および科目選択について〉

歴史学プログラムを志望する学生は、まず1年次に必修として、人文学基盤科目の「人文学序説A・B・C・D」を履修するほか、プログラムの基礎講義科目「歴史学入門」を受講し、歴史学全般の基礎知識や方法論の基礎を学ぶ。また選択必修となる学域GS科目や、共通教育科目（導入科目・GS科目・GS言語科目・初習言語科目など）を計画的に履修しておくこと。日本史を学ぶ学生でも英語は今後必須となるし、外国史に関心のある場合は関係する初習言語科目を履修しておくことが望ましい。人文学基盤科目では「歴史学と現在1・2」と「グローバルヒストリー」（2年次以上対象）の履修を推奨する。またそれぞれの関心に応じ、歴史学に限らず広い範囲の人文・社会関係科目を履修することが好ましい。

歴史学プログラムでは、日本史・東洋史・西洋史の3つの履修モデルを用意している。2年次以降は、共通教育科目、学域GS科目、人文学基盤科目を引き続き履修し、学域GS言語科目を受講するほか、選択する履修モデルを参考に、基礎講義（概説科目）、発展講義（特殊講義科目）、演習科目、実習科目の各科目を受講していくことが基本となる。それぞれの科目区分で必要となる単位数、および選択科目の単位数は別表を充分確認のこと。また各履修モデルに関わる科目内容・科目選択については末尾にまとめるのでよく読んでほしい。履修モデルは本プログラムの教育で対象とする地域によって構成され、多くの学生にとって適切かつ限られた時間内に効果的に歴史学の方法を修得し得るよう設計されているが、例えば交流史など、それぞれの問題関心やテーマの必要によっては、これらを横断するかたちで自らの履修計画を立てることになる。その場合は独断によらず、歴史学プログラム所属の教員と連絡をとり、相談を重ねて下記概説科目についても含め適切な履修計画を作成してほしい。長期の留学を考える場合なども同様である。

なお基礎講義（概説科目）に関して、歴史学プログラムでは上述の「歴史学入門」を必修とするほか、概説科目を幅広く履修し、歴史的な素養を身につけることを推奨している。自らの参考とした履修モデルで推奨される概説科目を受講しつつ、基礎講義分または選択科目分の単位として、それ以外の概説科目から6単位以上を必ず履修するようしてほしい。ほかに、科目には隔年開講のものが多く含まれるので、時間割・シラバスには注意すること。

歴史学プログラムで最も重視されるのは、4年次の必修の「卒業論文」である。4年間に培った能力と、上記各科目の履修を通して修得した歴史学の知識と方法とを全て活かし、教員とのやりとりを重ねながら、自らが設定した課題を解決し、論文として丁寧にまとめていく。提出された論文については口頭試問が行われ、卒業判定へと進む。大学での学びの総決算、自らの記念碑として、悔いのない充実した論文を書き上げてもらいたい。

〈履修モデル〉

「日本史」

本履修モデルは、日本列島とその周辺地域を舞台とする歴史に関心のある学生向けのものである。これを考える学生は、まず2年次に「日本史学実習A1・A2・B1・B2」の4科目すべてを履修していく。これは、古代・中世・近世・近現代という時代区分に即して、各時代の基本史料を素材に、漢文の訓読やくずし字の判読など、文字を文字として正確に読む訓練を施すことを目的としている。4年次に卒業論文作成に取り組むにあたっては、上記四つの時代区分のうち、いずれか一つの時代を選んでテーマ設定をするが、自分が研究テーマとして選んだ時代の実習だけを履修すればよいのではない。どの時代の史料も読める力を身につけることが、日本史学に必要な素養である。

次に2年次から3年次にかけて、概説・特殊講義・演習を履修する。概説は日本史の概論を講義し、特殊講義は担当教員の研究テーマを講義する授業である。そして演習は、実習で培った史料読解力を深化させるとともに、教員と受講生との討論を通して問題発見・解決能力を身につける。これらの授業を履修するに際しては、日本史の全ての時代にわたって授業を選択したり、各自の関心に応じて外国史の授業を多めに選択したりするなどして、幅広い視野に立って授業を選択するのが望ましい。

そして4年次には、「卒業論文演習A・B・C・D」を履修する。ここでは研究発表形式の授業によって、卒業論文執筆の準備が行われる。

最後に、1年次にGS科目の「日本史・日本文化」を履修しておくことを強く推奨する。なぜなら、この履修モデルは日本列島を舞台とする一国史観の養成を目的とするのではなく、日本の歴史を掘り下げながら世界史に通ずる真理を発見することを究極の目標としているからである。「GS日本史・日本文化」を履修して、世界史の中の日本史という視野をもつことの重要性を学んだうえで、2年次以降の専門科目を学んでいただきたい。

「東洋史」

本履修モデルは、中国を中心とするユーラシア東部地域の歴史に関心のある学生向けのものである。これを考える学生は、1年次に言語科目の「中国語A」をぜひ履修してほしい。朝鮮・北アジア・東南アジアに関心がある場合は、加えて「朝鮮語A」「ロシア語A」「フランス語A」などを履修しておくことよい。

2年次には、実習科目の「東洋史学基礎実習A・B」「東洋史学展開実習A・B」、および中国・東アジアを冠した各演習科目の履修をまず奨める。実習科目では東洋史研究に必要な知識・研究方法を身につけ、演習科目では基本的な歴史史料の読解方法を学ぶ。この両科目は東洋史の史料・参考文献の扱い方の基礎を修得する重要な科目であり、教員や他の学生との討論・交流を通し、問題発見・解決能力を鍛える主要な場となる。また東洋史の基本的知識を講義する「中国史概説1・2」「東アジア史概説A1・A2・B1・B2」や、東アジア史の諸問題を具体的に講義する中国・東アジアを冠した各特殊講義科目などを併せて履修し、幅広い素養を身につけてほしい。なお中国語能力の向上のため「中国語B・C」の履修も推奨する。

3年次には、演習科目の「東洋史学研究法基礎演習A・B」「東洋史学研究法展開演習A・B」の履修を奨める。ここでは学生が2年次の学修内容をもとに、教員の指導を受けつつ、自ら研究テーマを設定し探求していく。4年次の卒業論文執筆に備える重要なステップとなる科目である。

4年次には、「卒業論文演習A・B・C・D」を履修する。ここでは卒業論文の執筆に関する指導が行われる。なお卒業論文の執筆には史料読解力が不可欠となる。従って、3・4年次にも自分の研究テーマに近い演習科目はぜひ履修してほしい。

「西洋史」

ここではヨーロッパ、およびその政治的、文化的影響を受けた地域を中心に研究を進める場合の履修モデルを提示する。1年次には各自の関心に応じて、英語のほかにドイツ語、フランス語などの欧州言語科目を履修することが望ましい。また「地中海世界史」、「西洋中世史」、「西洋近代史」の各概説科目（A・B）は1年次から履修することができる。これらの概説科目から、関連する地域と時代に関する包括的な知見が得られるだろう。

2年次以降は上記概説科目の三系統に由来する科目名の特殊講義と演習を積極的に履修してほしい。担当教員の専門分野を主題とする特殊講義では、テーマの着想、分析の手法、議論の構築などに関して、今後、自ら研究を進めていく際の多くの示唆が得られるだろう。演習は外国語文献の講読が軸になる。その目的は、独力で外国語文献を読みこなすための語学力を向上させることだけではない。テキストを深く読み込み、様々な歴史学研究の潮流に触れることで、歴史の多様な領域への知的関心をさらに高めることができるだろう。

3年次には「西洋史学実習 A・B」を履修する（3年次必修）。この授業は、4年次で履修する「卒業論文演習 A・B」の予備的演習という位置づけである。卒業論文で扱いたいテーマを、どのようにして学術的な論文としてまとめあげるかの基礎を習得する。授業は、自分の研究テーマについて、考察の手順や参考文献の調査方法などとともに学んだあと、各自レジュメを作成して順番に発表し、その内容についてみんなで討議するという形式をとる。

4年次には、「卒業論文演習」を履修する。学生生活の集大成である卒業論文を充実したものするために、これまで培ってきた力をここで最大限発揮することが強く期待される。そしてこれらの課程を経て「卒業論文」を提出し、2月初旬に最終試験として口頭試問を受ける。

日本・中国言語文化学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	日本語学 日本文学	中国語学 中国文学	日本・中国 言語文化 学総合	比較文学		
			必修	選択必修					A群	B群	
発展講義	中国文学史B 1	1	10		2～4年	○	◎	○	○		
	中国文学史B 2	1			2～4年	○	○	○	○		
	中国語文献読解基礎A 1	1			2～4年	○	◎	○	○		
	中国語文献読解基礎A 2	1			2～4年	○	○	○	○		
	中国語文献読解基礎B 1	1			2～4年	○	◎	○	○		
	中国語文献読解基礎B 2	1			2～4年	○	○	○	○		
	中国の文化と社会C 1	1			2～4年	○	◎	○			
	中国の文化と社会C 2	1			2～4年	○	◎	○			
	中国の文化と社会E 1	1			2～4年	○	○	◎			
	中国の文化と社会E 2	1			2～4年	○	○	○			
	英米文学特殊講義A 1	1			2～4年					○	
	英米文学特殊講義A 2	1			2～4年					○	
	英米文学特殊講義B 1	1			2～4年					○	
	英米文学特殊講義B 2	1			2～4年					○	
	英語圏文学特殊講義 1	1			2～4年					○	
	英語圏文学特殊講義 2	1			2～4年					○	
	ドイツ文学講義A 2	1			2～4年					○	
	ドイツ文学講義B 2	1			2～4年					○	
	ドイツ文学講義C 2	1			2～4年					○	
	ドイツ文学講義D 2	1			2～4年					○	
フランス文学特殊講義A 1	1	2～4年					○				
フランス文学特殊講義A 2	1	2～4年					○				
フランス文学特殊講義B 1	1	2～4年					○				
フランス文学特殊講義B 2	1	2～4年					○				
プログラム指定の専門科目	日本語学演習A 1	1	8		2～4年	◎		○			
	日本語学演習A 2	1			2～4年	◎		○			
	日本語学演習B 1	1			2～4年	○		◎			
	日本語学演習B 2	1			2～4年	○		◎			
	日本古典文学演習A 1	1			2～4年	◎		○	○		
	日本古典文学演習A 2	1			2～4年	◎		○	○		
	日本古典文学演習B 1	1			2～4年	○		◎	○		
	日本古典文学演習B 2	1			2～4年	○		◎	○		
	日本近代文学演習A 1	1			2～4年	◎		○	○		
	日本近代文学演習A 2	1			2～4年	◎		○	○		
	日本現代文学演習A 1	1			2～4年	◎		○	○		
	日本現代文学演習A 2	1			2～4年	◎		○	○		
	中国語コミュニケーション初級 1	1			2～4年				◎	○	
	中国語コミュニケーション初級 2	1			2～4年				○	◎	○
	中国語コミュニケーション初級 3	1			2～4年				◎	◎	○
	中国語コミュニケーション初級 4	1			2～4年				○	◎	○
	中国語コミュニケーション初級 5	1			2～4年				◎	○	○
	中国語コミュニケーション初級 6	1			2～4年				○	○	○
	中国語コミュニケーション初級 7	1			2～4年				◎	○	○
	中国語コミュニケーション初級 8	1			2～4年				○	○	○
	中国語表現法A 1	1			2～4年				◎	○	
	中国語表現法A 2	1			2～4年				○	○	
	中国語表現法B 1	1			2～4年				◎	○	
	中国語表現法B 2	1			2～4年				○	○	
	現代中国時事文A 1	1			2～4年				◎	○	
	現代中国時事文A 2	1			2～4年				○	○	
	現代中国時事文B 1	1			2～4年				◎	○	
	現代中国時事文B 2	1			2～4年				○	○	
	英語圏文学演習A 1	1			2～4年						○
	英語圏文学演習A 2	1			2～4年						○
	英米文学演習A 1	1			2～4年						○
	英米文学演習A 2	1			2～4年						○
英米文学演習B 1	1	2～4年						○			
英米文学演習B 2	1	2～4年						○			
ドイツ文学演習A 1	1	2～4年						○			
ドイツ文学演習B 1	1	2～4年						○			
ドイツ文学演習C 1	1	2～4年						○			
ドイツ文学演習D 1	1	2～4年						○			
フランス文学分析演習A 1	1	2～4年						○			
フランス文学分析演習A 2	1	2～4年						○			
フランス文学演習A 1	1	2～4年						○			
フランス文学演習A 2	1	2～4年						○			

【日本・中国言語文化学プログラム】

「日本語学日本文学モデル」

〈教育方針〉

日本語学では客観的に日本語について知るための方法論とそれに基づく知識を学ぶ。また、日本語の歴史についても理解を深める。日本文学では、古典から近現代にいたる様々な文学的テクストを読み解き、それを取り巻く文化的、社会的背景についても考察する。両分野は深く関わる面もあるが、本来、対象・目的を異にする領域であり、両者の関連性とともに関連を意識して学習する。日本で育った学生にとっては日本語・日本文学を客観的に捉えることはむしろ困難を伴うため、留学生との交流、海外の視点も重視して学習することが重要であり、留学も奨励する。4年次の卒業論文作成を通して研究方法を確実に身につけ、それにより一定の成果を導く。

〈科目内容および科目選択について〉

1年次には、共通教育科目、学域GS科目、人文学基盤科目の履修に加えて、2年次以降の学習に備え、自主的な読書を通じて言語、文学とそれを取り巻く様々な問題に対する関心を深めておく。

2年次以降は「プログラム指定の専門科目」のうち日本語学日本文学の科目を中心に履修していく。その上で中国語学中国文学の科目を、さらに他の語学・文学、言語学の科目について各自の関心に応じた科目選択をする。これらの科目に関し、「プログラム指定の専門科目」の「卒業に必要な単位数」選択必修34単位を超える分は、「選択科目」22単位を有効に活用できる。教職（国語）については、漢文学概説、漢文学史が必修であり、中学校教諭の免許には書写書道基礎(b)（「プログラム指定の専門科目」の枠外）が必修であることに注意する。

「基礎講義」の科目群は、日本語及び日本語研究、日本文学及び日本文学研究に関する事項をより一般的、総合的に概観する。「発展講義」では個別の問題に焦点を当て、最新の研究成果を紹介しつつ展開する。「基礎演習・実習」「発展演習・実習」の科目群は、前者ではより基礎的・一般的な問題を、後者ではより個別的・発展的な問題を扱うという違いはあるが、いずれも学生自身が主体となって成果を発表する形式で行う。文字の解読、文献の取り扱い方、テクスト解釈とその根拠となる用例分析、資料・先行研究等の探索方法、発表資料作成の工夫、発表時の議論の方法、レポート・論文の作成方法等々、演習が実質的に実力をつける場であることに留意する。

日本語学日本文学の科目に関しては、「基礎講義」と「発展講義」、「基礎演習・実習」と「発展演習・実習」はそれぞれこの順に履修する必要はなく、当面の開講科目を順次履修する。

科目名のうち末尾の1, 2だけが異なる科目は、例外を除き、連続する内容を取り扱うため、同一年度内にこの順に両方を履修する（留学などでそれができない場合は除く。シラバスの注意事項を見ること）。他方、アルファベットA, B, Cについてはこの順に履修する必要はない。

以上の学習を土台として4年次には卒業論文演習ABCDを履修し、卒業論文を作成・提出する。テーマ設定は基本的には自由で、6月中旬の予備発表会・11月下旬の中間発表会でその経過報告を求める。2, 3年生も卒業論文のテーマや具体的な内容を知る最良の機会であり、参加が求められる。なお、優秀な論文については公刊雑誌『金沢大学国語国文』に掲載するなどの便宜を計っている。

「中国語学中国文学モデル」

〈教育方針〉

中国語学中国文学は、古代から現代までの中国における豊かで多様な文化的創造を対象とし、言語、文学を中心に中国に対する理解を深める教育を行う。そのための工具として、現代中国語の習得を共通の目標とする。正確な発音と文法を身につけ、その基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」能力の総合的向上を図る。この目標を達成するために、日本人教員と外国人教員が緊密に連携して教育にあたる。

専門教育は積み上げ方式で進める。まず、講義形式の基礎的授業と講読によって、様々な素材に触れ、学習に対するモチベーションを涵養する。その上で、演習形式の授業やレベルの高い専門的講義を受けながら、自分で研究対象を発見し、最終的には卒業論文において学習の成果を発揮する。本モデルでは、読書等の静的な学習だけでなく、調査、実験等による動的な学習を重視しており、後者の基礎として在学中に短期・長期を問わず留学を経験することを奨励している。中国語の各種検定試験は、国内外における語学学習の成果を確認する手段であると同時に、自主的学習の目標でもある。各自の学習段階に応じて積極的に受験することが望ましい。

〈科目内容および科目選択について〉

1 年次には、共通教育科目である中国語 A1-A4 の履修を強く期待する他、文学や言語以外の分野にも関心を向け、人文学の科目を広く履修していただくことを推奨する。

2 年次には、「プログラム指定の専門科目」のうち、特に「基礎講義」「発展講義」「基礎演習・実習」に配される中国語学中国文学の講義・講読科目を中心に履修する。更に、日本語学日本文学及び隣接分野の基礎的科目も各自の関心に応じて履修し、言語・文学一般について幅広く学び、視野を広げるための基礎力を養う。本モデルで強く履修を推奨する中国語コミュニケーション（初級）は、2 年次からの短期語学研修や長期留学に参加する上でも特に重要な科目である。また、漢文学概説、漢文学史は中国古典の読み方について学ぶ入門講座でもあり、国語の教員免許取得における必修科目である。授業外の活動として、春・秋の合宿では、学年を超えた交流を深めながら中国語の相互学習に取り組む。

3 年次からは主として「基礎演習・実習」「発展演習・実習」に配される専門的な講義、演習科目を履修する。同時に、自分がどのような課題に興味をもてるのかを自覚できるよう、中国語学中国文学の領域に主軸を置きながらも多様な学問分野に触れてもらいたい。4 年次の最大の目標は卒業論文の執筆であり、そのために卒業論文指導の時間が設けられるが、平行して「卒論演習」以外の演習科目も履修することで視野を広く保ち、知見の獲得やその活用の訓練を継続することが望まれる。特に優れた論文は『金沢大学中国語学中国文学教室紀要』に掲載される。

また、中国語の教員免許は本モデルにおいて最も取得しやすい資格であり、国語の教員免許と併せて取得することも比較的容易である。中国語学中国文学モデルの Web サイトには履修例などが示されているので参考にしてほしい。(http://chinese.w3.kanazawa-u.ac.jp/)

「日本・中国言語文化学総合モデル」

〈教育方針〉

このモデルでは、日本と中国の双方の言語文化について深く理解するとともに、その相互関係に着目して東アジアにおける言語、文学、文化のあり方をより広い視野から学ぶことを目的とする。古代以来、日本は中華文明の大きな影響を受けるとともに、とくに近代以降は文化面で双方向的に交流してきた。文学について学ぼうとすれば、相互に無視することができない深い関係がある。他方、日本語と中国語は言語のタイプが異なり、歴史的な系統関係も認められないが、文化面と同様、海を挟んで地理的に隣り合うことから深く関わってきた。このモデルではこうした点を重視して学習を進める。日本と中国のどちらにより力点を置くかは、それぞれの関心に応じて決めていく。

〈科目内容および科目選択について〉

各科目群の位置付け・履修のうち、[日本語学日本文学モデル][中国語学中国文学モデル]と共通する部分は上記を参照する。なお、教職についてもこれらに注意点が記されているので、よく読むこと。

このモデル特有の留意点としては、まず双方の基本的な科目を優先して履修することが望ましい。その上で、各自の関心に応じて履修していく。具体的に言えば、言語面を重視して学習するのか、それとも文学あるいは文化面を重視するのかによって科目選択の仕方は異なってくる。また、日本側と中国側のいずれかにより力点を置く、あるいは両方を同じように学ぶといった違いによっても科目選択は異なる。カリキュラム表中の◎○は目安としつつ、各自の関心に応じて科目選択を行う。とくにこのモデルでは、随時、教員と相談しつつ、学習を進めることが望まれる。

欧米言語文化学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	英語学 英米文学	ドイツ語学 ドイツ文学	フランス語学 フランス文学	対照 言語学	比較文学		
			必修	選択必修						A群	B群	
	学域GS科目 ※ 1	-	8		学類共通 参照	●	●	●	●	●	●	
	学域GS言語科目	-	2			●	●	●	●	●	●	
	人文学基盤科目	-	14			●	●	●	●	●	●	
	卒論関係	-	10			●	●	●	●	●	●	
基礎講義	英語学概説A1	1	8		2～4年	◎	○	○	◎			
	英語学概説A2	1			2～4年	◎	○	○	◎			
	英語学概説B1	1			2～4年	◎			○			
	英語学概説B2	1			2～4年	◎			○			
	英語学総論1	1			2～4年	◎				◎		
	英語学総論2	1			2～4年	◎				◎		
	英文法講義A1	1			2～4年	◎				○		
	英文法講義A2	1			2～4年	◎				○		
	英文法講義B1	1			2～4年	◎				○		
	英文法講義B2	1			2～4年	◎				○		
	ドイツ語学概説A1	1			2～4年	○	◎	○	◎			
	ドイツ語学概説A2	1			2～4年	○	◎	○	◎			
	ドイツ語学概説B1	1			2～4年		◎		◎			
	ドイツ語学概説B2	1			2～4年		◎		◎			
	ドイツ語学講義A1	1			2～4年		○		○			
	ドイツ語学講義B1	1			2～4年		○		○			
	ドイツ語学講義C1	1			2～4年		○		○			
	フランス語学概説A1	1			2～4年	○	○	◎	◎			
	フランス語学概説A2	1			2～4年	○	○	◎	◎			
	フランス語学概説B1	1			2～4年			◎	◎			
	フランス語学概説B2	1			2～4年			◎	◎			
	英米文学史A1	1			2～4年	◎	○	○			◎	
	英米文学史A2	1			2～4年	◎	○	○			◎	
	英米文学史B1	1			2～4年	◎					◎	
	英米文学史B2	1			2～4年	◎					◎	
	北米文化論1	1			2～4年	○					○	
	北米文化論2	1			2～4年	○					○	
	ドイツ文学史A1	1			2～4年			◎			◎	
	ドイツ文学史A2	1			2～4年			◎			◎	
	ドイツ文学史B1	1			2～4年	○	◎	○			◎	
	ドイツ文学史B2	1			2～4年	○	◎	○			◎	
	ドイツ文学講義A1	1			2～4年			○			○	
	ドイツ文学講義B1	1			2～4年			○			○	
	ドイツ文学講義C1	1			2～4年			○			○	
	ドイツ文学講義D1	1			2～4年			○			○	
	フランス文学史A1	1			2～4年					◎		◎
	フランス文学史A2	1			2～4年					◎		◎
	フランス文学史B1	1			2～4年	○	○	◎			◎	
	フランス文学史B2	1			2～4年	○	○	◎			◎	
	言語学概論A	1			2～4年						○	
	言語学概論B	1			2～4年						○	
	言語学概論C	1			2～4年						○	
言語学概論D	1	2～4年						○				
日本の近代文学1	1	2～4年							○			
日本の近代文学2	1	2～4年							○			
日本の現代文学1	1	2～4年							○			
日本の現代文学2	1	2～4年							○			
漢文学概説1	1	2～4年							○			
漢文学概説2	1	2～4年							○			
中国文学概説1	1	2～4年							○			
中国文学概説2	1	2～4年							○			
発展講義	英語学講義A1	1	2～4年	◎				○				
	英語学講義A2	1	2～4年	◎				○				
	英語学講義B1	1	2～4年	◎				○				
	英語学講義B2	1	2～4年	◎				○				
	英米文学特殊講義A1	1	2～4年	◎					○			
	英米文学特殊講義A2	1	2～4年	◎					○			
	英米文学特殊講義B1	1	2～4年	◎					○			
	英米文学特殊講義B2	1	2～4年	◎					○			
	英語圏文学特殊講義1	1	2～4年	◎					○			
	英語圏文学特殊講義2	1	2～4年	◎					○			
	英米言語文化概説A1	1	2～4年	○				○	○			
	英米言語文化概説A2	1	2～4年	○				○	○			
	英米言語文化概説B1	1	2～4年	○				○	○			
	英米言語文化概説B2	1	2～4年	○				○	○			

欧米言語文化学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	英語学 英米文学	ドイツ語学 ドイツ文学	フランス語学 フランス文学	対照 言語学	比較文学	
			必修	選択必修						A群	B群
発展講義	ドイツ語学講義A 2	1			2～4年		○		○		
	ドイツ語学講義B 2	1			2～4年		○		○		
	ドイツ語学講義C 2	1			2～4年		○		○		
	ドイツ文学講義A 2	1			2～4年		○			○	
	ドイツ文学講義B 2	1			2～4年		○			○	
	ドイツ文学講義C 2	1			2～4年		○			○	
	ドイツ文学講義D 2	1			2～4年		○			○	
	フランス文学特殊講義A 1	1		6	2～4年			○		○	
	フランス文学特殊講義A 2	1			2～4年			○		○	
	フランス文学特殊講義B 1	1			2～4年			○		○	
	フランス文学特殊講義B 2	1			2～4年			○		○	
	日本近代文学史講義	1			2～4年						○
	日本現代文学史講義	1			2～4年						○
	日本近代文学研究法	1			2～4年						○
	日本現代文学研究法	1			2～4年						○
	日本文芸思潮講義	1			2～4年						○
	日本近代比較文学講義	1			2～4年						○
	日本現代比較文学講義	1			2～4年						○
	漢文学史A 1	1			2～4年						○
	漢文学史A 2	1			2～4年						○
	漢文学史B 1	1			2～4年						○
	漢文学史B 2	1			2～4年						○
	中国文学研究 1	1			2～4年						○
	中国文学研究 2	1			2～4年						○
	中国文学史A 1	1			2～4年						○
	中国文学史A 2	1			2～4年						○
	中国文学史B 1	1			2～4年						○
	中国文学史B 2	1			2～4年						○
	中国語文献読解基礎A 1	1			2～4年						○
	中国語文献読解基礎A 2	1			2～4年						○
	中国語文献読解基礎B 1	1			2～4年						○
	中国語文献読解基礎B 2	1			2～4年						○
	プログラム指定の専門科目	英文法研究A 1	1			2～4年	◎			◎	
英文法研究A 2		1			2～4年	◎			◎		
英文法研究B 1		1			2～4年	◎			◎		
英文法研究B 2		1			2～4年	◎			◎		
英語学理論研究 1		1			2～4年	◎			◎		
英語学理論研究 2		1			2～4年	◎			◎		
英語認知論A 1		1			2～4年	◎			◎		
英語認知論A 2		1			2～4年	◎			◎		
英語認知論B 1		1			2～4年	◎			◎		
英語認知論B 2		1			2～4年	◎			◎		
英語学基礎演習 1		1			2～4年	◎			◎		
英語学基礎演習 2		1			2～4年	◎			◎		
ドイツ語学演習A 1		1			2～4年		○		◎		
ドイツ語学演習B 1		1			2～4年		○		◎		
ドイツ語学演習C 1		1			2～4年		○		◎		
英語圏文学演習A 1		1			2～4年	◎				◎	
英語圏文学演習A 2		1			2～4年	◎				◎	
英米文学演習A 1		1			2～4年	◎				◎	
英米文学演習A 2		1			2～4年	◎				◎	
英米文学演習B 1		1			2～4年	◎				◎	
英米文学演習B 2		1			2～4年	◎				◎	
ドイツ文学演習A 1		1			2～4年		○			◎	
ドイツ文学演習B 1		1			2～4年		○			◎	
ドイツ文学演習C 1		1			2～4年		○			◎	
ドイツ文学演習D 1		1			2～4年		○			◎	
フランス文学分析演習A 1		1			2～4年			◎		◎	
フランス文学分析演習A 2		1			2～4年			◎		◎	
フランス文学演習A 1		1			2～4年			○		◎	
フランス文学演習A 2		1			2～4年			○		◎	
フランス語作文表現法(基礎) 1		1			2～4年			○	○	○	
フランス語作文表現法(基礎) 2		1			2～4年			○	○	○	
フランス語作文表現法(中級) A 1		1			3～4年			○	○	○	
フランス語作文表現法(中級) A 2		1			3～4年			○	○	○	

欧米言語文化学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	英語学 英米文学	ドイツ語学 ドイツ文学	フランス語学 フランス文学	対照 言語学	比較文学	
			必修	選択必修						A群	B群
基礎演習・コミュニケーション科目 プログラム指定の専門科目	フランス語作文表現法(中級)B1	1			3~4年			○	○		
	フランス語作文表現法(中級)B2	1			3~4年			○	○		
	英語表現法A1	1			2~4年	○			○	○	
	英語表現法A2	1			2~4年	○			○	○	
	英語表現法B1	1			2~4年	○			○	○	
	英語表現法B2	1			2~4年	○			○	○	
	英語プレゼンテーション1	1			2~4年	◎			◎	◎	
	英語プレゼンテーション2	1			2~4年	◎			◎	◎	
	英語コミュニケーション1	1			2~4年	◎			◎	◎	
	英語コミュニケーション2	1			2~4年	◎			◎	◎	
	ドイツ語読解基礎1	1			2~4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語読解基礎2	1			2~4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション初級1	1			2~4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション初級2	1			2~4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション初級3	1			2~4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション初級4	1			2~4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション初級5	1			2~4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション初級6	1			2~4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション中級1	1			3~4年		◎				
	ドイツ語コミュニケーション中級2	1			3~4年		◎				
	ドイツ語コミュニケーション中級3	1			3~4年		◎				
	ドイツ語コミュニケーション中級4	1			3~4年		◎				
	ドイツ語コミュニケーション中級5	1			3~4年		◎				
	ドイツ語コミュニケーション中級6	1			3~4年		◎				
	ドイツ語表現法1	1			3~4年		◎				
	ドイツ語表現法2	1			3~4年		◎				
	フランス語文法演習A1	1			2~4年			◎	◎		
	フランス語文法演習A2	1			2~4年			◎	◎		
	フランス語学演習A1	1			2~4年			○	◎		
	フランス語学演習A2	1			2~4年			○	◎		
	フランス語コミュニケーション初級1	1			2~4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級2	1			2~4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級3	1			2~4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級4	1			2~4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級5	1			2~4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級6	1			2~4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級7	1			2~4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級8	1			2~4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション中級1	1			3~4年			◎			
	フランス語コミュニケーション中級2	1			3~4年			◎			
	フランス語コミュニケーション中級3	1			3~4年			◎			
	フランス語コミュニケーション中級4	1			3~4年			◎			
フランス語コミュニケーション中級5	1			3~4年			◎				
フランス語コミュニケーション中級6	1			3~4年			◎				
フランス語コミュニケーション中級7	1			3~4年			◎				
フランス語コミュニケーション中級8	1			3~4年			◎				
日本近代文学演習A1	1			2~4年						○	
日本近代文学演習A2	1			2~4年						○	
日本現代文学演習A1	1			2~4年						○	
日本現代文学演習A2	1			2~4年						○	
発展演習	英語学理論演習A1	1			2~4年	◎			◎		
	英語学理論演習A2	1			2~4年	◎			◎		
	英語学理論演習B1	1			2~4年	◎			◎		
	英語学理論演習B2	1			2~4年	◎			◎		
	英語圏文学演習B1	1			2~4年	◎				◎	
	英語圏文学演習B2	1			2~4年	◎				◎	
	英語圏文学演習C1	1			2~4年	○				◎	
	英語圏文学演習C2	1			2~4年	○				◎	
	英米文化研究A1	1			2~4年	○			○	○	
	英米文化研究A2	1			2~4年	○			○	○	
	英米文化研究B1	1			2~4年	○			○	○	
	英米文化研究B2	1			2~4年	○			○	○	
	英語圏広域文化研究1	1			2~4年	○			○	○	
	英語圏広域文化研究2	1			2~4年	○			○	○	
	英米文化動態論1	1			2~4年	○			○	○	

欧米言語文化学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	英語学 英米文学	ドイツ語学 ドイツ文学	フランス語学 フランス文学	対照 言語学	比較文学		
			必修	選択必修						A 群	B 群	
プログラム指定の専門科目 発展演習	英米文化動態論 2	1			2～4年	○			○	○		
	英米文化基礎論 1	1			2～4年	○			○	○		
	英米文化基礎論 2	1			2～4年	○			○	○		
	英米言語文化演習 1	1			2～4年	◎			○			
	英米言語文化演習 2	1			2～4年	◎			○			
	ドイツ語学演習 A 2	1			2～4年		○		◎			
	ドイツ語学演習 B 2	1			2～4年		○		◎			
	ドイツ語学演習 C 2	1			2～4年		○		◎			
	ドイツ文学演習 A 2	1			2～4年		○			◎		
	ドイツ文学演習 B 2	1			2～4年		○			◎		
	ドイツ文学演習 C 2	1		6	2～4年		○			◎		
	ドイツ文学演習 D 2	1			2～4年		○			◎		
	フランス語文法演習 B 1	1			2～4年			◎	◎			
	フランス語文法演習 B 2	1			2～4年			◎	◎			
	フランス文学分析演習 B 1	1			2～4年			◎		◎		
	フランス文学分析演習 B 2	1			2～4年			◎		◎		
	フランス語学演習 B 1	1			2～4年			○	◎			
	フランス語学演習 B 2	1			2～4年			○	◎			
	フランス文学演習 B 1	1			2～4年			○		◎		
	フランス文学演習 B 2	1			2～4年			○		◎		
	日本近代文学演習 B 1	1			2～4年						○	
	日本近代文学演習 B 2	1			2～4年						○	
	日本近代文学演習 C 1	1			2～4年						○	
	日本近代文学演習 C 2	1			2～4年						○	
	日本現代文学演習 B 1	1			2～4年						○	
	日本現代文学演習 B 2	1			2～4年						○	
	日本現代文学演習 C 1	1			2～4年						○	
	日本現代文学演習 C 2	1			2～4年						○	
	中国文学演習 A 1	1			2～4年						○	
	中国文学演習 A 2	1			2～4年						○	
	中国文学演習 B 1	1			2～4年						○	
	中国文学演習 B 2	1			2～4年						○	
	中国文学テーマ別演習 A	1			2～4年						○	
	中国文学テーマ別演習 B	1			2～4年						○	
	プログラム指定の専門科目 小計			36								
	選択科目 ※2			18								
合計			88									

- 履修モデルについて
 ●：必修科目
 ◎：履修を強く推奨する科目
 ○：履修を推奨する科目

対照言語学履修モデルでは、発展講義を除き、同履修モデルにおいて強く履修を推奨されている科目(◎)を30単位以上修得すること。
 英米・ドイツ・フランス文学間の比較文学履修モデルでは、発展講義を除き、同履修モデルのA群において強く履修を推奨されている科目(◎)を30単位以上修得すること。
 英米・ドイツ・フランス文学と日本・中国文学間のプログラム横断型比較文学履修モデルでは、同履修モデルのA群において強く履修を推奨されている科目(◎)を18単位以上、B群において履修を推奨されている科目(○)を12単位以上(そのうち演習科目を4単位以上)修得すること。

- ※1 学域GS科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS科目発展系科目群」の科目(GS科目の発展系として位置づけられる科目を言う。)を履修することができる。
 なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4月初めに公示する。
- ※2 選択科目には、以下の単位が含まれる。
 ①学域GS科目で8単位を超えて修得した単位
 ②学域GS言語科目で2単位を超えて修得した単位(上限2単位)
 ③選択したプログラムの授業科目で卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
 ④人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
 ⑤他学域・他学類の授業科目で修得した単位(上限24単位)

〔欧米言語文化学プログラム〕

〈教育方針〉

ことばはそれぞれの地域で、普段の生活の中で使われながら長い歴史を残し、また、人が文化を創りあげるのに重要な働きをしてきた。このプログラムでは、とりわけヨーロッパの歴史と文化を刻んできた、英語・ドイツ語・フランス語を集中的に学習する。もちろん、中高から学んできた英語と、大学から学び始めるドイツ語・フランス語では、スタートラインは違うだろう。しかしわれわれが追い求めるのは、実用重視の語学力だけではなく、これらのことばそのもののあり方である。英語を母語とする子どもは英語をどのように身につけていくのか、ドイツ語を第2言語として修得するためのもっとも効果的な方法はなにか、フランス語によるものごとの捉え方にはどのような特徴がみられるのかなど、さまざまな言語現象について、つねに最新の研究成果を取り入れながらともに考えていきたい。また、日本語を含む複数言語を比較検討する対照言語学も、わたしたちのプログラムで学習可能である。

ことばの学習は、ことばの使われ方の学習なしではありえない。そこで、これらのことばを礎にした欧米の文学・文化・社会（思想、芸術、日常生活、国際交流など）への幅広い関心と知識を養うことも、わたしたちのプログラムの目標である。そのさい、ひとつの言語文化と深く取り組むか、それとも複数の言語文化を包括的に研究するかは、あなた次第である。日本文学や中国文学を含め、複数の文学作品を横断する影響関係の実証や、美術・音楽・映画・漫画など、他の表現ジャンルとの関係などを研究対象とする比較文学もまた、わたしたちのプログラムの守備範囲である。

〈科目内容および科目選択について〉

共通教育科目の初習言語科目については、ドイツ語 A またはフランス語 A を履修しておくことが望ましい。ただし本プログラムの「比較文学」履修モデルにおいて、欧米文学と中国文学の比較を行いたい場合は、中国語 A を履修しておくことが望ましい。1年次でドイツ語 A またはフランス語 A を履修していなくて本プログラムを希望する場合は、本プログラムの専任教員に事前に相談する必要がある。

本プログラムが提示する標準的履修モデルは5つある。いずれの履修モデルを選択する場合も、基礎講義8単位、発展講義6単位、基礎演習・コミュニケーション科目16単位、発展演習6単位を修得しなければいけない。その際、履修モデルごとに強く履修を推奨されている科目(◎)と履修を推奨されている科目(○)が異なるので、よく注意して科目を選択すること。履修を推奨されていない科目の単位を修得することも可能ではあるが、履修モデルは系統的な学習を促すものであり、在学時の学習の集大成として執筆される卒業論文の作成に支障をきたすことがないように設計されている。履修モデルごとに強く履修を推奨されている科目(◎)と履修を推奨されている科目(○)が設定されていることの意味は忘れないでほしい。

〈履修モデル〉

「英語学英米文学」

本履修モデルでは、おもに英語学と英米文学に関する講義科目と演習科目を履修する。これらの科目では、より高いレベルの英語力を培いながら、専門的にどのような研究がどのように行われているのか、研究の実際を味わうことになる。資料や文献の収集法、論点の整理法、視点のとり方、議論の進め方などは、英語を通してたどるだ

げにかえって深く定着するだろう。英語で書かれた面白い作品をたくさん楽しみ、様々な英語表現に数多く触れながら、英語の精髓をつかんでいてもらいたい。

外国人教員の担当する「英語コミュニケーション」「英語プレゼンテーション」「英米文化研究」「英語圏広域文化研究」などの科目は、単なる英会話を越えた、英語による専門的な議論のできる場として活用してほしい。

なお、本履修モデルの「卒業論文」は英語での執筆を強く推奨する。研究テーマは各自の関心に応じて選択するが、格好のテーマを選択するためにも、満足のいく論文を仕上げるためにも、開講される科目が大きな力になるはずである。各科目の受講にあたっては、積極的な参加を期待したい。

「ドイツ語学ドイツ文学」

本履修モデルでは、おもにドイツ語学とドイツ文学に関する講義科目と演習科目を履修する。

「ドイツ文学史」では、ドイツ文学がどのような歴史をたどり、そのなかでどのような潮流が生み出されてきたのかを順を追って概観する。

「ドイツ語学概説」はドイツ語を中心にすえながら人のことばの仕組みを概観する、ことばの科学への入門である。

「ドイツ文学講義」や「ドイツ語学講義」のように「講義」と名のつく科目では、学年進行全体のバランスを考慮しながら、多様なテーマを取り上げる。「講義」といっても教員の一方的な語りではなく、受講者との相互コミュニケーションをはかりながらテーマを掘り下げる。

「ドイツ文学演習」や「ドイツ語学演習」のように「演習」と名のつく科目では、文献講読、作品講読だけではなく、受講者の準備した発表と、それをめぐる討論などを通じて、受講者が主体的にテーマに取り組むことを目指した授業である。

「ドイツ語読解基礎」は、やさしいドイツ語の文章を読むことで、その後の授業で扱う文献や作品を読解するための基礎を養成する演習である。2年次の前期に履修してほしい。

「ドイツ語表現法」は、自分の考えをドイツ語で表現する訓練を行う演習である。3年次の後期に履修してほしい。

「ドイツ語コミュニケーション」は、おもにネイティブの教員による授業で、ドイツ語を使って自由にコミュニケーションできるように、さまざまな練習を行う。段階的にレベルアップしていくので、2年次には「初級」を、3年次には「中級」を履修してほしい。

4年次の「卒業論文演習」では、それぞれの関心に応じて選んだテーマを、卒業論文として完成させるためのお手伝いをする。教員は卒業論文作成に必要な資料探しのお手伝いをしたり、論文をどのように組み立てるかについて話し合ったりする。そのような過程を経て仕上がった論文は、最終的に「卒業論文」として評価されることになる。

「フランス語学フランス文学」

本履修モデルでは、おもにフランス語学とフランス文学に関する講義科目と演習科目を履修する。

「フランス文学史」では、ヨーロッパの歴史と連動しながらフランス文学がどのような作品を生み出してきたかを考察する。

「フランス語学概説」はフランス語学研究の入門となるような講義を行う。

「フランス文学史」および「フランス語学概説」は、2～4年次にわたって履修でき、どのようなテーマがこれらの分野の研究対象になるのかを紹介する内容の授業である。遅くとも3年次終了までには必要な単位を取得しておくことが望ましい。

「フランス文学特殊講義」は、それぞれの担当者が開講ごとにテーマを設定し、それを掘り下げていくタイプの講義科目である。開講年度が限定されているものもあり、テーマもさまざまなので、シラバスで内容を確認、各自の興味にしたがって計画的に履修していくことが必要である。

「フランス文学演習」「フランス文学分析演習」「フランス語学演習」「フランス語文法演習」は、フランス文学研究やフランス語学研究に要求される研究能力（文献の収集やその読解、それらをまとめた資料の作成、そして発表や議論）を培っていく科目である。これらの演習は、卒業論文の準備の基礎となる研究方法について、学生が積極的に授業に参加しながら学んでいくための授業である。卒業論文で扱う分野について方針が固まってきた人は、卒業に必要な単位分で満足することなく、志望する分野の専門演習の授業への自主的な参加・履修を続けることを期待している。

「フランス語コミュニケーション初級」は、フランス語を専門とする学生のための基礎知識の確実な定着を目的とした授業なので、2年次で単位取得することが望ましい。この学年での習熟度の高い人は、秋に実施される実用フランス語検定試験の2級に合格することが可能である。3年次で履修する「フランス語コミュニケーション中級」は、その一段階上位レベルのフランス語力習得の訓練の授業である。

4年次では、各自でそれまでの学習の集大成となるべき卒業論文を作成する。テーマは個人の関心に応じて自由に選択してもらおうが、満足のいく論文を仕上げ、達成感をもって卒業してほしい。

「対照言語学」

本履修モデルでは、英語学・ドイツ語学・フランス語学に関する講義科目と演習科目を中心に履修する。その際、発展講義を除き、同履修モデルにおいて強く履修を推奨されている科目(◎)を30単位以上修得する必要がある。ひとつの言語の科目だけでは定められた単位数が集まらないよう、カリキュラム編成されているので、必然的に2つないしは3つの欧米言語の講義・演習科目の履修が求められる。個々の科目内容については、「英語学英米文学」「ドイツ語学ドイツ文学」「フランス語学フランス文学」履修モデルの記載を参照されたい。

なお、これら3つの履修モデルに比べ「対照言語学」履修モデルでは、履修が推奨されている文学講義科目・文学演習科目・コミュニケーション科目の数がやや少ない。とはいえ複数の言語を比べ合わせて考察するためには、複数の言語の習得は不可欠である。したがって履修が推奨されているわけではないコミュニケーション科目(中級)や、外国語での作品講読に取り組む文学演習科目を軽視することは決して勧められない。

「比較文学」

本履修モデルには、英米・ドイツ・フランス文学間の比較を行う場合と、これらの文学と日本文学・中国文学との比較に取り組む場合の2種類がある。前者においては、発展講義を除き、同履修モデルのA群において強く履修を推奨されている科目(◎)を30単位以上修得する必要がある。後者においては、同履修モデルのA群において強く履修を推奨されている科目(◎)を18単位以上、B群において履修を推奨されている科目(○)を12単位以上(そのうち演習科目を4単位以上)修得する必要がある。B群の科目は日本・中国言語文化学プログラムから提供される。したがって後者は「プログラム横断型比較文学」履修モデルと呼ぶことができよう。

いずれの「比較文学」履修モデルも、本プログラムが提示する他の履修モデルに比べ、語学講義科目・語学演習科目・コミュニケーション科目については、履修を推奨されている科目の数がやや少ない。とはいえ横断的な文学現象について考察するためには、複数の言語の習得は不可欠である。加えて複数の言語テキストを読む文学演習科目の単位修得が必修とされていることから、コミュニケーション科目を軽視することは決して勧められない。

4年次には、卒業論文を作成する。この際、(日本文学・中国文学を含む)複数の文学担当教員から論文指導を受けられる点が、本履修モデルの特徴である。複数の教員が卒論指導に関わることで、比較文学という学問領域に求められる高度な専門性が保証される。審査もまた指導と同様、複数の文学担当教員が参加して行われる。

言語科学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	履修モデル	
			必修	選択必修		言語学	言語認知科学
	学域GS科目 ※1	-	8		学類共通 参照	●	●
	学域GS言語科目	-	2			●	●
	人文学基盤科目	-	14			●	●
	卒論関係	-	10			●	●
基礎講義	言語学概論A	1	1	12	2～4年	●	●
	言語学概論B	1	1		2～4年	●	●
	言語学概論C	1	1		2～4年	●	●
	言語学概論D	1	1		2～4年	●	●
	音声学1	1	1		2～4年	●	●
	音声学2	1	1		2～4年	●	●
	音声学3	1	1		2～4年	●	●
	音声学4	1	1		2～4年	●	●
	言語と認知A1	1			2～4年	○	◎
	言語と認知A2	1			2～4年	○	◎
	日本語学概説1	1			2～4年	○	
	日本語学概説2	1			2～4年	○	
	中国語学概説A1	1			2～4年		
	中国語学概説A2	1			2～4年		
	中国語学概説B1	1			2～4年		
	中国語学概説B2	1			2～4年		
	英語学概説A1	1			2～4年	○	
	英語学概説A2	1			2～4年	○	
	英語学概説B1	1			2～4年	○	
	英語学概説B2	1			2～4年	○	
	英語学総論1	1			2～4年		
	英語学総論2	1			2～4年		
	英文法講義A1	1			2～4年		
	英文法講義A2	1			2～4年		
	英文法講義B1	1			2～4年		
	英文法講義B2	1			2～4年		
	ドイツ語学概説A1	1			2～4年		
	ドイツ語学概説A2	1			2～4年		
	ドイツ語学概説B1	1			2～4年		
	ドイツ語学概説B2	1			2～4年		
	ドイツ語学講義A1	1			2～4年		
	ドイツ語学講義B1	1			2～4年		
	ドイツ語学講義C1	1			2～4年		
	フランス語学概説A1	1			2～4年		
	フランス語学概説A2	1			2～4年		
	フランス語学概説B1	1			2～4年		
フランス語学概説B2	1		2～4年				
心理学概論A	1		2～4年		○		
心理学概論B	1		2～4年		○		
心理学統計法1A	1		2～4年		○		
心理学統計法1B	1		2～4年		○		
心理学統計法2A	1		2～4年		○		
心理学統計法2B	1		2～4年		○		
発展講義	歴史言語学1	1		2～4年	○	○	
	歴史言語学2	1		2～4年	○	○	
	社会言語学1	1		2～4年	○	○	
	社会言語学2	1		2～4年	○	○	
	言語と認知B1	1		2～4年	○	◎	
	言語と認知B2	1		2～4年	○	◎	

言語科学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	履修モデル		
			必修	選択必修		言語学	言語認知科学	
発展講義	日本語の歴史 1	1		6	2～4年			
	日本語の歴史 2	1			2～4年			
	日本語学講義 2	1			2～4年			
	中国語学研究 1	1			2～4年			
	中国語学研究 2	1			2～4年			
	英語学講義A 1	1			2～4年			
	英語学講義A 2	1			2～4年			
	英語学講義B 1	1			2～4年			
	英語学講義B 2	1			2～4年			
	ドイツ語学講義A 2	1			2～4年			
	ドイツ語学講義B 2	1			2～4年			
	ドイツ語学講義C 2	1			2～4年			
神経・生理心理学A	1			2～4年		○		
神経・生理心理学B	1			2～4年		○		
基礎演習・実習	言語学基礎演習A 1	1		8	2～4年	○	○	
	言語学基礎演習A 2	1			2～4年	○	○	
	言語学基礎演習B 1	1			2～4年	○	○	
	言語学基礎演習B 2	1			2～4年	○	○	
	言語学基礎演習C 1	1			2～4年	○	○	
	言語学基礎演習C 2	1			2～4年	○	○	
	フィールド言語学 1	1	1			2～4年	●	●
	フィールド言語学 2	1	1			2～4年	●	●
	日本語学演習A 1	1				2～4年		
	日本語学演習A 2	1				2～4年		
	日本語学演習B 1	1				2～4年		
	日本語学演習B 2	1				2～4年		
	英文法研究A 1	1				2～4年		
	英文法研究A 2	1				2～4年		
	英文法研究B 1	1				2～4年		
	英文法研究B 2	1				2～4年		
	英語学理論研究 1	1				2～4年		
	英語学理論研究 2	1				2～4年		
	英語認知論A 1	1				2～4年		
	英語認知論A 2	1				2～4年		
	英語認知論B 1	1				2～4年		
	英語認知論B 2	1				2～4年		
	英語学基礎演習 1	1				2～4年		
	英語学基礎演習 2	1				2～4年		
	ドイツ語学演習A 1	1				2～4年		
	ドイツ語学演習B 1	1				2～4年		
	ドイツ語学演習C 1	1				2～4年		
	フランス語文法演習A 1	1				2～4年		
	フランス語文法演習A 2	1				2～4年		
	フランス語学演習A 1	1				2～4年		
フランス語学演習A 2	1			2～4年				
心理学実験 1 A	1			2～4年		○		
心理学実験 1 B	1			2～4年		○		
発展演習・実習	個別言語演習A 1	1			2～4年	◎	○	
	個別言語演習A 2	1			2～4年	◎	○	
	個別言語演習A 3	1			2～4年	◎	○	
	個別言語演習A 4	1			2～4年	◎	○	
	個別言語演習B 1	1			2～4年	◎	○	
	個別言語演習B 2	1			2～4年	◎	○	
	個別言語演習B 3	1			2～4年	◎	○	
	個別言語演習B 4	1			2～4年	◎	○	

言語科学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	履修モデル	
			必修	選択必修		言語学	言語認知科学
	個別言語演習C 1	1		10	2～4年	◎	○
	個別言語演習C 2	1			2～4年	◎	○
	個別言語演習C 3	1			2～4年	◎	○
	個別言語演習C 4	1			2～4年	◎	○
	言語学発展演習A 1	1			2～4年	○	○
	言語学発展演習A 2	1			2～4年	○	○
	言語学発展演習B 1	1			2～4年	○	○
	言語学発展演習B 2	1			2～4年	○	○
	言語学発展演習C 1	1			2～4年	○	○
	言語学発展演習C 2	1			2～4年	○	○
	言語学実習A 1	1	1		3～4年	●	●
	言語学実習A 2	1	1		3～4年	●	●
	言語学実習B 1	1	1		2～4年	●	●
	言語学実習B 2	1	1		2～4年	●	●
	日本語学演習C 1	1			2～4年		
	日本語学演習C 2	1			2～4年		
	中国語学演習A 1	1			2～4年		
	中国語学演習A 2	1			2～4年		
	中国語学テーマ別演習A	1			2～4年		
	中国語学テーマ別演習B	1			2～4年		
	英語学理論演習A 1	1			2～4年		
	英語学理論演習A 2	1			2～4年		
	英語学理論演習B 1	1			2～4年		
	英語学理論演習B 2	1			2～4年		
	ドイツ語学演習A 2	1			2～4年		
	ドイツ語学演習B 2	1			2～4年		
	ドイツ語学演習C 2	1			2～4年		
	フランス語文法演習B 1	1			2～4年		
	フランス語文法演習B 2	1			2～4年		
	フランス語学演習B 1	1			2～4年		
	フランス語学演習B 2	1			2～4年		
	プログラム指定の専門科目 小計				36		
	選択科目 ※ 2			18			
	合計			88			

履修モデルについて

- ：必修科目
- ◎：履修を強く推奨する科目
- ：履修を推奨する科目

※ 1 学域 GS 科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS 科目発展系科目群」の科目 (GS 科目の発展系として位置づけられる科目を言う。) を履修することができる。
 なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4 月初めに公示する。

※ 2 選択科目には、以下の単位が含まれる。

- ①学域 GS 科目で 8 単位を超えて修得した単位
- ②学域 GS 言語科目で 2 単位を超えて修得した単位 (上限 2 単位)
- ③選択したプログラムの授業科目で卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
- ④人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
- ⑤他学域・他学類の授業科目で修得した単位 (上限 24 単位)

〔言語科学プログラム〕

〈教育方針〉

人間を人間たらしめている一つの大きな要素がコトバである。言語学はこのコトバを自覚的にとらえ、コトバの仕組み・機能を明らかにしていこうとする。個々の言語が示す多様な姿を明らかにする一方で、個別の言語を超えたいわばコトバそのもののあり方（普遍性）を追究する。本プログラムではコトバについての科学的な見方と研究方法を学ぶと共に、タイプの異なる言語の学習や実験および実地調査を通じ、具体的な言語データを正確・綿密に収集し記述を行った上で言語現象を実証的に考える姿勢を身につけていくことを一つの目標とする。

また、言語を対象とした研究では、「ヒトはどのように言語を使っているのか？」という問いを立てることができる。この問いを解くには多くの課題を解決する必要がある。たとえば、我々の脳・こころの中には言語のどのような知識があるのだろうか。その知識は我々が生まれてから現在までにいつ、どのようにして脳・こころの中に形成されてきたのだろうか。また、その知識は、我々がコトバを読むときや話すときにはどのように使われるのだろうか。その知識は脳内にどのような神経基盤を持ち、それは生物の進化の中でどうやって獲得されたものなのだろうか。本プログラムではもう一つの目標として、このような問いに対して実証可能な問題を設定し、認知科学や心理学で培われてきた方法論を利用して、問題解決に向かう姿勢を養うことを目指している。

〈科目内容および科目選択について〉

講義の理解や演習に際して諸言語の具体的な知識が有用であるため、1年次には選択した言語科目を着実に履修しておいてもらいたい。また、このプログラムでは英語で書かれたテキストを利用することが多いので、英語の学習は継続的に行ってほしい。

「言語学概論 A～D」（言語学の諸領域の考え方を学ぶ）と「音声学 1～4」（世界の言語に現れる音声の発音と聞き取り、音声記号による表記法などを学ぶ）は本プログラムの最も基礎的な科目なので 2 年次に必ず履修すること（必修）。

「歴史言語学 1・2」では時間の流れに沿った言語変化のあり方や、言語の古い姿を復元する方法などを学ぶ。

「社会言語学 1・2」では言語の変異とその社会的な要因との関係について学ぶ。

「言語と認知 A・B」（それぞれ 1・2）では認知科学から見た言語の捉え方を学ぶ。

「言語学基礎演習 A・B・C」（それぞれ 1・2）では、特定の言語で音声のどのような特徴が意味の区別に関わる単位として機能しているかといった事柄を扱う音韻論、語形変化や語構成などのいわゆる単語レベルの問題を扱う形態論、言語の意味の側面を扱う意味論、文の構造を扱う統語論などの言語学の諸分野の研究方法を実践的に学ぶ。これらの科目はいずれも開講年度に着実に履修することが望まれる。英語などの外国語で書かれたテキストを使うことも多い。

「言語学発展演習 A・B・C」（それぞれ 1・2）は、「言語学基礎演習」で取り上げる分野の発展的内容を扱う演習科目である。

「個別言語演習 A・B・C」（それぞれ 1～4）は、具体的な言語学習を通じ、個々の言語が示す多様性を理解してもらうための科目である。

「フィールド言語学 1・2」（必修）では生身の話し手から言語的データを得るための調査方法や分析方法を学び、「言語学実習 A1・A2」（必修）では実際にフィールドワークに出かけて現地調査を行う。

「言語学実習 B1・B2」（必修）では心理言語学や神経言語学の手法や音響音声学の分析方法などを学ぶ。

以下、それぞれの履修モデルで特に重点的に履修してもらいたい科目について述べる。

〈履修モデル〉

「言語学」

この履修モデルでは、「個別言語演習 A・B・C」で、少なくとも2つの言語（計8単位）を学ぶよう履修計画を立てること。また、「日本語学概説1・2」や「英語学概説A・B」（それぞれ1・2）など、他プログラムで開講される言語研究の概説・講義科目を積極的に履修してもらいたい。

「言語認知科学」

この履修モデルでは、「言語と認知A・B」（それぞれ1・2）を必ず履修すること。また、卒業論文において実験的な研究手法をとることが必須なので、心理学プログラムで開講される、「心理学統計法1・2」（それぞれA・B）、「心理学実験1A・1B」といった実践的な科目を積極的に履修してもらいたい。

修学上の心得

1. 授業について

授業は2学期4クォーターで実施し、週1回の開講で試験を含めて1クォーターにつき原則8週間（学期の場合は16週間）行います。日程は学年の始めに公示します。

各クォーター・学期の開講科目については、授業時間割により発表します。

授業時間割は発表後においても、一部変更することがあり、人間社会学域ホームページへの掲載により通知します。

授業時間は次のとおりです（変更が生じた場合は通知します）。

第1限	8時45分～10時15分
第2限	10時30分～12時00分
第3限	13時00分～14時30分
第4限	14時45分～16時15分
第5限	16時30分～18時00分
第6限	18時15分～19時45分

2. 専門教育科目の単位数について

人間社会学域規程別表第4の単位数は、修業年限内で開講される標準開講単位数を示すものです。事情によっては開講されない場合もありますので、開講スケジュールや開講見込みについて関係教員に問い合わせるなどして、履修計画を立てる際には十分に注意してください。

3. 履修登録について

当該の学期・クォーターに開講される科目で単位認定を希望する科目は、集中講義を含め、すべてその学期・クォーター毎に履修登録が必要です。登録方法等については後述しますが、期限に遅れたり、手続きミスをするとその学期・クォーターは履修できなくなりますので、十分注意してください。

履修登録において最も重要なことは、「学務情報サービス」上の「履修時間割表」を確認（訂正）することです。「履修時間割表」には、集中講義を含めて、その学期・クォーターの開講科目のうち単位認定を希望する全科目が記載されていなければなりません。この「履修時間割表」に載っていない科目は、履修しても単位認定はされませんので、必ず内容を確認してください。

また、履修登録についての指示・方法、期限等は全てアカンサスポータルでの通知と掲示にて行いますので、必ず通知・掲示を確認するようにしてください。

4. 定期試験について

試験は、その科目の授業の終わったクォーター末あるいは学期末に行われます。ただし、通年の授業科目のうちの一部は、複数クォーター分を一括して試験するものもあります。

定期試験の再試験は行いませんが、疾病、負傷その他やむを得ない理由により、定期試験を受験する

ことができない学生に限り、追試験申請を認めることがあります。追試験の申請は理由を証明する書類（医師の診断書など）を添えて、事前に（事情によっては、証明書は、後日提出しても差し支えありません）、試験担当教員へ申し出なければなりません。原則として、学生が独自に行うインターンシップ（就業体験）による追試験は認めません。就職試験等で真にやむを得ず定期試験との重複が避けられない場合は、そのことが分かる参考資料を添付して、事前に授業担当教員を通じて人文学類教務委員会に申請してください。なお、インターンシップによる授業の欠席は、通常の欠席として扱われます。

5. 転学類、選択プログラムの変更について

転学類の申請は1年後期から受け付けます。出願時期や手続き方法等の通知を見落とさないよう注意してください。

なお、転学類後は、人文学類に原則として6学期在籍する必要があるため、1年後期に出願し認められた場合のみ、4年間での卒業が可能となります。ただし、転入前の単位の修得状況によっては、短縮を認める場合があります。

選択プログラムの変更については、このハンドブックの「学習計画について」の「7. プログラムについて」（6ページ）も併せて参照してください。

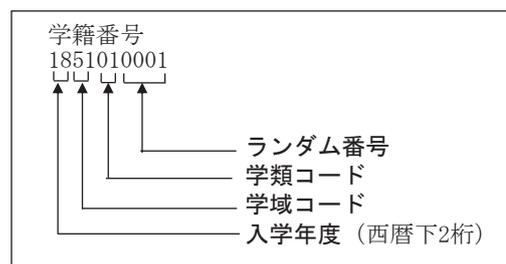
6. 授業科目履修の具体的方法について

(1) 手続きに必要な番号（学籍番号、名列番号）

① 学籍番号

この番号は個人の識別に使用する他、あらゆる手続きで必要です。間違えると単に自分が困るだけでなく、その番号を持った他人に多大な迷惑をかけることとなりますので注意してください。

必ず学生証で確認してください。



② 名列番号

各学年、選択プログラムごとに氏名を50音順に並べた（留年歴のある者等は下位に）3ケタの番号を名列番号と言います。1年次はプログラムを選択していないので学年で付番し、2年次以上は、選択プログラムごとに付番します。出欠や定期試験（答案用紙に要記入）、証明書交付願等に最もよく使うので必ず暗記してください。なお、名列番号は、学籍番号とは関係なく、かつ留年等の場合に変更するので特に注意してください。

(2) 履修登録の方法

履修希望科目の履修登録は、毎学期・クォーターの必ず指示する期間内にインターネットを利用して行わなければなりません。詳細は「金沢大学学生便覧」を参照してください。また、以下に手順と注意を詳述しますので熟読してください。

① 履修希望科目の決定

- ・ シラバス、授業時間割表、掲示物等を基にその学期・クォーター中の履修希望科目を各自で決めてください。
- ・ 科目によっては履修条件が定められているものがあります。人文学類ハンドブック、シ

ラバス、授業時間割表等で、履修登録前に必ず確認してください。

- ・ 授業科目すべてに時間割番号がつけられています。同一の時間割番号の科目は1回のみ履修可能です。
- ・ 同一時限に複数科目（共通教育科目を含む）を登録することや、日程の重なる集中講義を登録することは、重複登録となりますので認めません。
- ・ 過年度者等で自分が取るべき科目が開講されていない場合は、別途指示しますので、人社系教務係に必ず早めに相談してください。

② 履修登録

- ・ インターネットでの履修登録は、アカンサスポータル上の「学務情報サービス」を利用して行います。金沢大学学生便覧を参照して、必ず所定の期間内に登録してください。
- ・ 人間社会学域以外の学域で開講される科目の履修希望者は、「他学域履修願」を人社系教務係で受領し、早めに担当教員の下承を得て、定められた手続き期間内に提出してください。なお、通常のインターネットを利用した履修手続きでは、他学域科目の履修登録はできませんので、特に注意してください。
- ・ 卒業論文は、4年次のQ3に履修登録が必要です。
- ・ 専門科目は、各クォーターの履修登録上限が共通教育科目と合計して12単位以下と決められています。（集中講義により開講する科目、異文化体験実習、インターンシップ、教育実習、卒業論文、学域規程別表第7から別表第9で定める授業科目を除く）なお、GPAの条件を満たしている場合には、履修登録上限が撤廃されます。
- ・ 教育実習、博物館実習等、別に所定の書類の提出を要する科目は、履修登録願と手続きの一方でも欠けると履修を許可しません。
- ・ 集中講義や教育実習等、実施時期が遅い科目も学期・クォーター当初の履修登録が必要です。
- ・ 教育職員免許状取得にかかる「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「各教科（保育内容）の指導法」は、教職ハンドブックを確認の上、開講期に必ず履修登録をしてください。

③ 履修登録科目の確認と訂正 <<重要>>

- ・ 履修登録補正期間になると「学務情報サービス」上の「履修時間割表」に確定した科目が掲載されますので、確認してください。
- ・ 希望どおりであれば、その時点で履修許可科目が確定します。
- ・ 卒業予定の学生は、卒業論文が登録されていることを確認してください。
- ・ 希望と違っていたら、科目の選び方や、これまでの手続きに誤りがなかったか十分検討してください。その上で、訂正（追加・削除）したい場合は、「学務情報サービス」上で訂正してください。
- ・ 履修登録補正期間中は、履修登録・削除を行うことによって「履修時間割表」もリアルタイムで更新されます。希望どおり訂正できたか必ず「履修時間割表」を確認してください。
- ・ 指定期間外の訂正は原則受け付けません。また、他学域の科目の訂正はできません。

- 一旦履修が許可された科目でも、履修要件や単位認定等に不都合がある場合は、予告なく履修許可を取消されることがあります。この場合も科目の追加は認められません。
- ④ 成績の通知
- 成績通知は、掲示等で指示する日時に「学務情報サービス」上で公開されます。
 - 成績通知表の評語は、S・A・B・C・不可の評語のほかに、合・否（合否は一定の水準以上の成績達成を目的とした授業科目の場合）・認定（本学の開講科目以外の授業科目及び外部試験の結果を単位認定する場合）・放棄（履修許可されたが実際には履修せずと判断）9 評語に、保留（合否判定が次学期以降に延期）が加わり 10 種類になります。単位の認定は、S・A・B・C 並びに合・認定の評語を得た授業科目に対してのみ行います。
なお、各評語の標準的到達度は次のとおりです。
S (90%以上), A (80%以上 90%未満), B (70%以上 80%未満), C (60%以上 70%未満), 不可 (60%未満)
 - 保留の科目（卒業論文を含む）で次学期または次のクォーター末に単位認定を希望する場合は、学期・クォーター当初に必ず担当教員に申し出て指示を受けなければなりません。この際の履修登録は、次学期・クォーターの開講科目ではないので必要ありません。
 - 成績通知前に教員に合否を尋ねてはいけません。また、集中講義等を含め、学期途中の単位認定は行いません。
 - 成績通知表には学期・クォーターごとと通算の GPA 値（履修科目のグレード・ポイント = GP の平均 = アベレージ）が掲載されます。各評語の GP は次のとおり。
S=4 点 A=3 点 B=2 点 C=1 点
不可・放棄・保留=0 点 合・認定・否は対象外
 - GPA を算出する基準は、次のとおりです。
放棄した科目もカウントされますので、履修登録はよく検討して行ってください。

$$GPA = \frac{(\text{授業科目で得た GP} \times \text{その授業科目の単位数}) \text{の総和}}{(\text{履修登録した授業科目の単位数の総和})}$$

また、GPA の対象外となるのは、次の授業科目です。

共通教育科目のうちの「全学共通科目」「いしかわシティカレッジの他大学提供科目」「放送大学の授業科目」「入学前の既修得単位を認定した授業科目」「外部試験によって単位認定した授業科目」及び「海外異文化体験学習」

専門教育科目のうちの「入学前の既修得単位を認定した授業科目」「外部試験によって単位認定した授業科目」「教職科目」

- 提示された評価結果について疑義がある場合は、成績通知日より一定の期間以内で疑義の申し立てができます。疑義申し立ての期間や申し立て方法については、成績通知前に別途掲示等で連絡します。

7. 卒業論文について

人文学類共通の必修科目として「卒業論文」があります。

卒業論文を提出する条件として、卒業論文演習 A・B・C・D を合わせて 4 単位修得済みか、または、修得見込であることが必要です。

卒業論文や卒業論文演習 A・B・C・D は、4 年次の開講されるクォーターの初めに履修登録することが必要ですので注意してください。また、卒業論文の提出期限は人文学類細則により定められています。

8. 体験実習科目について

(1) インターンシップ

○ 趣旨・目的

人文学類共通科目の一つとして、在学中に一定期間、民間企業や官庁・自治体その他関連する機関において就業体験を行うことにより、学問を学ぶ意味を実践を通じて理解させるとともに、自らに適した将来の進路を選択する能力の向上を図ることを目的としています。

○ 対象学年・実施時期

2 年次以上を対象とし、原則として、夏季あるいは春季休業中の 1~2 週間とします。

○ 履修手続き等

- ・ 履修を希望する学生は、人文学類就職委員会が主催する説明会に出席してください。(掲示で通知)
- ・ 説明会で内容を確認し、所定期間内に履修登録を行ってください。
- ・ 事前指導・事後指導

就業体験を実施するための準備授業－事前指導、及び就業体験を終了した後の授業－事後指導に出席する必要があります。(掲示で通知)

○ 成績評価

成績は合否で判定し、GPA 制度の対象外とします。

(2) 異文化体験実習

○ 趣旨・目的

人文学類共通科目の一つとして、現在グローバル化が進む中、在学中に一定期間、海外での短期の語学研修及び異文化体験を行うことにより、学問を学ぶ意味を体験を通じて理解させるとともに、コミュニケーションの手段としての実践的な語学能力と、幅広い視野及び柔軟な状況適応能力等向上を図ることを目的としています。「異文化体験実習」に該当するものは、海外における語学研修や海外ボランティア等で、原則として、引率等のない自分のイニシアティブで計画・実施する研修です(本学の主催する語学研修を除く)。

○ 対象学年・実施時期

人文学類 2~4 年生を対象とし、原則として、夏季あるいは春季休業中とします。

(上記に当てはまらない場合は、コーディネーターに予め相談すること。)

○ 履修手続き等

- ・履修を希望する学生は、異文化体験実習科目コーディネーターが主催する説明会に必ず出席してください。本学が主催する語学研修については、それぞれの研修の説明会に必ず出席してください。説明会の日時・場所は掲示・シラバス等で通知されます。

- ・事前指導・事後指導

体験実習を実施するための準備授業―事前指導、及び体験実習を終了した後の授業―事後指導に出席する必要があります。これらの日時・場所は掲示・シラバス等で通知されま

す。

- 異文化体験実習には、「異文化体験実習Ⅰ(海外)」(1～8単位)と「異文化体験実習Ⅱ(海外)」(2単位)があります。「異文化体験実習Ⅰ」は短期の語学研修及び異文化体験を行うことによって単位を修得するものです。修得できる単位数は体験実習の期間に応じて異なります。「異文化体験実習Ⅱ」は、帰国後所定の語学検定試験のスコアを取得するか級に合格することによって修得するものです。「異文化体験実習Ⅰ」と同時に履修登録されます。所定の語学検定試験については次頁を参照してください。

- 成績評価

「異文化体験実習Ⅰ(海外)」及び「異文化体験実習Ⅱ(海外)」の成績は合否で判定し、GPA制度の対象外とします。なお、本学が主催する語学研修に参加した場合の「異文化体験実習Ⅱ」の成績は、当該言語の語学検定試験で定められたスコアを取得するか級に合格することによって判定します。

英 語：TOEFL iBT 79点以上，TOEIC (L&R) 730点以上，
IELTS 6 以上，実用英語技能検定試験準1級以上

中 国 語：中国語検定試験2級以上

朝 鮮 語：「ハングル」能力検定試験2級以上

ド イ ツ 語：CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B1 またはドイツ語技能検定試験 (独検) 2級以上

フ ラ ン ス 語：実用フランス語技能検定試験準2級以上

ス ペ イ ン 語：スペイン語検定試験2級以上

ロ シ ア 語：ロシア語能力検定試験3級以上

ある検定試験で取得したスコアや合格した級などを、ほかの授業科目の単位認定等に使用した場合には、特段の事情・理由がある場合を除き、原則として、本科目(異文化体験実習Ⅱ)としての単位認定はできません。

なお、異文化体験実習Ⅱとしての単位認定を申請することについての詳細は、説明会などに出席して担当教員に予め確認しておくこと。

9. 外部検定試験等による単位認定について

人文学類の学生は、以下の表に掲げる外部検定試験に合格した（あるいは所定のスコアを得た）場合、人文学類の専門科目の単位として算入することができますので、申し出てください。

専門科目

科目	認定対象とする外部検定試験等	合格基準	認定科目・単位数	
中国語	新 HSK (漢語水平考) 筆記 (聞き取り, 読解, 作文) 5~6 級 180~	試験合格	中国語コミュニケーション初級 1,2 2 単位 中国語コミュニケーション初級 3,4 2 単位 中国語コミュニケーション初級 5,6 2 単位 中国語コミュニケーション初級 7,8 2 単位 中国語表現法 A1,2 2 単位 中国語表現法 B1,2 2 単位 現代中国時事文 A1,2 2 単位 現代中国時事文 B1,2 2 単位	16 単位まで
英語	TOEFL (iBT) 79-89 TOEIC(L&R) 760-805 IELTS 6 実用英語技能検定準 1 級	スコア または 試験合格	英語コミュニケーション 1 1 単位 英語コミュニケーション 2 1 単位 英語圏広域文化研究 1 1 単位 英語圏広域文化研究 2 1 単位 英米文化動態論 1 1 単位 英米文化動態論 2 1 単位 英米文化基礎論 1 1 単位 英米文化基礎論 2 1 単位	左記科目のうち 2 単位まで
	TOEFL (iBT) 90-99 TOEIC(L&R) 810-875 IELTS 6.5		英語表現法 A1 1 単位 英語表現法 A2 1 単位 英語表現法 B1 1 単位 英語表現法 B2 1 単位	左記科目のうち 4 単位まで*
	TOEFL (iBT) 100~ TOEIC(L&R) 880~ IELTS 7 実用英語技能検定 1 級		* 単位認定申請済み単位数を引いた数	左記科目のうち 6 単位まで*
ドイツ語	CEFR (ヨーロッパ共通参照 枠) A2 でドイツ語読解基礎 1 からドイツ語コミュニケ ーション初級 6 までの 8 科 目 8 単位まで CEFR (ヨーロッパ共通参照 枠) B1 またはドイツ語技能 検定試験 (独検) 2 級でドイ ツ語読解基礎 1 からドイ ツ語コミュニケーション中級 4 までの 12 科目 12 単位まで CEFR (ヨーロッパ共通参照 枠) B2 以上またはドイツ語 技能検定試験 (独検) 準 1 級 以上で全科目の 16 単位	試験合格	ドイツ語読解基礎 1 1 単位 ドイツ語読解基礎 2 1 単位 ドイツ語コミュニケーション初級 1 1 単位 ドイツ語コミュニケーション初級 2 1 単位 ドイツ語コミュニケーション初級 3 1 単位 ドイツ語コミュニケーション初級 4 1 単位 ドイツ語コミュニケーション初級 5 1 単位 ドイツ語コミュニケーション初級 6 1 単位 ドイツ語コミュニケーション中級 1 1 単位 ドイツ語コミュニケーション中級 2 1 単位 ドイツ語コミュニケーション中級 3 1 単位 ドイツ語コミュニケーション中級 4 1 単位 ドイツ語コミュニケーション中級 5 1 単位 ドイツ語コミュニケーション中級 6 1 単位 ドイツ語表現法 1 1 単位 ドイツ語表現法 2 1 単位	

フランス語	<p>DELF (ヨーロッパ共通参照枠) A2 または実用フランス語技能検定 (仏検) 準 2 級でフランス語コミュニケーション初級 1 からフランス語コミュニケーション初級 8 までの 8 科目 8 単位まで</p> <p>DELF (ヨーロッパ共通参照枠) B1 または実用フランス語技能検定 (仏検) 2 級でフランス語コミュニケーション中級 4 までの 12 科目 12 単位まで</p> <p>DELF (ヨーロッパ共通参照枠) B2 以上または実用フランス語技能検定 (仏検) 準 1 級以上で全科目の 16 単位</p>	試験合格	<p>フランス語コミュニケーション初級 1 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション初級 2 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション初級 3 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション初級 4 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション初級 5 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション初級 6 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション初級 7 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション初級 8 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション中級 1 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション中級 2 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション中級 3 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション中級 4 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション中級 5 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション中級 6 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション中級 7 1 単位</p> <p>フランス語コミュニケーション中級 8 1 単位</p>
-------	---	------	---

1. 単位認定を申請する場合は、人社系教務係から外部検定試験等による単位認定申請書を受領し必要事項を記入の上、成績証明書を添えて人社系教務係へ提出してください。なお、単位認定を申請する科目は未修得のものに限ります。
2. 当該プログラム及び教務委員会で審査後、人文学類会議で単位認定が承認されます。承認までは時間を要するため、単位認定を希望する場合は早めに申請を行ってください。

10. 富山大学人文学部との単位互換について

平成 22 年度前期から、人間社会学域規程第 12 条の規定に基づき、富山大学人文学部で開講される専門科目を履修し、30 単位を限度に、本学類の選択単位とすることができます。ただし、「学域 GS 科目」、「学域 GS 言語科目」、人文学基盤科目の内の「人文学序説 A・B・C・D」、専門科目の内の卒業論文関係科目（卒業論文、卒業論文演習 A・B・C・D）、「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「各教科（保育内容）の指導法」、博物館学芸員資格取得のための科目などは、本学類で開講される科目を履修しなければなりません。また、共通教育科目も対象外です。

富山大学人文学部のシラバスは、富山大学の Web サイト [http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/] で閲覧可能です。ただし、その中には本学類学生の履修が認められないものもありますので、注意してください。履修の手続きは、人社系教務係の窓口で受け付けますが、本学類のプログラム教員等及び相手学部の当該授業科目担当教員の承認が必要になります。

富山大学人文学部との単位互換による修得単位の取扱いに関する申合せ

平成 22 年 2 月 17 日 人文学類会議決定

富山大学人文学部と金沢大学人間社会学域人文学類及び国際学類との単位互換に関する協定書に基づき、金沢大学人間社会学域人文学類の学生が富山大学人文学部で修得した単位について、次のとおりに申し合わせる。

1. 該当する単位のうち、金沢大学人間社会学域人文学類が認めたものを、金沢大学人間社会学域人文学類細則第 4 条第 2 項に規定する修得すべき単位中の選択必修科目に、10 単位を上限として充当することができるものとする。
2. 該当する単位は金沢大学人間社会学域人文学類における授業科目の履修により修得したものとみなし、その成績は S・A・B・C の評語をもって判定し、GPA 制度の対象とする。
3. この申合せは、平成 22 年 4 月 1 日から実施する。

11. 授業の撮影・録画・録音について

金沢大学では、教育的配慮により、授業中は、担当教員の指示もしくは許可を得た場合を除き、「授業の撮影・録画・録音」を禁止します。

一般心得について

1. 共同研究室の使用について

共同研究室（実験・実習室・資料室等を含む）の使用にあたっては、当該プログラムで定める注意事項あるいは使用心得に従い、他の迷惑にならないようにしなければなりません。

- (1) 共同研究室の利用時間は、平日 8 時 30 分から 17 時 30 分までであり、この時間以外及び土曜・休日・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）・夏季一斉休業日に利用する場合は、あらかじめプログラムの教員に申し出てください。
- (2) 省エネのため、照明・冷暖房・パソコン等は、使用後や部屋を離れる時にはスイッチを切ること。退室時は窓閉めも確認すること。
- (3) 備付けの物品類は、みだりに持ち出してはいけません。
- (4) 図書の閲覧、貸し出しは必ず所定の手続きをしてください。
- (5) 蛍光灯が切れたときは、教務員室（人間社会 1 号館 1 階）で新しいものを渡すので、自主的に申し出てください。
- (6) 掃除機は給湯室（人間社会 1 号館 2, 3, 6 階）及び教務員室に、ワイパー等は教務員室にあるので活用してください。
- (7) 金沢大学では所定の場所以外での喫煙は認められていません。共同研究室内も、当然、禁煙となっています。

〈エアコンについて〉

冷暖房の実施期間中にエアコンを使用するときは、ドアや窓を閉め、室温を夏は 28℃、冬は 19℃に設定し効率よく使用してください。不要な熱源、電源は切ってください。例年、エアコンの大量使用が電気容量オーバーの危険をしばしば招いています。夜間はブラインドも活用して、省エネルギーを心がけてください。

〈施錠時の玄関の出入りについて〉

玄関扉は、20 時～翌朝 7 時 45 分までと土曜・休日・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）・夏季一斉休業日には施錠され、学生証がないと入れません（出るのは随時可能で、オートロックになっています）。施錠時間内に、扉に物をはさむなどして、扉を開放状態にすることは固く禁止します（ドアが一定秒数以上開放状態になると、中央監視室の警報が作動します）。どうしても入館が必要な場合は、人を配置するか、人間社会 2 号館正面玄関・人間社会 1 号館地階東出入口の内線電話を利用し、そのつど開閉し施錠を確認してください。

2. 時間外自習室について

学生が時間外に自習を行う場合は、下記の部屋が使用できます（2 年次以上はプログラムの共同研究室も可）。なお、下記以外の部屋を自習のために使用することは、光熱費節約のため自粛すること。グループ等で部屋の利用を希望する場合は人社系教務係で許可を得ること。

- (1) そだてるーム 人間社会第 1 講義棟 1 階

(2) 附属中央図書館 平日 8:45~22:00 (休業期間中は8:45~17:00)
土曜・日曜 9:00~17:00 (休業期間中は休館)

(3) 法学類・経済学類の各図書室

経済学類 平日 10:00~16:45 / 土曜・日曜・休日 閉室

法学類 平日 9:00~17:00 / 土曜・日曜・休日 閉室

(法学類図書室は学期中は20:00まで延長)

3. 姓名等の変更・異動について

本人又は父母等の住所・電話番号・メールアドレス等が変更・異動した場合は、速やかにアカンサスポータルから変更を行ってください。

本人又は父母等の姓名を変更した場合は、速やかに人社系教務係へ申し出てください。

4. アドバイス教員について

1年次のアドバイス教員は、人文学類の全専任教員が分担してつとめます(入学後、アドバイス教員の氏名及び連絡方法などを通知します)。アドバイス教員の役割は、悩みや問題などを一人で抱え込まないようにするためのものです。また、アドバイス教員に相談しづらいことについては、初学者ゼミの担当教員や学生生活委員その他に相談することも可能です。

2年次になってプログラムを選択した後は、当該プログラムの教員がアドバイス教員となります。各教員が開設している「オフィスアワー」も活用してください(シラバスに曜日・時間や受付方法などが記載されています)。

年2回、Q1とQ3の初めにアドバイス教員との面談を実施しています。その際、必ずアドバイス教員と連絡が取れるようにしておいてください。連絡が取れず面談が実施できない場合には、保護者に連絡することになります。

5. 休学・退学について

健康上や経済的な理由等により、休学や退学をしようとする場合は、教員との面談が必要ですので、必ず選択プログラムのプログラム長(1年生の場合はアドバイス教員)に早めに相談してください。届出用紙は人社系教務係で受け取ることができます。

休学は1か月以上で、学期又はクォーターの終わりまで可能です。なお、学期又はクォーターの開始前月までに届出がない場合は、次学期の授業料は徴収されます。

また、当該学期の授業料を納入しない場合は、退学届は受理されません。

6. 事故等について

(1) 学内の緊急連絡先

a) 平日昼間：人社系教務係(076-264-5887)または教務員室(076-264-5360)へ

b) 夜間・休日等(事務職員が不在のとき) 角間キャンパス中央監視室(076-264-6295)

(110番、119番通報が必要な緊急時は学生が直接連絡しても構いません。ただし、その後で上記の中央監視室へ連絡すること)

- (2) 危険・故障箇所，照明切れ，盗難，不審者等の報告のお願い
キャンパス内の危険・故障箇所，照明切れ，盗難，不審者に気づいたら，すぐに教務員室か最寄りの事務室に知らせてください。（緊急で，事務職員不在の時は，上記の中央監視室まで）
- (3) 事故等の報告について
大学の内・外を問わず，万一交通事故等に遭った場合・事故を起こした場合は，人社系教務係に届け出てください。
- (4) 救急箱の設置場所
救急箱は保健管理センター（本部棟，自然科学本館，医学類F棟），基幹教育学務係，中央図書館サービスカウンター，大学会館にあります。（基幹教育学務係，中央図書館サービスカウンター，大学会館事務室には簡単な外傷処理用品のみ配置）

7. 非常時における授業・試験等の取扱いについて

暴風警報，大雨警報，大雪警報等及び各種特別警報の発令や地震等の自然災害等による公共交通機関の運休並びに学内事故等で，授業及び試験の実施が困難となった場合の取扱いに関しては，別に定められています。「非常時等における緊急登学停止措置に関する要項（抄）」（142 ページ）を参照してください。

8. 学生に対する公示について

学類が行う学生に対する通知は，アカンサスポータル又は掲示板（電子掲示板を含む）により行うので，常時注意してください。

9. 学生団体の結成届出について

学生が学類内で団体を結成する場合は，所定の様式により人社系学生支援係を経て学類長に届け出なければなりません。なお，一度結成された団体でも，毎年度の始めにあらためて届出をする必要があります。

10. 学生が行う集会・掲示について

学生が学類内で集会を行う場合は，責任者は行事の2日前までに，所定の用紙により人社系教務係に届け出てください。また，集会に使用する施設及び物品についても同様に許可を受けること。学外で行う集会又は行事についても，事前に届け出ることが望ましい。

学生が学内で掲示を行う場合は，事前に人社系教務係に届け出てください。掲示は所定箇所以外禁止します。掲示には画ビヨウを使うこと（テープははがした跡が壁に残るので禁止）。必要期間を過ぎた掲示は，必ず団体責任者が取り除くこと。

11. 就職・インターンシップ等支援について

事務局棟2階に就職支援室を設置しています。就職支援室では次のような学生支援を行っています。

- (1) 就職希望者に対する説明会，インターンシップ先の紹介
- (2) 企業の求人内容及び公務員，教員の募集内容の掲示

(3) 企業研究会、企業説明会等による就職活動支援

(4) 就職相談、模擬面接等による学生の個別的支援

進路が内定したら、アカンサスポータルを通じて就職支援室に報告してください。学類では、就職委員が就職やインターンシップの相談・指導を行っています。また、就職委員会は、就職関係の各種講演会、就職セミナー、就職内定者による体験報告会などを行っています。就職希望者はこれらの活動に積極的に参加するとともに、必要に応じて就職委員及び進路指導担当職員と連絡を取るようしてください。

12. 駐車・駐輪について

自動車による通学は、駐車許可証を申請し許可された者に限られています。

駐車許可証を交付された者は、必ず学生用駐車場（1年次はB、2～4年生はC・D）内の所定の駐車ラインに従って駐車すること（通路部分は駐車禁止）。サービスヤード（人間社会2号館周囲、大学会館横、体育館前）、北福利施設周囲、人間社会1号館周囲等には駐車しないこと。

バイク、自転車は所定の駐輪場に置くこと。

サービスヤード、周回道路、駐車場における違反駐車車両には、警告ポールを取り付け、一定期間は解錠しません。

アカデミックゾーン内（キャンパス周回道路の内側）への違反侵入・駐車車両（バイク・自転車を含む）は、発見次第、警告ポールを取り付け、一定期間は解錠しません。駐車違反が繰り返されると懲戒処分の対象になります。特に教職員用のP駐車場には学生は決して駐車しないでください。

13. 『金沢大学学生便覧』『きいつけまっし』参照事項

次の項目については、『金沢大学学生便覧』を参照してください。

- 学生証の取り扱い
- 諸証明の発行
- 授業料の納入
- 授業料免除
- 奨学制度
- 学生寮
- 健康管理、定期健康診断
- アルバイト
- 留学希望
- インターネットおよび電子メール（学内コンピューター情報ネットワーク）の利用法
- 辰口共同研修センターの利用

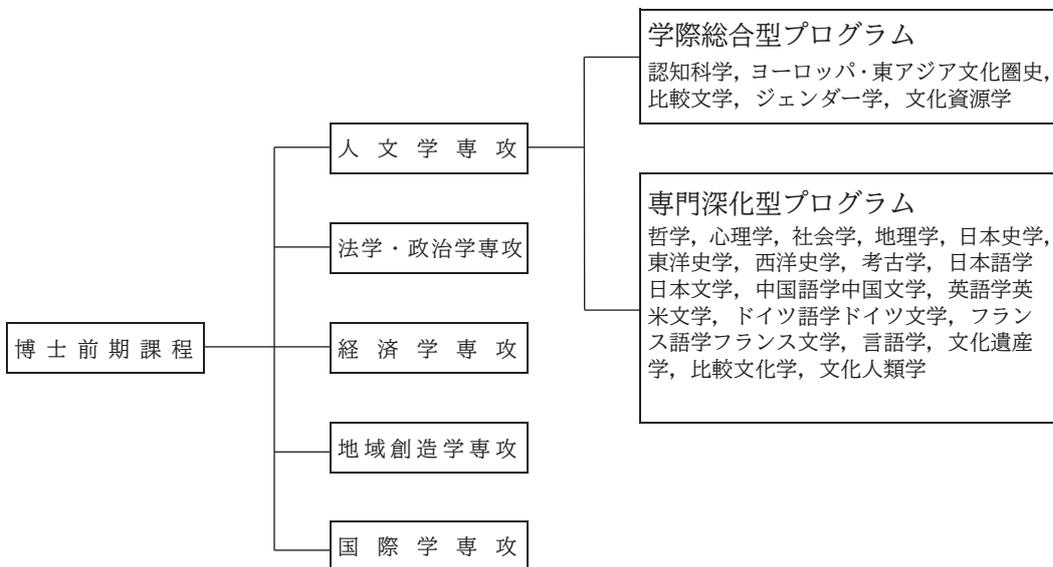
なお、トラブルを予防し、充実した学生生活を送るためのアドバイス・留意点については、『きいつけまっし：安全で快適な学生生活のために』を参照してください（金沢大学ホームページにも掲載）。

大学院について

大学院「人間社会環境研究科」は博士前期課程（いわゆる修士課程）及び博士後期課程（いわゆる博士課程）から構成されています。博士前期課程は、下の組織図にあるように 5 専攻から構成されています。そのうち人文学類で学ぶ学生に関わりが深いのは「人文学専攻」です。

—博士前期課程—

人文学専攻で学ぶ大学院生の進学目的は大きく二つに分けられるようです。一つは、企業、自治体、地域社会で専門的実務能力を備えた高度職業人として活躍することを目指し、そのための深い知識と学際的な視野を獲得したい場合。もう一つは、大学教員など研究者を目指し、博士後期課程進学的基础となる専門的知識や応用的研究技法を修得し、自らの研究を発展させたい場合です。



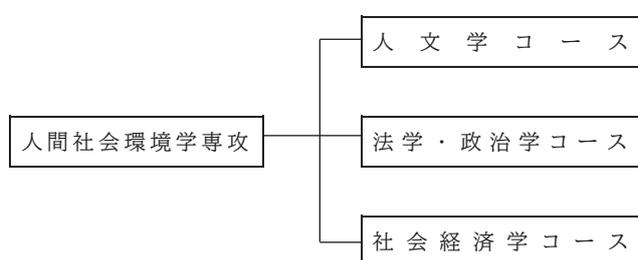
人文学専攻には、人間の行動や思考、社会現象、言語、歴史等の人間に関わる様々な問題に創造的かつ柔軟に取り組む能力を育成するために、従来からの専門領域において課題の深化を目指して研究をおこなう「専門深化型プログラム」及び複合的領域において今日的な視点から研究に取り組む「学際総合型プログラム」の 2 つのタイプのプログラムが複数用意されています。入学者はそれらの中から一つのプログラムコース（例えば「認知科学」や「哲学」など）を選択し、そのカリキュラムに沿って専門知識や研究方法を学び、自らの研究を進めます。それぞれのプログラムコースの主な授業科目等については研究科のホームページを参照してください。

—博士後期課程—

博士後期課程では、博士前期課程で培った専門的な知識と能力を基礎に総合性に富んだ高度に専門的な教育研究が行われ、先端的研究や高等教育の担い手として独創性豊かな教育研究能力を発揮できる大学教員、研究者及び高度専門職業人を養成することを目的としています。

標準修業期限内（3年間）に博士の学位を授与することを目指すため、1年次から3年次まで体系的に研究活動が行えるように、5つの柱、1) 複数の教員集団による論文指導、2) プロジェクト研究への参加、3) 学術雑誌への論文投稿、4) 公開形式による研究報告会の開催、5) 2段階方式の学位論文審査、による教育プログラムが準備されています。

本研究科博士後期課程は 3 コースから構成されており、授与する学位は、博士（社会環境学）、同（文学）、同（法学）、同（政治学）、同（経済学）、同（学術）です。



金沢大学履修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、金沢大学学則第49条第3項の規定に基づき、授業科目の履修について必要な事項を定めるものとする。

(授業科目と履修方法)

第2条 授業科目は、共通教育科目(「金沢大学<グローバル>スタンダード」を基軸とした、学士課程教育の基盤をなす授業科目をいう。)及び専門教育科目(学域に係る専門の学芸を教授することを目的とする授業科目をいう。)に区分する。

2 履修方法については、国際基幹教育院及び各学域において別に定める。

第3条 共通教育科目は、「導入科目」、「GS科目」、「GS言語科目」、「基礎科目」、「初習言語科目」及び「自由履修科目」に区分する。

2 専門教育科目は、「学域GS科目」、「学域GS言語科目」、「専門基礎科目」及び「専門科目」に区分する。

(基幹教育特設プログラム)

第4条 特定の分野の学修を目的として、共通教育科目及び各学類が提供する専門教育科目から編成する教育プログラム(以下「基幹教育特設プログラム」という。)を開設し、その学修成果を認定することができるものとする。

2 基幹教育特設プログラムにおいて、所定の単位を修得した者には、共通教育委員会の議を経て、国際基幹教育院長が修了を認定する。

3 前2項の教育課程等については、国際基幹教育院において別に定める。

(副専攻)

第5条 学生が所属する学域、学類並びにコース及び専攻に係る分野以外の分野又は課題に関する教育課程(以下「副専攻」という。)を開設し、その学修成果を認定することができるものとする。

2 副専攻において、所定の単位を修得した者には、当該学生が所属する学域の教育研究会議の議を経て、学域長が修了を認定する。

3 前2項の教育課程等については、各学域において別に定める。

(先導 STEAM 人材育成特別プログラム)

第5条の2 幅広い教養と深い専門性を両立した人材を育成することを目的として、「先導 STEAM 人材育成特別プログラム」を開設し、その学修成果を認定することができるものとする。

2 先導 STEAM 人材育成特別プログラムを修了した者には、修了証を交付する。

3 先導 STEAM 人材育成特別プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(データサイエンス特別プログラム)

第5条の3 数理・データサイエンス・AI 活用のための基礎的知識を有する人材を育成するため「データサイエンス特別プログラム」を開設し、その学修成果を認定することができるものとする。

2 データサイエンス特別プログラムを修了した者には、修了証を交付する。

3 データサイエンス特別プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(教育職員免許状の取得に関する授業科目)

第6条 教育職員免許状を取得しようとする者は、別に定める「教科に関する専門的事項」，「教育の基礎的理解に関する科目」，「道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目」，「教育実践に関する科目」，「各教科の指導法」，「大学が独自に設定する科目」及び「特別支援教育に関する科目」の単位を修得しなければならない。

(受講者の抽選・選抜)

第7条 一部の授業科目については、選抜試験又は抽選等で受講者を選定することがある。

2 前項の授業科目及び受講者の適正人数は、国際基幹教育院及び各学域において指示するものとする。
(履修手続)

第8条 学生は、履修を希望する授業科目について、別に定める履修登録期間に履修登録手続により学域長又は国際基幹教育院長に願い出、許可を受けなければならない。

2 学生は、履修登録期間後に履修を希望する授業科目の確認を行い、変更する場合は確認・変更期間内に手続を行わなければならない。

3 履修登録手続をしていない授業科目については、履修することができない。履修登録手続に不備又は誤りがあった場合も同様とする。

4 やむを得ない理由により、所定の期間内に履修登録手続を行うことができない場合は、その理由を付して学域長又は国際基幹教育院長に届け出なければならない。

(履修登録の制限)

第9条 各学期又は各クォーターに履修登録できる単位数の上限は、各学域及び国際基幹教育院で別に定める。

(履修許可の取消し)

第10条 履修を許可された後においても、本規程に違反して履修登録したことが判明した場合には履修の許可を取り消すことがある。

(単位認定対象資格)

第11条 次に掲げる各号のいずれかに該当する学生は、単位認定を受ける資格がないものとする。

(1) 当該授業科目の履修登録をしていない者

(2) 授業出席回数が国際基幹教育院及び各学域で定める出席すべき授業回数に満たない者

(3) 休学期間が当該授業科目の開講期間と重なる者

(不正行為)

第12条 試験等における不正行為については、金沢大学学生懲戒規程の定めるところによる。

(単位確定時期)

第13条 単位確定の時期は、次の各号に掲げる時期とする。

(1) 前期開講授業科目は、9月末日とし、後期開講授業科目は、3月末日とする。

(2) 前号の規定にかかわらず、卒業者については学位授与の日をもって単位確定の時期とする。

(成績の評価)

第14条 授業科目の成績は、次の各号に掲げる基準によるものとする。

評語	英訳(証明書)評語	判定	学修達成度
(1) S	AA	合格	90%以上
(2) A	A	合格	80%以上 90%未満

(3) B	B	合格	70%以上 80%未満
(4) C	C	合格	60%以上 70%未満
(5) 合	P : Pass	合格	60%以上
(6) 認定	CF : Certify	合格	60%以上
(7) 不可		不合格	60%未満
(8) 否		不合格	60%未満
(9) 放棄		不合格	

- 2 「合」及び「否」の評語は、一定水準の成績達成を目的とした授業科目において使用するものとする。
- 3 「認定」の評語は、本学の開講科目以外の授業科目及び外部試験等の結果により、評価する授業科目において使用するものとする。ただし、単位互換協定書その他により定めがある場合は、この限りでない。
- 4 単位認定を保留とする場合の基準及び保留後の成績評価方法については、国際基幹教育院及び各学域において別に定める。
- 5 成績通知には、第1項の評語を用いる。
- 6 成績証明書には、判定が合格となった授業科目のみ記載し、第1項の評語を用いる。ただし、認定は「認」と表示する。

(綜合成績評価)

第15条 前条の成績の評価に対して次の各号に掲げるグレード・ポイント(以下「GP」という。)を設定し、不合格の授業科目を含めて、履修科目のグレード・ポイントの平均(グレード・ポイント・アベレージ(以下「GPA」という。))を算出し、綜合成績評価を行う。

評語	GP
(1) S	4点
(2) A	3点
(3) B	2点
(4) C	1点
(5) 合	対象外
(6) 認定	対象外
(7) 不可	0点
(8) 否	対象外
(9) 放棄	0点 (第14条第2項に規定する評語を用いる科目については対象外)

- 2 単位認定が保留となった授業科目のGPは、0点とする。
- 3 GPAを算出する基準は、次のとおりとする。

$$GPA = (\text{授業科目で得たGP} \times \text{その授業科目の単位数}) \text{の総和} / (\text{履修登録した授業科目の単位数の総和})$$
- 4 成績証明書には、GPAは明記しない。
- 5 GPAにおける保留授業科目は、履修登録した授業科目の単位数の総和に含める。
- 6 再履修の取扱いについては、国際基幹教育院及び各学域において別に定める。
- 7 GPA対象外授業科目は、次のとおりとする。

(1) 共通教育科目

「導入科目」，「いしかわシティカレッジの他大学提供科目」，「放送大学の授業科目」，「入学前の既修得単位を認定した授業科目」及び「外部試験によって「認定」の評語で単位認定した授業科目」

(2) 前号以外の共通教育科目については，各学域において別に定める。

(3) 専門教育科目については，各学域において別に定める。

(成績評価の疑義申し立て)

第 16 条 成績の評価に対する疑義申し立てについては，「成績評価への疑義申し出に対する対応についての申し合わせ」による。

附 則

この規程は，平成 20 年 4 月 1 日から施行し，平成 20 年度入学者から適用する。

附 則

この規程は，平成 21 年 4 月 1 日から施行し，平成 21 年度入学者から適用する。

附 則

この規程は，平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は，平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この規程は，平成 28 年 4 月 1 日から施行し，平成 28 年度入学生から適用する。
- 2 平成 28 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。ただし，第 4 条第 2 項に定める共通教育特設プログラムの修了認定は，国際基幹教育院長が行うものとする。

附 則

この規程は，平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は，令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は，令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

金沢大学人間社会学域規程

(平成 20 年 4 月 1 日規程第 1093 号)

目次

- 第 1 章 総則(第 1 条－第 4 条)
- 第 2 章 履修方法等(第 5 条－第 15 条)
- 第 3 章 試験及び成績評価(第 16 条－第 20 条)
- 第 4 章 卒業・学位(第 21 条・第 22 条)
- 第 5 章 再入学, 転入学及び編入学(第 23 条－第 25 条)
- 第 6 章 転学類及び転コース(第 26 条・第 27 条)
- 第 7 章 研究生, 科目等履修生, 特別聴講学生(第 28 条－第 35 条)
- 第 8 章 教育職員免許(第 36 条－第 41 条)
- 第 9 章 副専攻(第 42 条)
- 附則

第 1 章 総則

(趣旨)

第 1 条 この規程は, 金沢大学人間社会学域(以下「本学域」という。)における教育課程, 履修方法, 試験, 卒業等に関し, 金沢大学学則(以下「学則」という。), 金沢大学履修規程(以下「履修規程」という。)及び金沢大学共通教育科目に関する規程(以下「共通教育科目規程」という。)に定めるもののほか, 必要な事項を定める。

(学類等)

第 2 条 本学域に次の学類, コース, プログラムを置く。

学類	コース・プログラム	専修
人文学類	心理学プログラム	
	現代社会・人間学プログラム	
	考古学・文化資源学プログラム	
	歴史学プログラム	
	日本・中国言語文化学プログラム	
	欧米言語文化学プログラム	
	言語科学プログラム	
法学類	公共法政策コース	
	企業関係法コース	
	総合法学コース	

経済学類	エコノミクスコース	
	グローバル・マネジメントコース	
学校教育学類	教育科学コース	教育基礎専修
		特別支援教育専修
	教科教育学コース	国語教育専修
		社会科教育専修
		数学教育専修
		理科教育専修
		音楽教育専修
		美術教育専修
		保健体育専修
		家政教育専修
		英語教育専修
地域創造学類	福祉マネジメントコース	
	環境共生コース	
	地域プランニングコース	
	観光学・文化継承コース	
国際学類	国際社会コース	
	日本・日本語教育コース	
	アジアコース	
	米英コース	
	ヨーロッパコース	

※人文学類に所属する学生は、プログラムに所属しない。コース制は採用せず、プログラムを選択して履修する。

(附属施設)

第3条 学則第5条第4項により学校教育学類に置かれる、附属教育研究施設に関する事項は、学校教育学類において別に定める。

(教育研究上の目的)

第4条 本学域においては、人間及び人間社会に関する普遍的真理の探求とともに、激変する複雑な社会状況の下で、人間及び人間社会が直面する諸問題の解決に貢献寄与するための教育を行い、社会に貢献しうる自発的な課題探求能力や解決能力を持ち、かつ多文化共生時代にふさわしい理解力と判断力を持った個性的な人材を養成することを目的とする。

2 学類における人材養成に関する目的その他教育研究上の目的は、別表第1のとおりとする。

第2章 履修方法等

(所属コース及びプログラムの決定)

第5条 学生は、その所属する学類において別に定めるところにより、志望するコース、プログラムを選択し、学類長に届出なければならない。

2 前項の志望者数が、コース、プログラム、専修ごとに学類において定める受入れ上限数（人文学類にあっては適正上限数）を超過したときは、選考によりコース、プログラムを決定することがある。

(授業科目及び単位数等)

第6条 学生は、別表第2、別表第3-1、別表第3-2及び別表第4により、必要な単位を修得しなければならない。ただし、学則第46条第1項の第3号から第7号までの規定により編入学を許可された学生の卒業に必要な事項は学類において別に定める。

2 本学域が提供する授業科目、単位数及び開講時期は、別表第3-1、別表第3-2のとおりとする

3 本学域の各学類が提供する授業科目及び単位数は、別表第4のとおりとする。

4 前項の授業科目の開講時期は、各学類で別に定める。

5 共通教育科目の授業科目及び単位数は、共通教育科目規程の定めるところによる。

(短期留学プログラム)

第6条の2 本学域に短期留学プログラムを置く。短期留学プログラムに関する授業科目及び単位数は、別表第4及び共通教育科目規程のほか、別に定める。

2 前項に定めるプログラムを履修することができる学生は、別に選考する。

3 第1項に定めるプログラムを履修する学生は、1学期に1科目以上専門科目を履修しなければならない。

4 第1項に定めるプログラムに関する必要な事項は、別に定める。

(公認心理師養成プログラム)

第6条の3 本学域に公認心理師養成プログラムを置く。公認心理師養成プログラムに関する授業科目及び単位数は、別表第10-1のとおりとする。

2 前項に定めるプログラムを履修することができる学生は、別表第10-2に規定する修得すべき単位数を修得した学生とする。なお、履修希望者数が別に定める上限数を超過したときは、選考により履修者を決定する。

3 第1項に定めるプログラムに関する必要な事項は、別に定める。

第7条 前条で定めた、授業科目の単位修得に関する要件及び履修方法は、各学類で別に定める。

(履修の上限)

第8条 履修規程第9条の規定に基づく各学期又は各クォーターに履修科目として登録できる科目の上限単位数(以下「履修登録単位数の上限」という。)は、共通教育科目、他学域履修科目及び本学域履修科目を含め、別表第5のとおりとする。

2 履修登録単位数の上限の対象としない授業科目は、共通教育科目規程第5条第2項で定める授業科目の他、集中講義により開講する科目、異文化体験実習、インターンシップ、法律実務インターンシップ、教育実習、判例研究、演習（法学類及び経済学類）、卒業論文、卒業研究及び別表第7から別表第9で定める授業科目（学校教育学類を除く）とする。

3 複数クォーター継続して開講する授業科目の各クォーターにおける履修上限に算入する単位数は、開講する通算のクォーターにより按分するものとする。

4 履修登録単位数の上限を解除できる条件は、各学類で別に定める。

(他学域における授業科目の履修等)

第9条 学生は、本学域長の許可を得て、他学域の授業科目を履修することができる。

(他学域における履修単位の認定)

第10条 前条の規定により履修した単位及び本学域の他学類で履修した単位の認定方法等は、各学類で別に定める。

(他学域学生の授業科目の履修等)

第11条 他学域の学生は、当該学域長を経由して本学域長の許可を受けた上、本学域の授業科目を履修又は聴講することができる。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修)

第12条 学生は、学域長の許可を得て、他の大学又は短期大学の授業科目を履修することができる。ただし、いしかわシティカレッジ事業に参加する他大学の授業科目及び放送大学の授業科目については、国際基幹教育院の定めによるところによる。

2 前項の規定により履修した授業科目の修得単位は、教育研究会議の議を経て、本学域の単位として認定することができる。

3 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第13条 本学域が教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(本学域に入学する前に行った学修を含む)を、所定の手続きにより本学域における授業科目の履修とみなし、教育研究会議の議を経て単位を認定することができる。(休学期間中の他の大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学における学修)

第13条の2 本学域が教育上有益と認めるときは、学生が休学期間中に他の大学若しくは短期大学(以下「大学等」という。)又は外国の大学等において履修した授業科目について修得した単位を、本学域における授業科目の履修により修得したものとみなし、教育研究会議の議を経て単位を認定することができる。

(入学前の既修得単位等の認定)

第14条 本学域が教育上有益と認めるときは、本学域に入学する前に大学若しくは短期大学(以下「大学等」という。)又は外国の大学等において履修した授業科目について修得した単位を、本学域に入学した後の本学域における授業科目の履修により修得したものとみなし、教育研究会議の議を経て単位を認定することができる。

(他の大学等での学修による単位の認定)

第15条 前4条の規定により認定することができる単位数は、金沢大学国際基幹教育院総合教育部規程第4条から第7条までの規定により国際基幹教育院において認定される共通教育科目の単位数と合わせて60単位を超えないものとする。ただし、再入学、転入学及び編入学をした学生の入学前の既修得単位については、各学類で別に定める。

- 2 前4条の規定により単位を認定した場合は、単位互換協定書等により定めがある場合を除き、成績評価を「認定」の評語をもって表す。

第3章 試験及び成績評価

(試験)

第16条 試験は、各授業科目について、その授業の終わった試験期間に行う。ただし、必要があるときは、その時期を変えることがある。

- 2 授業科目の性質により、平常の成績をもって、前項の試験に代えることがある。

- 3 履修規程第11条第2号により、学域において定めることとされている出席すべき授業回数は、各学類で別に定める。

(追試験)

第17条 病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者については、願い出により試験を行うことがある。

第18条 前2条に定める他、授業科目の試験に関し必要な事項は、各学類で別に定める。

(保留の成績評価)

第19条 履修規程第14条第4項の規定による「保留」の成績評価は、学修未達成の者で、特定の課題提出等により学修達成度60%以上に達する見込みのある場合に行うことができる。

(総合成績評価)

第20条 本学域で履修規程第15条に規定するGPA値を利用する事項については、各学類で別に定める。

- 2 履修規程第15条第6項に規定する再履修の取り扱いについては、各学類で別に定める。
- 3 履修規程第15条第7項第3号に規定するGPA対象外科目は、S・A・B・C以外で判定する授業科目のほか、別表第7から別表第9で定める授業科目（学校教育学類を除く）及び各学類で別に定める授業科目とする。

第4章 卒業・学位

(卒業)

第21条 本学域に4年以上在学し、別表第2に定める卒業に必要な単位を修得し、かつ別に定める英語能力検定試験において一定の基準を満たす者には、教育研究会議の議を経て卒業を認定する。

- 2 前項の規定にかかわらず、学類は、学則第60条に定める早期卒業に関して必要な事項を定めることができる。

(学位)

第22条 本学域を卒業した者には、学則第61条の規定により学士の学位を授与する。

- 2 前項の学位に付記する専攻分野の名称は、金沢大学学位規程の定めるところによる。

第5章 再入学、転入学及び編入学

(再入学)

第23条 学則第46条第1項第1号に規定する者が、本学域へ再入学を志願するときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可する。

2 再入学の出願資格及び選考方法等については、必要に応じて各学類で別に定める。

(転入学)

第24条 学則第46条第1項第2号に規定する者が、本学域へ転入学を志願するときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可する。

2 転入学の出願資格及び選考方法等については、必要に応じて各学類で別に定める。

(編入学)

第25条 学則第46条第1項の第3号から第7号までに規定する者が、本学域へ編入学を志願するときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可する。

2 編入学の出願手続、選考方法等については、必要に応じて各学類で別に定める。

3 編入学の時期は、原則として第3学年の始めとする。

第6章 転学類、転コース及び転プログラム

(転学類)

第26条 転学類(他学域に所属する学生が、本学域の各学類に転学類する場合を含む)を志願する者があるときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可する。

2 転学類の出願資格及び選考方法等については、各学類で別に定める。

3 転学類の時期は、原則として第2学年の始めとする。

4 転学類をした学生については、当該転学類先の年次の学生に適用する本規程その他関係規定を適用する。

(転コース)

第27条 転コースを志願する者があるときは、学類長に願い出て、許可を得なければならない。

2 転コースの選考方法等については、各学類で別に定める。

第7章 研究生、科目等履修生、特別聴講学生

(選考方法等)

第28条 本学域の研究生又は科目等履修生として入学を志願する者があるときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可することがある。

2 本学域の特別聴講学生として入学を希望する者があるときは、教育研究会議の議を経て許可する。

(入学時期)

第29条 研究生、科目等履修生及び特別聴講学生の入学時期は、学期の始めとする。ただし、特別な事情があると判断される場合は、この限りではない。

(入学資格)

第30条 研究生として入学することのできる者は、大学を卒業した者又は教育研究会議においてこれと同等以上の学力があると認めたとする。

2 科目等履修生として入学することのできる者は、教育研究会議が適当と認めたとする。

(入学志願手続)

第31条 研究生又は科目等履修生として入学を志願する者は、入学願書に所定の検定料及び別に定める書類を添えて、所定の期日までに、学域長に願い出なければならない。

(研究期間)

第32条 研究生の研究期間及び科目等履修生の履修期間は、入学を許可された年度内とする。ただし、引き続き研究又は履修を願い出た者は、学域長の許可を得てその期間を延長することができる。

(研究生の指導教員等)

第33条 研究生には、その研究題目に応じて指導教員を定める。

2 研究生は、指導教員の指導を受けるほか、指導教員及び授業科目担当教員の承認を得て、当該研究に関連のある授業科目を聴講することができる。

(費用負担)

第34条 研究生には、研究に要する費用の一部を負担させることがある。

第35条 この規程に定めるもののほか、研究生、科目等履修生、特別聴講学生に関し必要な事項については別に定める。

第8章 教育職員免許

(所要資格の取得)

第36条 教育職員の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

(免許状の種類)

第37条 本学域において取得できる教育職員の免許状の種類は、別表第6のとおりとする。

(教科(領域)に関する専門的事項)

第38条 本学域における「教科(領域)に関する専門的事項」の履修方法は、各学類で別に定める。

(教育の基礎的理解に関する科目等及び各教科(保育内容)の指導法)

第39条 「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」をあわせて「教育の基礎的理解に関する科目等」と呼称し、「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「各教科(保育内容)の指導法」は、別表第7のとおりとする。その履修方法は、各学類で別に定める。

(大学が独自に設定する科目)

第40条 「大学が独自に設定する科目」は、別表第8のとおりとする。その履修方法は、学校教育学類で別に定める。

(特別支援教育に関する科目)

第41条 特別支援教育に関する科目は、別表第9のとおりとする。その履修方法は、学校教育学類で別に定める。

第9章 副専攻

(副専攻)

第42条 副専攻に関し必要な事項については別に定める。

附 則

この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

(略)

附 則

- 1 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表第 4 の国際学類（学類番号 06）における「国際公共経済論 A1」，「国際公共経済論 A2」，「国際コミュニケーション論 1」，「国際コミュニケーション論 2」，「国際金融論 A1」，「国際金融論 A2」，「日本語教育評価法 1」，「韓国・北朝鮮比較研究 1」，「韓国・北朝鮮比較研究 2」，「英語圏文化論 1」，「英語圏文化論 2」，「西洋経済史 B」については、平成 28 年度入学生にのみ適用する。
- 3 前項の規定のほか、平成 29 年 3 月 31 日に在籍する者については、改正後の別表第 4 の国際学類（学類番号 06）における「東アジア社会と教育 A1 (52245)」，「東アジア社会と教育 A2 (52745)」，「東アジア社会と教育 B1 (52246)」，「東アジア社会と教育 B2 (52746)」，「異文化体験実習 I (アメリカ)」，「異文化体験実習 II (アメリカ)」を除き、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第 3-1 の学域 GS 科目のうち GS 科目発展系科目群、別表第 4 の国際学類（学類番号 06）における「アフリカ概説 1」，「アフリカ概説 2」，「日本文化体験 A (16238)」，「日本文化体験 B (16239)」，「現代中国論 A1」，「現代中国論 A2」，「現代中国論 B1」，「現代中国論 B2」，「現代中国論 1E」，「現代中国論 2E」，「国際社会研究演習 A1」，「国際社会研究演習 A2」，「国際社会研究演習 A3」，「国際社会研究演習 A4」，「国際社会研究演習 B1」，「国際社会研究演習 B2」，「国際社会研究演習 B3」，「国際社会研究演習 B4」，「日本語教育実習 A (1 単位)」，「日本語教育実習 B (1 単位)」，「日本史特論 1」，「日本史特論 2」，「海外日本語教育実習」，「日本研究演習 A1」，「日本研究演習 A2」，「日本研究演習 A3」，「日本研究演習 A4」，「日本研究演習 B1」，「日本研究演習 B2」，「日本研究演習 B3」，「日本研究演習 B4」，「中国の文化と社会 1E (52244)」，「中国の文化と社会 2E (52744)」，「朝鮮語コミュニケーション Va」，「朝鮮語コミュニケーション Vb」，「朝鮮語コミュニケーション VIa」，「朝鮮語コミュニケーション VIb」，「アジア研究演習 A1」，「アジア研究演習 A2」，「アジア研究演習 A3」，「アジア研究演習 A4」，「アジア研究演習 B1」，「アジア研究演習 B2」，「アジア研究演習 B3」，「アジア研究演習 B4」，「BusinessCommunication (52357)」，「米英研究演習 A1」，「米英研究演習 A2」，「米英研究演習 A3」，「米英研究演習 A4」，「米英研究演習 B1」，「米英研究演習 B2」，「米英研究演習 B3」，「米英研究演習 B4」，「美術史 1E (52410)」，「美術史 2E (52910)」，「ヨーロッパ研究特論 3E」，「ヨーロッパ研究特論 4E」，「ヨーロッパ研究演習 A1」，「ヨーロッパ研究演習 A2」，「ヨーロッパ研究演習 A3」，「ヨーロッパ研究演習 A4」，「ヨーロッパ研究演習 B1」，「ヨーロッパ研究演習 B2」，「ヨーロッパ研究演習 B3」，「ヨーロッパ研究演習 B4」，「社会学」については、平成 28 年度入学生から適用する。

附 則

この規程は、平成 29 年 6 月 16 日から施行し、平成 28 年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 30 年 3 月 31 日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 31 年 3 月 31 日に在学する者については、第 20 条第 3 項の改正規定並びに改正後の別表第 4 の国際学類（学類番号 06）における「地理学概論 B」，「英語学概説 E」，「ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義 A」，「ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義 B」，「ヨーロッパ・アフリカ史演習 A」，「ヨーロッパ・アフリカ史演習 B」，「ヨーロッパ・アフリカ史演習 C」，「ヨーロッパ・アフリカ史演習 D」，「ヨーロッパ・アフリカ史演習 E」及び「ヨーロッパ・アフリカ史演習 F」を除き、なお従前の例による。ただし、第 8 条第 2 項における「法律実務インターンシップ」に係る改正規定及び改正後の別表第 4 の地域創造学類（学類番号 05）における「雇用政策論 I」については、平成 30 年度入学生から、改正後の別表第 4 の国際学類（学類番号 06）における「日本語教授法 B」及び「日本語教授法演習（教育実習）」については、平成 29 年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 2 年 3 月 31 日に在学する者については、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第 4 の法学類（学類番号 02）における「海外法学特別研究」及び「海外政治学特別研究」については、令和 2 年 3 月 31 日に在学する者についても適用し、改正後の別表第 4 の地域創造学類（学類番号 05）における地域プランニングコース「交通計画」については、平成 30 年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 2 年 3 月 31 日に在学する者については、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第 4 の法学類（学類番号 02）における「海外法学特別研究」及び「海外政治学特別研究」については、令和 2 年 3 月 31 日に在学する者についても適用し、改正後の別表第 4 の地域創造学類（学類番号 05）における地域プランニングコース「交通計画」については、平成 30 年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 3 年 3 月 31 日に在学する者については、なお従前の例による。
ただし、改正後の別表第 4 の国際学類（学類番号 06）における「比較教育学 1E」及び「比較教育学 2E」については平成 30 年度入学生から、別表第 7、別表第 9 及び別表第 10-2 については令和元年度入学生から適用する。

別表第 1(第 4 条関係) (略)

別表第2(第6条関係)
単位修得要件

学類	共通教育科目	専門教育科目				合計
		学域GS科目	学域GS言語科目	専門基礎科目	専門科目	
人文学類	36単位以上	8単位	2単位	人文学基盤科目 14単位以上	64単位以上	124単位以上
法学類	36単位以上	8単位	2単位	4単位以上	78単位以上	128単位以上
経済学類	36単位以上	8単位	2単位	4単位以上	76単位以上	126単位以上
学校教育学類	28単位以上	8単位	2単位	59～64単位以上	40～45単位以上	142単位以上
地域創造学類	36単位以上	8単位	2単位	5単位以上	73単位以上	124単位以上
国際学類	36単位以上	8単位	2単位以上	学類共通科目 20単位以上	58単位以上	124単位以上

※学域GS科目はデータサイエンス応用系科目を2単位以上修得すること

別表第3-1(第6条関係)学域GS科目単位配当表

科目区分	科目番号	科目名	学年	開講時期				単位数	備考 (履修制限等)
				前期		後期			
				Q1	Q2	Q3	Q4		
専門教育科目 学域GS科目	初學者 科目	10301	アカデミックスキル	1	○	○	○	1	重複履修不可
		10302	プレゼン・ディベート論	1		○	○	○	1
	学域俯瞰科目	10015	大学・学問論	1			○	1	
		10016	ジェンダーと教育	1			○	1	重複履修不可
		10019	異文化理解1	1			○	1	国際学類生は学域GS科目としては履修不可
		10020	異文化理解2	1			○	1	
		10021	文学概論1	1			○	1	
		10022	文学概論2	1			○	1	
		10023	世界遺産学	1			○	1	
		10059	ルールリテラシー	1			○	1	
		10060	人文社会科学における法	1			○	1	
		10026	イメージの比較文化学	1			○	1	
		10058	防災学入門	1	○			2	集中講義
		10027	現代日本の文化と社会	2	○			1	
		10028	地域創造学1	2	○			1	地域創造学類生は学域GS科目としては履修不可
		10029	地域創造学2	2		○		1	
		90050	教育の制度と経営	3	○			2	学校教育学類生は必修科目
		10061		3	○			2	学校教育学類以外(教員免許取得希望者は※1参照)
90270	生徒の生活と進路の指導論	3			○	2	学校教育学類生は必修科目		
10062		3			○	2	学校教育学類以外(教員免許取得希望者は※1参照)		

GS 科目発展系科目群（※2 参照）は別に定める。							国際基幹教育院提供	
データサイエンス応用系科目	10070	データサイエンスの技術	1			○	1	
	10063	国際経済の理論とデータ	2	○			1	国際学類生・経済学類生は履修不可
	10064	国際貿易の理論とデータ	2	○			1	国際学類生・経済学類生は履修不可
	10065	データの活用に向けた線形代数学入門	2	○			2	学校教育学類生は学域GS科目としては履修不可
	10066	情報処理	2			○	1	経済学類生は学域GS科目としては履修不可
	10067	計量政治分析実習	3			○	2	法学類生は学域GS科目としては履修不可
	10055	ビジネス・データ分析（ビジネス・データ・サイエンス）	—	○			1	
	10052	統計データ分析の基本（多変量解析）	—		○		1	
	10031	データで考える日本の未来（データサイエンス）	—			○	1	
	10057	統計ソフトRによるビッグデータ分析	—			○	1	
	10032	金融リテラシー	—			○	1	
	10044	白書の講読と議論	—			○	1	
	10056	地域課題解決と政策立案のための統計データ分析：EBPM（根拠に基づく政策立案）	—			○	1	
	10068	統計学技能Ⅰ	—				2	
	10069	統計学技能Ⅱ	—				3	
学域データサイエンス系発展科目群（※3 参照）は別に定める。								

※1 教育職員免許取得希望者は、別表第7に定める科目番号 95050「教育の制度と経営」、科目番号 95270「生徒の生活と進路の指導論」で履修すること。なお、この場合、修得した単位は教育職員免許取得に必要となるため、学域GS科目の単位として認められない。

※2 学域GS科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS科目発展系科目群」の科目（GS科目の発展系として位置づけられる科目を言う。）を履修することができる。

なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4月初めに公示する

※3 当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4月初めに公示する。

別表第3-2(第6条関係)学域GS言語科目単位配当表

科目区分	科目番号	科目名	学年	単位数	備考
専門教育科目	10101	学域GS言語科目Ⅰ	2~4	1	海外研修等
	10102		1~4		
	10201	学域GS言語科目Ⅱ	2~4	1	海外研修等
	10202		1~4		

※ 開講時期及び履修方法等の詳細は各学類で別に定める。

※ 科目番号 10102 及び 10202 は、海外研修等による単位認定時のみ使用する。別表第4(第6条関係)

別表第4 専門基礎科目・専門科目単位配当表（人間社会学域番号 51）
人文学類（学類番号01）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講プログラム	備考	
人文学基礎科目	11057	人文学序説A	1		必修	
	11058	人文学序説B	1		必修	
	11059	人文学序説C	1		必修	
	11060	人文学序説D	1		必修	
	11063	現代社会・人間学入門	1			
	11064	哲学の起源	1			
	11065	社会情報学A	1			
	11066	社会情報学B	1			
	11067	ジェンダーと社会A	1			
	11068	ジェンダーと社会B	1			
	42621	知覚・認知心理学A	1			
	42622	知覚・認知心理学B	1			
	42623	学習・言語心理学A	1			
	42624	学習・言語心理学B	1			
	42625	感情・人格心理学A	1			
	42626	感情・人格心理学B	1			
	41475	古代文明論	1			
	11069	北陸の考古学	1			
	11070	宗教芸術論	1			
	11071	イメージを読み解く	1			
	21303	グローバルヒストリー	1			
	11078	歴史学と現在1	1			
	11079	歴史学と現在2	1			
	41975	日本語学講義1	1			
	11073	日本の物語と語り物	1			
	11074	日本文学の近代	1			
	11075	日本文学とメディア	1			
	11076	中国の言語文化A	1			
	11077	中国の言語文化B	1			
	21401	言語研究入門	1			
	21402	文学研究入門	1			
	21416	比較文学入門	1			
	21417	言語認知科学入門	1			
	専門教育科目	42637	心理学概論A	1	【言】	
		42638	心理学概論B	1	【言】	
		42639	臨床心理学概論A	1		
		42640	臨床心理学概論B	1		
		42641	心理学統計法1A	1	【言】	
		42642	心理学統計法1B	1	【言】	
		42643	心理学統計法2A	1	【言】	
		42644	心理学統計法2B	1	【言】	
		41166	基礎社会統計学1	1	【現・人】	
		41167	基礎社会統計学2	1	【現・人】	
		41168	発展社会統計学1	1	【現・人】	
		41169	発展社会統計学2	1	【現・人】	
		41312	応用倫理学	2	【現・人】	
41162		社会学概論1	1	【現・人】		
41163		社会学概論2	1	【現・人】		
41164		社会調査基礎1	1	【現・人】		
41165		社会調査基礎2	1	【現・人】		
21104		哲学概論A	2	【現・人】		
41348		哲学概論B	2	【現・人】		
42538		音声学1	1	【言】		
42539		音声学2	1	【言】		
42540		音声学3	1	【言】		
42541		音声学4	1	【言】		
42534		言語と認知A1	1	【言】		
42535		言語と認知A2	1	【言】		
42532		社会言語学1	1	【言】		
42533		社会言語学2	1	【言】		
42645		心理学実験1A	1	【言】		
42646		心理学実験1B	1	【言】		
42647		心理学実験2A	1	【言】		
42648		心理学実験2B	1	【言】		
42649		心理学研究法1A	1	【言】		
42650		心理学研究法1B	1	【言】		
42651		心理学研究法2A	1	【言】		
42652		心理学研究法2B	1	【言】		
41055		心理学実験・調査演習A	1	【言】		
41056		心理学実験・調査演習B	1	【言】		
41057		心理学実験・調査演習C	1	【言】		

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講プログラム	備考
心理学プログラム	42615	社会・集団・家族心理学A	1		
	42616	社会・集団・家族心理学B	1		
	41062	心理学特殊講義A	1		
	41063	心理学特殊講義B	1		
	42617	応用心理学特殊講義A	1		
	42618	応用心理学特殊講義B	1		
	42619	神経・生理心理学A	1	【言】	
	42620	神経・生理心理学B	1	【言】	
	42627	発達心理学	2		
	42655	心理的アセスメントA	1		
	42656	心理的アセスメントB	1		
	42657	障害者・障害児心理学A	1		
	42658	障害者・障害児心理学B	1		
	42630	心理学的支援法	2		
	42631	健康・医療心理学A	1		
	42632	健康・医療心理学B	1		
	42633	福祉心理学	2		
	42634	教育・学校心理学	2		
	42659	司法・犯罪心理学A	1		
	42660	司法・犯罪心理学B	1		
	42661	産業・組織心理学A	1		
	42662	産業・組織心理学B	1		
	41083	学習心理学演習A	1		
	41084	学習心理学演習B	1		
	41085	比較心理学演習A	1		
	41086	比較心理学演習B	1		
	41087	行動分析学演習A	1		
	41088	行動分析学演習B	1		
	41089	知覚心理学演習A	1		
	41090	知覚心理学演習B	1		
	41091	神経心理学演習A	1		
	41092	神経心理学演習B	1		
	41093	基礎心理学演習A	1		
	41094	基礎心理学演習B	1		
	41095	応用心理学演習A	1		
	41096	応用心理学演習B	1		
	41097	人格心理学演習A	1		
	41098	人格心理学演習B	1		
	41099	青年心理学演習A	1		
	42601	青年心理学演習B	1		
	42602	臨床心理学演習A	1		
	42603	臨床心理学演習B	1		
	42604	健康心理学演習A	1		
	42605	健康心理学演習B	1		
	42606	認知行動療法演習A	1		
	42607	認知行動療法演習B	1		
現代社会・人間学プログラム	21103	地理学概論B	2		
	21104	哲学概論A	2	【心】	
	41162	社会学概論1	1	【心】	
	41163	社会学概論2	1	【心】	
	41164	社会調査基礎1	1	【心】	
	41165	社会調査基礎2	1	【心】	
	41166	基礎社会統計学1	1	【心】	
	41167	基礎社会統計学2	1	【心】	
	41168	発展社会統計学1	1	【心】	
	41169	発展社会統計学2	1	【心】	
	41170	社会学調査法1	1		
	41171	社会学調査法2	1		
	41137	経験社会学1	1		
	41138	経験社会学2	1		
	41185	社会理論	1		
	41152	現代社会学A I	1		
	41153	現代社会学A II	1		
	41154	現代社会学B I	1		
	41155	現代社会学B II	1		
41156	現代社会学C I	1			
41157	現代社会学C II	1			
41158	現代社会学D I	1			
41159	現代社会学D II	1			
41160	現代社会学E I	1			
41161	現代社会学E II	1			

*略記号 【心】心理学プログラム 【現・人】現代社会・人間学プログラム 【古】考古学・文化資源学プログラム
【歴】歴史学プログラム 【日中】日本中国言語文化学プログラム
【欧米】欧米言語文化学プログラム 【言】言語科学プログラム

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講プログラム	備考
現代社会・人間学プログラム	41147	経験社会学演習	2		
	41172	理論社会学演習	2		
	41173	応用社会学演習 1	1		
	41174	応用社会学演習 2	1		
	41175	社会情報学演習 1	1		
	41176	社会情報学演習 2	1		
	41177	ジェンダーと社会演習 1	1		
	41178	ジェンダーと社会演習 2	1		
	41179	現代社会・人間学実習 A	1		
	41180	現代社会・人間学実習 B	1		
	41181	現代社会・人間学実習 C	1		
	41182	現代社会・人間学実習 D	1		
	41183	現代社会・人間学実習 E	2		
	41184	現代社会・人間学実習 F	2		
	41232	地理学概論 A	2		
	41201	自然地理学概説 A	2		
	41202	自然地理学概説 B	2		
	41203	日本地誌 A	2		
	41204	日本地誌 B	2		
	41205	世界地誌 A	2		
	41206	世界地誌 B	2		
	41235	人文地理学特殊講義 1	1		
	41236	人文地理学特殊講義 2	1		
	41237	自然地理学特殊講義 1	1		
	41238	自然地理学特殊講義 2	1		
	41239	地誌学特殊講義 1	1		
	41240	地誌学特殊講義 2	1		
	41273	人文地理学演習 1	1		
	41274	人文地理学演習 2	1		
	41247	自然地理学演習 1	1		
	41248	自然地理学演習 2	1		
	41249	地誌学演習 1	1		
	41250	地誌学演習 2	1		
	41275	地域調査入門演習 1	1		
	41276	地域調査入門演習 2	1		
	41259	人文地理学実習 1	1		
	41260	人文地理学実習 2	1		
	41261	自然地理学実習 1	1		
	41262	自然地理学実習 2	1		
	41490	文化人類学演習 A	1		
	41491	文化人類学演習 B	1		
	41891	文化人類学概論 A	1	【古】	
	41892	文化人類学概論 B	1	【古】	
	41348	哲学概論 B	2	【心】	
	41349	人間学概説 A	2		
	41350	人間学概説 B	2		
41302	西洋古代中世思想史 A	2			
41303	西洋古代中世思想史 B	2			
41304	西洋近世思想史 A	2			
41305	西洋近世思想史 B	2			
41306	西洋倫理思想史 A	2			
41307	西洋倫理思想史 B	2			
41351	現代哲学	2			
41312	応用倫理学	2	【心】		
41352	西洋古代中世哲学特殊講義	2			
41353	近現代哲学特殊講義	2			
41317	古代中世倫理思想特殊講義	2			
41354	近現代倫理思想特殊講義	2			
41355	人間学基礎講義 A	1			
41356	人間学基礎講義 B	1			
41357	人間学特殊講義 A	1			
41358	人間学特殊講義 B	1			
41468	比較民族誌	1	【古】		
41469	文化人類学講義	1	【古】		
41359	西洋古代中世哲学基礎演習 A	1			
41360	西洋古代中世哲学基礎演習 B	1			
41361	西洋古代中世哲学演習 A	1			
41362	西洋古代中世哲学演習 B	1			
41363	西洋古代中世哲学研究演習 A	1			
41364	西洋古代中世哲学研究演習 B	1			
41365	近現代哲学基礎演習	2			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講プログラム	備考
現代社会・人間学プログラム	41366	近現代哲学演習	2		
	41367	近現代哲学研究演習	2		
	41368	倫理思想基礎演習 A	1		
	41369	倫理思想基礎演習 B	1		
	41370	倫理思想演習 A	1		
	41371	倫理思想演習 B	1		
	41372	倫理思想研究演習 A	1		
	41373	倫理思想研究演習 B	1		
	41374	応用倫理学基礎演習 A	1		
	41375	応用倫理学基礎演習 B	1		
	41380	人間学基礎演習 A	1		
	41381	人間学基礎演習 B	1		
	41382	人間学演習 A	1		
	41383	人間学演習 B	1		
	41384	人間学研究演習 A	1		
	41385	人間学研究演習 B	1		
	41876	考古学・文化資源学概説 A	1		
	41877	考古学・文化資源学概説 B	1		
	21203	比較文化学概説 A	1		
	21204	比較文化学概説 B	1		
	21207	文化遺産学概説 A	1		
	21208	文化遺産学概説 B	1		
	21209	考古学概説 A	1	【歴】	
	21210	考古学概説 B	1	【歴】	
	41878	文化資源学の方法論	1		
	41879	考古学の方法論	1		
	41880	プログラム基礎実習	2		
	41463	比較文化論	1		
	41464	仏教文化論	1		
	41465	南アジア文化論	1		
	41466	日本の思想と宗教	1		
	41863	文化交流史	1		
	41864	宗教文化論	1		
	41865	建築史 A	1		
	41866	建築史 B	1		
	41468	比較民族誌	1	【現・人】	
	41469	文化人類学講義	1	【現・人】	
	41470	東アジア文化遺産学 A	1		
	41471	東アジア文化遺産学 B	1		
	41881	オリエント文化遺産学 A	1		
	41882	オリエント文化遺産学 B	1		
	41472	西洋美術史 A	1		
	41473	西洋美術史 B	1		
	41867	西洋美術史 C	1		
	41868	西洋美術史 D	1		
	41869	比較美術史 A	1		
41870	比較美術史 B	1			
41883	地域考古学 A	1			
41884	地域考古学 B	1			
41885	社会考古学 A	1			
41886	社会考古学 B	1			
41887	比較考古学 A	1			
41888	比較考古学 B	1			
41889	考古科学 A	1			
41890	考古科学 B	1			
41891	文化人類学概論 A	1	【現・人】		
41892	文化人類学概論 B	1	【現・人】		
41484	比較文化論演習 A	1			
41485	比較文化論演習 B	1			
41486	南アジア文化論演習 A	1			
41487	南アジア文化論演習 B	1			
41871	文化交流史演習 A	1			
41872	文化交流史演習 B	1			
41873	建築史演習 A	1			
41874	建築史演習 B	1			
41893	美術史演習 A	1			
41894	美術史演習 B	1			
41494	東アジア文化遺産学演習 A	1			
41495	東アジア文化遺産学演習 B	1			
41895	オリエント考古学演習 A	1			
41896	オリエント考古学演習 B	1			

*略記号 【心】心理学プログラム 【現・人】現代社会・人間学プログラム 【古】考古学・文化資源学プログラム
【歴】歴史学プログラム 【日中】日本中国言語文化学プログラム
【欧米】欧米言語文化学プログラム 【言】言語科学プログラム

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講 プログラム	備考
専攻学・文化資源学プログラム	41897	地域考古学演習A	1		
	41898	地域考古学演習B	1		
	42701	社会考古学演習A	1		
	42702	社会考古学演習B	1		
	42703	比較考古学演習A	1		
	42704	比較考古学演習B	1		
	42705	考古学演習A	1		
	42706	考古学演習B	1		
	41845	比較文化学実習A	1		
	41846	比較文化学実習B	1		
	41847	比較文化学実習C	1		
	41848	比較文化学実習D	1		
	41853	文化遺産学実習A	1		
	41854	文化遺産学実習B	1		
	41855	文化遺産学実習C	1		
	41856	文化遺産学実習D	1		
	42707	考古学実習A	1		
	42708	考古学実習B	1		
	42709	考古学実習C	1		
	42710	考古学実習D	1		
	42711	考古学実習1	1		
	42712	考古学実習2	1		
	42713	考古学実習3	1		
	42714	考古学実習4	1		
	42715	博物館実習A	1		
	42716	博物館実習B	1		
	42717	博物館実習C	1		
	42734	博物館実習D	1		
	42718	博物館概論A	1		
	42719	博物館概論B	1		
	42720	博物館資料論A	1		
	42721	博物館資料論B	1		
	42722	博物館経営論A	1		
	42723	博物館経営論B	1		
	42724	博物館資料保存論A	1		
	42725	博物館資料保存論B	1		
	42726	博物館展示論A	1		
	42727	博物館展示論B	1		
	42728	博物館教育論A	1		
	42729	博物館教育論B	1		
	42730	博物館情報・メディア論A	1		
	42731	博物館情報・メディア論B	1		
42732	生涯学習論A	1			
42733	生涯学習論B	1			
21301	歴史学入門	1			
21209	考古学概説A	1	【古】		
21210	考古学概説B	1	【古】		
41552	日本古代中世史概説A 1	1			
41553	日本古代中世史概説A 2	1			
41554	日本古代中世史概説B 1	1			
41555	日本古代中世史概説B 2	1			
41556	日本近世近代史概説A 1	1			
41557	日本近世近代史概説A 2	1			
41558	日本近世近代史概説B 1	1			
41559	日本近世近代史概説B 2	1			
41560	日本古代史特殊講義A	1			
41561	日本古代史特殊講義B	1			
41562	奈良平安時代史特殊講義A	1			
41563	奈良平安時代史特殊講義B	1			
41564	日本中世地域史特殊講義A	1			
41565	日本中世地域史特殊講義B	1			
41566	日本中世寺院史特殊講義A	1			
41567	日本中世寺院史特殊講義B	1			
41568	日本近世政治史特殊講義A	1			
41569	日本近世政治史特殊講義B	1			
41570	日本近世社会史特殊講義A	1			
41571	日本近世社会史特殊講義B	1			
41572	日本近代都市史特殊講義A	1			
41573	日本近代都市史特殊講義B	1			
41574	日本現代都市史特殊講義A	1			
41575	日本現代都市史特殊講義B	1			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講 プログラム	備考
歴史学プログラム	41584	日本史特殊講義A 1	1		
	41585	日本史特殊講義A 2	1		
	41586	日本史特殊講義B 1	1		
	41587	日本史特殊講義B 2	1		
	41588	日本古代政治史演習A 1	1		
	41589	日本古代政治史演習A 2	1		
	41590	日本古代政治史演習B 1	1		
	41591	日本古代政治史演習B 2	1		
	41592	日本古代史料演習A 1	1		
	41593	日本古代史料演習A 2	1		
	41594	日本古代史料演習B 1	1		
	41595	日本古代史料演習B 2	1		
	41596	奈良平安時代史演習A 1	1		
	41597	奈良平安時代史演習A 2	1		
	41598	奈良平安時代史演習B 1	1		
	41599	奈良平安時代史演習B 2	1		
	42750	日本中世地域史演習A 1	1		
	42751	日本中世地域史演習A 2	1		
	42752	日本中世地域史演習B 1	1		
	42753	日本中世地域史演習B 2	1		
	42754	日本中世寺院史演習A 1	1		
	42755	日本中世寺院史演習A 2	1		
	42756	日本中世寺院史演習B 1	1		
	42757	日本中世寺院史演習B 2	1		
	42758	室町戦国時代史演習A 1	1		
	42759	室町戦国時代史演習A 2	1		
	42760	室町戦国時代史演習B 1	1		
	42761	室町戦国時代史演習B 2	1		
	42762	日本近世前期史演習A 1	1		
	42763	日本近世前期史演習A 2	1		
	42764	日本近世前期史演習B 1	1		
	42765	日本近世前期史演習B 2	1		
	42766	日本近世中期史演習A 1	1		
	42767	日本近世中期史演習A 2	1		
	42768	日本近世中期史演習B 1	1		
	42769	日本近世中期史演習B 2	1		
	42770	日本近世後期史演習A 1	1		
	42771	日本近世後期史演習A 2	1		
	42772	日本近世後期史演習B 1	1		
	42773	日本近世後期史演習B 2	1		
	42774	日本近代史演習A 1	1		
	42775	日本近代史演習A 2	1		
42776	日本近代史演習B 1	1			
42777	日本近代史演習B 2	1			
42778	日本現代史演習A 1	1			
42779	日本現代史演習A 2	1			
42780	日本現代史演習B 1	1			
42781	日本現代史演習B 2	1			
42782	日本近現代史演習A 1	1			
42783	日本近現代史演習A 2	1			
42784	日本近現代史演習B 1	1			
42785	日本近現代史演習B 2	1			
41578	日本史学実習A 1	1			
41579	日本史学実習A 2	1			
41580	日本史学実習B 1	1			
41581	日本史学実習B 2	1			
41628	中国史概説1	1			
41629	中国史概説2	1			
41630	東アジア史概説A 1	1			
41631	東アジア史概説A 2	1			
41632	東アジア史概説B 1	1			
41633	東アジア史概説B 2	1			
41602	中国秦漢時代史特殊講義	2			
41603	中国唐宋時代史特殊講義	2			
41604	中国明清時代史特殊講義	2			
41606	東アジア政治制度史特殊講義	2			
41607	東アジア社会経済史特殊講義	2			
41634	中国秦漢時代史演習A 1	1			
41635	中国秦漢時代史演習A 2	1			
41636	中国唐宋時代史演習A 1	1			
41637	中国唐宋時代史演習A 2	1			

*略記号 【心】心理学プログラム 【現・人】現代社会・人間学プログラム 【古】考古学・文化資源学プログラム
【歴】歴史学プログラム 【日中】日本中国言語文化学プログラム
【欧米】欧米言語文化学プログラム 【言】言語学プログラム

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講プログラム	備考
歴史学プログラム	41638	中国明清時代史演習 A 1	1		
	41639	中国明清時代史演習 A 2	1		
	41640	中国秦漢時代史演習 B 1	1		
	41641	中国秦漢時代史演習 B 2	1		
	41642	中国唐宋時代史演習 B 1	1		
	41643	中国唐宋時代史演習 B 2	1		
	41644	中国明清時代史演習 B 1	1		
	41645	中国明清時代史演習 B 2	1		
	41646	東アジア政治制度史演習 A 1	1		
	41647	東アジア政治制度史演習 A 2	1		
	41648	東アジア社会経済史演習 A 1	1		
	41649	東アジア社会経済史演習 A 2	1		
	41650	東アジア政治制度史演習 B 1	1		
	41651	東アジア政治制度史演習 B 2	1		
	41652	東アジア社会経済史演習 B 1	1		
	41653	東アジア社会経済史演習 B 2	1		
	42786	東洋史学研究法基礎演習 A	1		
	42787	東洋史学研究法基礎演習 B	1		
	42788	東洋史学研究法展開演習 A	1		
	42789	東洋史学研究法展開演習 B	1		
	41656	東洋史学基礎実習 A	1		
	41657	東洋史学基礎実習 B	1		
	41658	東洋史学展開実習 A	1		
	41659	東洋史学展開実習 B	1		
	42790	地中海世界史概説	2		
	41745	西洋中世史概説 A	1		
	41746	西洋中世史概説 B	1		
	41747	西洋近代史概説 A	1		
	41748	西洋近代史概説 B	1		
	42791	地中海世界政治史特殊講義	2		
	42792	地中海世界社会史特殊講義	2		
	42793	地中海世界国際関係史特殊講義	2		
	41755	西洋中世都市史特殊講義 A	1		
	41756	西洋中世都市史特殊講義 B	1		
	41757	西洋中世国制史特殊講義 A	1		
	41758	西洋中世国制史特殊講義 B	1		
	41759	西洋中世社会史特殊講義 A	1		
	41760	西洋中世社会史特殊講義 B	1		
	41765	西洋近代文化表象史特殊講義 A	1		
	41766	西洋近代文化表象史特殊講義 B	1		
	42794	地中海世界政治史演習	2		
	42795	地中海世界社会史演習	2		
42796	地中海世界国際関係史演習	2			
41773	西洋中世都市史演習 A	1			
41774	西洋中世都市史演習 B	1			
41775	西洋中世国制史演習 A	1			
41776	西洋中世国制史演習 B	1			
41777	西洋中世社会史演習 A	1			
41778	西洋中世社会史演習 B	1			
41779	西洋近代国際関係史演習 A	1			
41780	西洋近代国際関係史演習 B	1			
41781	西洋近代政治文化史演習 A	1			
41782	西洋近代政治文化史演習 B	1			
41783	西洋近代文化表象史演習 A	1			
41784	西洋近代文化表象史演習 B	1			
42797	西洋史学実習 A 1	1			
42798	西洋史学実習 A 2	1			
42799	西洋史学実習 B 1	1			
42800	西洋史学実習 B 2	1			
21420	日本語学概説 1	1	【言】		
21421	日本語学概説 2	1	【言】		
21422	日本の古典と古典学 1	1			
21423	日本の古典と古典学 2	1			
21424	中国語学概説 A 1	1	【言】		
21425	中国語学概説 A 2	1	【言】		
21426	漢文学概説 1	1	【欧米】		
21427	漢文学概説 2	1	【欧米】		
21428	英語学概説 A 1	1	【欧米】 【言】		
21429	英語学概説 A 2	1	【欧米】 【言】		
21430	英米文学史 A 1	1	【欧米】		
21431	英米文学史 A 2	1	【欧米】		

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講プログラム	備考
日本・中国言語文化学プログラム	21432	ドイツ語学概説 A 1	1	【欧米】 【言】	
	21433	ドイツ語学概説 A 2	1	【欧米】 【言】	
	42901	ドイツ文学史 B 1	1	【欧米】	
	42902	ドイツ文学史 B 2	1	【欧米】	
	21436	フランス語学概説 A 1	1	【欧米】 【言】	
	21437	フランス語学概説 A 2	1	【欧米】 【言】	
	42953	フランス文学史 B 1	1	【欧米】	
	42954	フランス文学史 B 2	1	【欧米】	
	21438	言語学概説 A	1	【欧米】 【言】	
	21439	言語学概説 B	1	【欧米】 【言】	
	21440	言語学概説 C	1	【欧米】 【言】	
	21441	言語学概説 D	1	【欧米】 【言】	
	41973	日本語の歴史 1	1	【言】	
	41974	日本語の歴史 2	1	【言】	
	41976	日本語学講義 2	1	【言】	
	42801	日本の近代文学 1	1	【欧米】	
	42802	日本の近代文学 2	1	【欧米】	
	42803	日本の現代文学 1	1	【欧米】	
	42804	日本の現代文学 2	1	【欧米】	
	42805	日本古典文学研究法	1		
	42806	日本近代文学研究法	1	【欧米】	
	42807	日本現代文学研究法	1	【欧米】	
	42808	日本文芸思潮講義	1	【欧米】	
	42809	日本古典比較文学講義	1		
	42810	日本近代比較文学講義	1	【欧米】	
	42811	日本現代比較文学講義	1	【欧米】	
	42812	日本語学演習 A 1	1	【言】	
	42813	日本語学演習 A 2	1	【言】	
	42814	日本語学演習 B 1	1	【言】	
	42815	日本語学演習 B 2	1	【言】	
	42816	日本語学演習 C 1	1	【言】	
	42817	日本語学演習 C 2	1	【言】	
	42818	日本古典文学演習 A 1	1		
	42819	日本古典文学演習 A 2	1		
	42820	日本古典文学演習 B 1	1		
	42821	日本古典文学演習 B 2	1		
	42822	日本古典文学演習 C 1	1		
	42823	日本古典文学演習 C 2	1		
	42824	日本近代文学演習 A 1	1	【欧米】	
	42825	日本近代文学演習 A 2	1	【欧米】	
	42826	日本近代文学演習 B 1	1	【欧米】	
	42827	日本近代文学演習 B 2	1	【欧米】	
42828	日本近代文学演習 C 1	1	【欧米】		
42829	日本近代文学演習 C 2	1	【欧米】		
42830	日本現代文学演習 A 1	1	【欧米】		
42831	日本現代文学演習 A 2	1	【欧米】		
42832	日本現代文学演習 B 1	1	【欧米】		
42833	日本現代文学演習 B 2	1	【欧米】		
42834	日本現代文学演習 C 1	1	【欧米】		
42835	日本現代文学演習 C 2	1	【欧米】		
42836	日本古典文学史講義	1			
42837	日本近代文学史講義	1	【欧米】		
42838	日本現代文学史講義	1	【欧米】		
42068	中国語学概説 B 1	1	【言】		
42069	中国語学概説 B 2	1	【言】		
42070	中国語学研究 1	1	【言】		
42071	中国語学研究 2	1	【言】		
42072	中国文学概説 1	1	【欧米】		
42073	中国文学概説 2	1	【欧米】		
42074	中国文学史 A 1	1	【欧米】		
42075	中国文学史 A 2	1	【欧米】		
42076	中国文学史 B 1	1	【欧米】		
42077	中国文学史 B 2	1	【欧米】		
42078	中国文学研究 1	1	【欧米】		
42079	中国文学研究 2	1	【欧米】		
42080	漢文学史 A 1	1	【欧米】		
42081	漢文学史 A 2	1	【欧米】		
42082	漢文学史 B 1	1	【欧米】		
42083	漢文学史 B 2	1	【欧米】		
42040	中国の文化と社会 C 1	1			
42041	中国の文化と社会 C 2	1			

*略記号 【心】心理学プログラム 【現・人】現代社会・人間学プログラム 【古】考古学・文化資源学プログラム
【歴】歴史学プログラム 【日中】日本中国言語文化学プログラム
【欧米】欧米言語文化学プログラム 【言】言語学プログラム

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講プログラム	備考	
専門教育科目	専門科目	日本・中国言語文化学プログラム	42066	中国の文化と社会E 1	1	
			42067	中国の文化と社会E 2	1	
			42084	中国語コミュニケーション初級1	1	
			42085	中国語コミュニケーション初級2	1	
			42086	中国語コミュニケーション初級3	1	
			42087	中国語コミュニケーション初級4	1	
			42088	中国語コミュニケーション初級5	1	
			42089	中国語コミュニケーション初級6	1	
			42090	中国語コミュニケーション初級7	1	
			42091	中国語コミュニケーション初級8	1	
			42050	中国語表現法A 1	1	
			42051	中国語表現法A 2	1	
			42052	中国語表現法B 1	1	
			42053	中国語表現法B 2	1	
			42054	現代中国時事文A 1	1	
			42055	現代中国時事文A 2	1	
			42056	現代中国時事文B 1	1	
			42057	現代中国時事文B 2	1	
			42058	中国語文献読解基礎A 1	1	【欧米】
			42059	中国語文献読解基礎A 2	1	【欧米】
			42060	中国語文献読解基礎B 1	1	【欧米】
			42061	中国語文献読解基礎B 2	1	【欧米】
			42092	中国語学演習A 1	1	【言】
			42093	中国語学演習A 2	1	【言】
			42094	中国語学演習B 1	1	
			42095	中国語学演習B 2	1	
			42062	中国語学テーマ別演習A	1	【言】
			42063	中国語学テーマ別演習B	1	【言】
			42096	中国文学演習A 1	1	【欧米】
			42097	中国文学演習A 2	1	【欧米】
			42098	中国文学演習B 1	1	【欧米】
			42099	中国文学演習B 2	1	【欧米】
			42064	中国文学テーマ別演習A	1	【欧米】
			42065	中国文学テーマ別演習B	1	【欧米】
			21442	英語学概説B 1	1	【欧米】 【言】
			21443	英語学概説B 2	1	【欧米】 【言】
			42853	英米文学史B 1	1	【欧米】
			42854	英米文学史B 2	1	【欧米】
			42859	英米文学特殊講義A 1	1	【欧米】
			42860	英米文学特殊講義A 2	1	【欧米】
			42861	英米文学特殊講義B 1	1	【欧米】
			42862	英米文学特殊講義B 2	1	【欧米】
			42863	英語圏文学特殊講義1	1	【欧米】
			42864	英語圏文学特殊講義2	1	【欧米】
			42871	英語圏文学演習A 1	1	【欧米】
			42872	英語圏文学演習A 2	1	【欧米】
			42252	英語圏文学演習B 1	1	【欧米】
			42253	英語圏文学演習B 2	1	【欧米】
			42254	英語圏文学演習C 1	1	【欧米】
42255	英語圏文学演習C 2	1	【欧米】			
42873	英米文学演習A 1	1	【欧米】			
42874	英米文学演習A 2	1	【欧米】			
42217	英米文学演習B 1	1	【欧米】			
42218	英米文学演習B 2	1	【欧米】			
21434	ドイツ文学史A 1	1	【欧米】			
21435	ドイツ文学史A 2	1	【欧米】			
21444	ドイツ語学概説B 1	1	【欧米】 【言】			
21445	ドイツ語学概説B 2	1	【欧米】 【言】			
42366	ドイツ文学講義A 2	1	【欧米】			
42368	ドイツ文学講義B 2	1	【欧米】			
42370	ドイツ文学講義C 2	1	【欧米】			
42372	ドイツ文学講義D 2	1	【欧米】			
42375	ドイツ文学演習A 1	1	【欧米】			
42376	ドイツ文学演習A 2	1	【欧米】			
42377	ドイツ文学演習B 1	1	【欧米】			
42378	ドイツ文学演習B 2	1	【欧米】			
42379	ドイツ文学演習C 1	1	【欧米】			
42380	ドイツ文学演習C 2	1	【欧米】			
42381	ドイツ文学演習D 1	1	【欧米】			
42382	ドイツ文学演習D 2	1	【欧米】			
42951	フランス文学史A 1	1	【欧米】			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講プログラム	備考	
専門教育科目	専門科目	日本・中国言語文化学プログラム	42952	フランス文学史A 2	1	【欧米】
			21446	フランス語学概説B 1	1	【欧米】 【言】
			21447	フランス語学概説B 2	1	【欧米】 【言】
			42458	フランス文学特殊講義A 1	1	【欧米】
			42459	フランス文学特殊講義A 2	1	【欧米】
			42460	フランス文学特殊講義B 1	1	【欧米】
			42461	フランス文学特殊講義B 2	1	【欧米】
			42957	フランス文学演習A 1	1	【欧米】
			42958	フランス文学演習A 2	1	【欧米】
			42985	フランス文学演習B 1	1	【欧米】
			42986	フランス文学演習B 2	1	【欧米】
			42955	フランス文学分析演習A 1	1	【欧米】
			42956	フランス文学分析演習A 2	1	【欧米】
			42981	フランス文学分析演習B 1	1	【欧米】
			42982	フランス文学分析演習B 2	1	【欧米】
			21428	英語学概説A 1	1	【日中】 【言】
			21429	英語学概説A 2	1	【日中】 【言】
			21442	英語学概説B 1	1	【日中】 【言】
			21443	英語学概説B 2	1	【日中】 【言】
			42264	英語学総論1	1	【言】
			42265	英語学総論2	1	【言】
			42851	英文法講義A 1	1	【言】
			42852	英文法講義A 2	1	【言】
			42201	英文法講義B 1	1	【言】
			42202	英文法講義B 2	1	【言】
			21432	ドイツ語学概説A 1	1	【日中】 【言】
			21433	ドイツ語学概説A 2	1	【日中】 【言】
			21444	ドイツ語学概説B 1	1	【日中】 【言】
			21445	ドイツ語学概説B 2	1	【日中】 【言】
			42353	ドイツ語学講義A 1	1	【言】
			42355	ドイツ語学講義B 1	1	【言】
			42357	ドイツ語学講義C 1	1	【言】
			21436	フランス語学概説A 1	1	【日中】 【言】
			21437	フランス語学概説A 2	1	【日中】 【言】
			21446	フランス語学概説B 1	1	【日中】 【言】
			21447	フランス語学概説B 2	1	【日中】 【言】
			21430	英米文学史A 1	1	【日中】
			21431	英米文学史A 2	1	【日中】
			42853	英米文学史B 1	1	【日中】
			42854	英米文学史B 2	1	【日中】
			42855	北米文化論1	1	
			42856	北米文化論2	1	
			21434	ドイツ文学史A 1	1	【日中】
			21435	ドイツ文学史A 2	1	【日中】
			42901	ドイツ文学史B 1	1	
			42902	ドイツ文学史B 2	1	
			42365	ドイツ文学講義A 1	1	
			42367	ドイツ文学講義B 1	1	
			42369	ドイツ文学講義C 1	1	
42371	ドイツ文学講義D 1	1				
42951	フランス文学史A 1	1	【日中】			
42952	フランス文学史A 2	1	【日中】			
42953	フランス文学史B 1	1	【日中】			
42954	フランス文学史B 2	1	【日中】			
21438	言語学概説A	1	【日中】 【言】			
21439	言語学概説B	1	【日中】 【言】			
21440	言語学概説C	1	【日中】 【言】			
21441	言語学概説D	1	【日中】 【言】			
42801	日本の近代文学1	1	【日中】			
42802	日本の近代文学2	1	【日中】			
42803	日本の現代文学1	1	【日中】			
42804	日本の現代文学2	1	【日中】			
21426	漢文学概説1	1	【日中】			
21427	漢文学概説2	1	【日中】			
42072	中国文学概説1	1	【日中】			
42073	中国文学概説2	1	【日中】			
42857	英語学講義A 1	1	【言】			
42858	英語学講義A 2	1	【言】			
42199	英語学講義B 1	1	【言】			
42200	英語学講義B 2	1	【言】			
42859	英米文学特殊講義A 1	1	【日中】			

*略記号 【心】心理学プログラム 【現・人】現代社会・人間学プログラム 【古】考古学・文化資源学プログラム
【歴】歴史学プログラム 【日中】日本中国言語文化学プログラム
【欧米】欧米言語文化学プログラム 【言】言語科学プログラム

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講プログラム	備考
専門教育科目	42860	英米文学特殊講義A 2	1	【日中】	
	42861	英米文学特殊講義B 1	1	【日中】	
	42862	英米文学特殊講義B 2	1	【日中】	
	42863	英語圏文学特殊講義1	1	【日中】	
	42864	英語圏文学特殊講義2	1	【日中】	
	42256	英米言語文化概説A 1	1		
	42257	英米言語文化概説A 2	1		
	42258	英米言語文化概説B 1	1		
	42259	英米言語文化概説B 2	1		
	42354	ドイツ語学講義A 2	1	【言】	
	42356	ドイツ語学講義B 2	1	【言】	
	42358	ドイツ語学講義C 2	1	【言】	
	42366	ドイツ文学講義A 2	1	【日中】	
	42368	ドイツ文学講義B 2	1	【日中】	
	42370	ドイツ文学講義C 2	1	【日中】	
	42372	ドイツ文学講義D 2	1	【日中】	
	42458	フランス文学特殊講義A 1	1	【日中】	
	42459	フランス文学特殊講義A 2	1	【日中】	
	42460	フランス文学特殊講義B 1	1	【日中】	
	42461	フランス文学特殊講義B 2	1	【日中】	
	42837	日本近代文学史講義	1	【日中】	
	42838	日本現代文学史講義	1	【日中】	
	42806	日本近代文学研究法	1	【日中】	
	42807	日本現代文学研究法	1	【日中】	
	42808	日本文芸思潮講義	1	【日中】	
	42810	日本近代比較文学講義	1	【日中】	
	42811	日本現代比較文学講義	1	【日中】	
	42080	漢文学史A 1	1	【日中】	
	42081	漢文学史A 2	1	【日中】	
	42082	漢文学史B 1	1	【日中】	
	42083	漢文学史B 2	1	【日中】	
	42078	中国文学研究1	1	【日中】	
	42079	中国文学研究2	1	【日中】	
	42074	中国文学史A 1	1	【日中】	
	42075	中国文学史A 2	1	【日中】	
	42076	中国文学史B 1	1	【日中】	
	42077	中国文学史B 2	1	【日中】	
	42058	中国語文獻読解基礎A 1	1	【日中】	
	42059	中国語文獻読解基礎A 2	1	【日中】	
	42060	中国語文獻読解基礎B 1	1	【日中】	
	42061	中国語文獻読解基礎B 2	1	【日中】	
	42865	英文法研究A 1	1	【言】	
	42866	英文法研究A 2	1	【言】	
	42221	英文法研究B 1	1	【言】	
	42222	英文法研究B 2	1	【言】	
	42223	英語学理論研究1	1	【言】	
	42224	英語学理論研究2	1	【言】	
	42867	英語認知論A 1	1	【言】	
	42868	英語認知論A 2	1	【言】	
	42225	英語認知論B 1	1	【言】	
42226	英語認知論B 2	1	【言】		
42869	英語学基礎演習1	1	【言】		
42870	英語学基礎演習2	1	【言】		
42359	ドイツ語学演習A 1	1	【言】		
42361	ドイツ語学演習B 1	1	【言】		
42363	ドイツ語学演習C 1	1	【言】		
42871	英語圏文学演習A 1	1	【日中】		
42872	英語圏文学演習A 2	1	【日中】		
42873	英米文学演習A 1	1	【日中】		
42874	英米文学演習A 2	1	【日中】		
42217	英米文学演習B 1	1	【日中】		
42218	英米文学演習B 2	1	【日中】		
42375	ドイツ文学演習A 1	1	【日中】		
42377	ドイツ文学演習B 1	1	【日中】		
42379	ドイツ文学演習C 1	1	【日中】		
42381	ドイツ文学演習D 1	1	【日中】		
42955	フランス文学分析演習A 1	1	【日中】		
42956	フランス文学分析演習A 2	1	【日中】		
42957	フランス文学演習A 1	1	【日中】		
42958	フランス文学演習A 2	1	【日中】		
42478	フランス語作文表現法(基礎) 1	1			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講プログラム	備考
専門教育科目	42479	フランス語作文表現法(基礎) 2	1		
	42480	フランス語作文表現法(中級) A 1	1		
	42481	フランス語作文表現法(中級) A 2	1		
	42482	フランス語作文表現法(中級) B 1	1		
	42483	フランス語作文表現法(中級) B 2	1		
	42260	英語表現法A 1	1		
	42261	英語表現法A 2	1		
	42262	英語表現法B 1	1		
	42263	英語表現法B 2	1		
	42875	英語プレゼンテーション1	1		
	42876	英語プレゼンテーション2	1		
	42877	英語コミュニケーション1	1		
	42878	英語コミュニケーション2	1		
	42337	ドイツ語読解基礎1	1		
	42338	ドイツ語読解基礎2	1		
	42904	ドイツ語コミュニケーション初級1	1		
	42905	ドイツ語コミュニケーション初級2	1		
	42906	ドイツ語コミュニケーション初級3	1		
	42907	ドイツ語コミュニケーション初級4	1		
	42908	ドイツ語コミュニケーション初級5	1		
	42909	ドイツ語コミュニケーション初級6	1		
	42910	ドイツ語コミュニケーション中級1	1		
	42911	ドイツ語コミュニケーション中級2	1		
	42912	ドイツ語コミュニケーション中級3	1		
	42913	ドイツ語コミュニケーション中級4	1		
	42914	ドイツ語コミュニケーション中級5	1		
	42915	ドイツ語コミュニケーション中級6	1		
	42351	ドイツ語表現法1	1		
	42352	ドイツ語表現法2	1		
	42959	フランス語文法演習A 1	1	【言】	
	42960	フランス語文法演習A 2	1	【言】	
	42961	フランス語学演習A 1	1	【言】	
	42962	フランス語学演習A 2	1	【言】	
	42963	フランス語コミュニケーション初級1	1		
	42964	フランス語コミュニケーション初級2	1		
	42965	フランス語コミュニケーション初級3	1		
	42966	フランス語コミュニケーション初級4	1		
	42967	フランス語コミュニケーション初級5	1		
	42968	フランス語コミュニケーション初級6	1		
	42969	フランス語コミュニケーション初級7	1		
	42970	フランス語コミュニケーション初級8	1		
	42971	フランス語コミュニケーション中級1	1		
	42972	フランス語コミュニケーション中級2	1		
	42973	フランス語コミュニケーション中級3	1		
	42974	フランス語コミュニケーション中級4	1		
	42975	フランス語コミュニケーション中級5	1		
	42976	フランス語コミュニケーション中級6	1		
	42977	フランス語コミュニケーション中級7	1		
	42978	フランス語コミュニケーション中級8	1		
	42824	日本近代文学演習A 1	1	【日中】	
42825	日本近代文学演習A 2	1	【日中】		
42830	日本現代文学演習A 1	1	【日中】		
42831	日本現代文学演習A 2	1	【日中】		
42879	英語学理論演習A 1	1	【言】		
42880	英語学理論演習A 2	1	【言】		
42219	英語学理論演習B 1	1	【言】		
42220	英語学理論演習B 2	1	【言】		
42252	英語圏文学演習B 1	1	【日中】		
42253	英語圏文学演習B 2	1	【日中】		
42254	英語圏文学演習C 1	1	【日中】		
42255	英語圏文学演習C 2	1	【日中】		
42881	英米文化研究A 1	1			
42882	英米文化研究A 2	1			
42230	英米文化研究B 1	1			
42231	英米文化研究B 2	1			
42883	英語圏広域文化研究1	1			
42884	英語圏広域文化研究2	1			
42233	英米文化動態論1	1			
42234	英米文化動態論2	1			
42235	英米文化基礎論1	1			
42236	英米文化基礎論2	1			

*略記号 【心】心理学プログラム 【現・入】現代社会・人間学プログラム 【古】考古学・文化資源学プログラム
【歴】歴史学プログラム 【日中】日本中国言語文化学プログラム
【欧米】欧米言語文化学プログラム 【言】言語学プログラム

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講プログラム	備考	科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講プログラム	備考
専攻科目	42238	英米言語文化演習 1	1			専攻科目	42642	心理学統計法 1 B	1	【心】	
	42239	英米言語文化演習 2	1				42643	心理学統計法 2 A	1	【心】	
	42360	ドイツ語学演習 A 2	1	【言】			42644	心理学統計法 2 B	1	【心】	
	42362	ドイツ語学演習 B 2	1	【言】			42530	歴史言語学 1	1		
	42364	ドイツ語学演習 C 2	1	【言】			42531	歴史言語学 2	1		
	42376	ドイツ文学演習 A 2	1	【日中】			42532	社会言語学 1	1	【心】	
	42378	ドイツ文学演習 B 2	1	【日中】			42533	社会言語学 2	1	【心】	
	42380	ドイツ文学演習 C 2	1	【日中】			42536	言語と認知 B 1	1		
	42382	ドイツ文学演習 D 2	1	【日中】			42537	言語と認知 B 2	1		
	42979	フランス語文法演習 B 1	1	【言】			41973	日本語の歴史 1	1	【日中】	
	42980	フランス語文法演習 B 2	1	【言】			41974	日本語の歴史 2	1	【日中】	
	42981	フランス文学分析演習 B 1	1	【日中】			41976	日本語学講義 2	1	【日中】	
	42982	フランス文学分析演習 B 2	1	【日中】			42070	中国語学研究 1	1	【日中】	
	42983	フランス語学演習 B 1	1	【言】			42071	中国語学研究 2	1	【日中】	
	42984	フランス語学演習 B 2	1	【言】			42857	英語学講義 A 1	1	【欧米】	
	42985	フランス文学演習 B 1	1	【日中】			42858	英語学講義 A 2	1	【欧米】	
	42986	フランス文学演習 B 2	1	【日中】			42199	英語学講義 B 1	1	【欧米】	
	42826	日本近代文学演習 B 1	1	【日中】			42200	英語学講義 B 2	1	【欧米】	
	42827	日本近代文学演習 B 2	1	【日中】			42354	ドイツ語学講義 A 2	1	【欧米】	
	42828	日本近代文学演習 C 1	1	【日中】			42356	ドイツ語学講義 B 2	1	【欧米】	
	42829	日本近代文学演習 C 2	1	【日中】			42358	ドイツ語学講義 C 2	1	【欧米】	
	42832	日本現代文学演習 B 1	1	【日中】			42619	神経・生理心理学 A	1	【心】	
	42833	日本現代文学演習 B 2	1	【日中】			42620	神経・生理心理学 B	1	【心】	
	42834	日本現代文学演習 C 1	1	【日中】			42572	言語学基礎演習 A 1	1		
	42835	日本現代文学演習 C 2	1	【日中】			42573	言語学基礎演習 A 2	1		
	42096	中国文学演習 A 1	1	【日中】			42574	言語学基礎演習 B 1	1		
	42097	中国文学演習 A 2	1	【日中】			42575	言語学基礎演習 B 2	1		
	42098	中国文学演習 B 1	1	【日中】			42576	言語学基礎演習 C 1	1		
	42099	中国文学演習 B 2	1	【日中】			42577	言語学基礎演習 C 2	1		
	42064	中国文学テーマ別演習 A	1	【日中】			42568	フィールド言語学 1	1		
	42065	中国文学テーマ別演習 B	1	【日中】			42569	フィールド言語学 2	1		
	21438	言語学概論 A	1	【日中】 【欧米】			42812	日本語学演習 A 1	1	【日中】	
	21439	言語学概論 B	1	【日中】 【欧米】			42813	日本語学演習 A 2	1	【日中】	
	21440	言語学概論 C	1	【日中】 【欧米】			42814	日本語学演習 B 1	1	【日中】	
	21441	言語学概論 D	1	【日中】 【欧米】			42815	日本語学演習 B 2	1	【日中】	
	42538	音声学 1	1	【心】			42865	英文法研究 A 1	1	【欧米】	
	42539	音声学 2	1	【心】			42866	英文法研究 A 2	1	【欧米】	
	42540	音声学 3	1	【心】			42221	英文法研究 B 1	1	【欧米】	
	42541	音声学 4	1	【心】			42222	英文法研究 B 2	1	【欧米】	
	42534	言語と認知 A 1	1	【心】			42223	英語学理論研究 1	1	【欧米】	
	42535	言語と認知 A 2	1	【心】			42224	英語学理論研究 2	1	【欧米】	
	21420	日本語学概説 1	1	【日中】			42867	英語認知論 A 1	1	【欧米】	
21421	日本語学概説 2	1	【日中】		42868	英語認知論 A 2	1	【欧米】			
21424	中国語学概説 A 1	1	【日中】		42225	英語認知論 B 1	1	【欧米】			
21425	中国語学概説 A 2	1	【日中】		42226	英語認知論 B 2	1	【欧米】			
42068	中国語学概説 B 1	1	【日中】		42869	英語学基礎演習 1	1	【欧米】			
42069	中国語学概説 B 2	1	【日中】		42870	英語学基礎演習 2	1	【欧米】			
21428	英語学概説 A 1	1	【日中】 【欧米】		42359	ドイツ語学演習 A 1	1	【欧米】			
21429	英語学概説 A 2	1	【日中】 【欧米】		42361	ドイツ語学演習 B 1	1	【欧米】			
21442	英語学概説 B 1	1	【日中】 【欧米】		42363	ドイツ語学演習 C 1	1	【欧米】			
21443	英語学概説 B 2	1	【日中】 【欧米】		42959	フランス語文法演習 A 1	1	【欧米】			
42264	英語学総論 1	1	【欧米】		42960	フランス語文法演習 A 2	1	【欧米】			
42265	英語学総論 2	1	【欧米】		42961	フランス語学演習 A 1	1	【欧米】			
42851	英文法講義 A 1	1	【欧米】		42962	フランス語学演習 A 2	1	【欧米】			
42852	英文法講義 A 2	1	【欧米】		42645	心理学実験 1 A	1	【心】			
42201	英文法講義 B 1	1	【欧米】		42646	心理学実験 1 B	1	【心】			
42202	英文法講義 B 2	1	【欧米】		42542	個別言語演習 A 1	1				
21432	ドイツ語学概説 A 1	1	【日中】 【欧米】		42543	個別言語演習 A 2	1				
21433	ドイツ語学概説 A 2	1	【日中】 【欧米】		42544	個別言語演習 A 3	1				
21444	ドイツ語学概説 B 1	1	【日中】 【欧米】		42545	個別言語演習 A 4	1				
21445	ドイツ語学概説 B 2	1	【日中】 【欧米】		42546	個別言語演習 B 1	1				
42353	ドイツ語学講義 A 1	1	【欧米】		42547	個別言語演習 B 2	1				
42355	ドイツ語学講義 B 1	1	【欧米】		42548	個別言語演習 B 3	1				
42357	ドイツ語学講義 C 1	1	【欧米】		42549	個別言語演習 B 4	1				
21436	フランス語学概説 A 1	1	【日中】 【欧米】		42550	個別言語演習 C 1	1				
21437	フランス語学概説 A 2	1	【日中】 【欧米】		42551	個別言語演習 C 2	1				
21446	フランス語学概説 B 1	1	【日中】 【欧米】		42552	個別言語演習 C 3	1				
21447	フランス語学概説 B 2	1	【日中】 【欧米】		42553	個別言語演習 C 4	1				
42637	心理学概論 A	1	【心】		42578	言語学発展演習 A 1	1				
42638	心理学概論 B	1	【心】		42579	言語学発展演習 A 2	1				
42641	心理学統計法 1 A	1	【心】		42580	言語学発展演習 B 1	1				

*略記号 【心】 心理学プログラム 【現・人】 現代社会・人間学プログラム 【古】 考古学・文化資源学プログラム
【歴】 歴史学プログラム 【日中】 日本中国言語文化学プログラム
【欧米】 欧米言語文化学プログラム 【言】 言語科学プログラム

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	共同開講プログラム	備考			
専門教育科目	言語科学プログラム	42581	言語学発展演習 B 2	1				
		42582	言語学発展演習 C 1	1				
		42583	言語学発展演習 C 2	1				
		42584	言語学実習 A 1	1				
		42585	言語学実習 A 2	1				
		42586	言語学実習 B 1	1				
		42587	言語学実習 B 2	1				
		42816	日本語学演習 C 1	1	【日中】			
		42817	日本語学演習 C 2	1	【日中】			
		42092	中国語学演習 A 1	1	【日中】			
		42093	中国語学演習 A 2	1	【日中】			
		42062	中国語学テーマ別演習 A	1	【日中】			
		42063	中国語学テーマ別演習 B	1	【日中】			
		42879	英語学理論演習 A 1	1	【欧米】			
		42880	英語学理論演習 A 2	1	【欧米】			
		42219	英語学理論演習 B 1	1	【欧米】			
		42220	英語学理論演習 B 2	1	【欧米】			
		42360	ドイツ語学演習 A 2	1	【欧米】			
		42362	ドイツ語学演習 B 2	1	【欧米】			
		42364	ドイツ語学演習 C 2	1	【欧米】			
		42979	フランス語文法演習 B 1	1	【欧米】			
		42980	フランス語文法演習 B 2	1	【欧米】			
		42983	フランス語学演習 B 1	1	【欧米】			
		42984	フランス語学演習 B 2	1	【欧米】			
		専門科目	学類共通科目	31005	卒業論文演習 A	1		必修
				31006	卒業論文演習 B	1		必修
				31007	卒業論文演習 C	1		必修
				31008	卒業論文演習 D	1		必修
				31003	卒業論文	6		必修
			31004	インターンシップ	2			
			31108	異文化体験実習 I (海外)	1			
			31101	異文化体験実習 I (海外)	2			
			31102	異文化体験実習 I (海外)	3			
			31103	異文化体験実習 I (海外)	4			
			31104	異文化体験実習 I (海外)	5			
	31105		異文化体験実習 I (海外)	6				
	31106		異文化体験実習 I (海外)	7				
	31107		異文化体験実習 I (海外)	8				
	31201		異文化体験実習 II (海外)	2				
	その他選択科目		31301	書写書道基礎	2			
			31309	憲法 (人権) A	2			
		31310	憲法 (人権) B	2				
31311		憲法 (統治) A	2					
31312		憲法 (統治) B	2					
31313		国際法 A	2					
31314		国際法 B	2					
31315		民法法入門 A	2					
31316		民法法入門 B	2					
31317		政治思想史 A	2					
31318		政治思想史 B	2					
31319		政治学 A	1					
31320		政治学 B	1					
31321		日本史要説 A	1					
31322		日本史要説 B	1					
31323	東洋史要説 A	1						
31324	東洋史要説 B	1						

*略記号 【心】 心理学プログラム 【現・人】 現代社会・人間学プログラム 【古】 考古学・文化資源学プログラム
【歴】 歴史学プログラム 【日中】 日本中国言語文化学プログラム
【欧米】 欧米言語文化学プログラム 【言】 言語科学プログラム

別表第4 専門基礎科目・専門科目単位配当表（人間社会学域番号 51）
法学類（学類番号02）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
専門基礎科目	12001	法学概論	2	
	12004	政治学A	1	
	12006	政治学B	1	
	12012	民法入門A	2	
	12013	民法入門B	2	
専門教育科目	32021	憲法（人権）A	2	
	32022	憲法（人権）B	2	
	32023	憲法（統治）A	2	
	32024	憲法（統治）B	2	
	32025	行政法総論A	2	
	32026	行政法総論B	2	
	32027	刑法総論A	2	
	32028	刑法総論B	2	
	32029	刑法各論A	2	
	32030	刑法各論B	2	
	32031	国際法A	2	
	32032	国際法B	2	
	32033	公共政策論A	2	
	32034	公共政策論B	2	
	32035	政治思想史A	2	
	32036	政治思想史B	2	
	32037	地方政府論	2	
	32061	民法総則A	2	
	32062	民法総則B	2	
	32063	物権法A	2	
	32064	物権法B	2	
	32065	債権総論A	2	
	32066	債権総論B	2	
	32067	債権各論A	2	
	32068	債権各論B	2	
	32069	会社法A	2	
	32070	会社法B	2	
	32418	税財政法A	2	
	32420	税財政法B	2	
	32429	労使関係法	2	
	32430	雇用関係法A	2	
	32432	雇用関係法B	2	
	32434	社会保障法A	2	
	32436	社会保障法B	2	
	32051	家族法	2	
	32444	民事訴訟法A	2	
	32446	民事訴訟法B	2	
	32438	会社法C	2	
	32440	会社法D	2	
	32448	経済法A	2	
	32450	経済法B	2	
	32414	行政救済法A	2	
	32416	行政救済法B	2	
	32415	地方自治法	2	
	32422	国際法C	2	
	32424	国際法D	2	
	32426	刑事訴訟法A	2	
32428	刑事訴訟法B	2		
32459	計量分析	2		
32461	計量分析実習	2		
32463	政治学各論A	2		
32465	政治学各論B	2		
32466	行政学（制度）	2		
32468	行政学（管理）	2		
32470	地方自治論A	2		
32472	地方自治論B	2		
32490	行政学（政策）	2		
32481	政治コミュニケーション論A	2		
32483	政治コミュニケーション論B	2		
32071	商法総則・商行為法A	2		
32072	商法総則・商行為法B	2		
32442	手形法・小切手法	2		
32445	民事執行・保全法	2		
32447	倒産法	2		
32452	知的財産法A	2		
32454	知的財産法B	2		

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考	
専門教育科目	32453	国際経済法	2		
	32456	国際私法A	2		
	32458	国際私法B	2		
	32460	国際取引法A	2		
	32462	国際取引法B	2		
	32474	外国法A	2		
	32476	外国法B	2		
	32002	法理学A	2		
	32004	法理学B	2		
	32402	日本法制史A	2		
	32404	日本法制史B	2		
	32406	西洋法制史A	2		
	32408	西洋法制史B	2		
	32410	東洋法制史A	2		
	32412	東洋法制史B	2		
	32411	法思想史	2		
	32425	刑事政策	2		
	32485	少年法	2		
	32488	法医学A	1		
	32489	法医学B	1		
	32487	法律実務	2		
	32388	特講A	2	A・B合わせて12単位まで履修可能	
	32389	特講B	1		
	32381	特講（法学検定Ⅰ）	2		
	32383	特講（法学検定Ⅱ）	4		
	32386	特講（国際法務Ⅰ）	2		
	32387	特講（国際法務Ⅱ）	4		
	32390	海外法学特別研究	1	8単位まで認定可	
	32391	海外政治学特別研究	1	8単位まで認定可	
	32205	English for Legal Studies	1		
	32204	外国書講読	1	10単位まで履修可能	
	32229	海外語学研修	1	8単位まで履修可能	
	32242	基礎演習	1	6単位まで履修可能	
	32254	演習	1	12単位まで履修可能	
	32253	法律実務インターンシップ	2		
	32261	総合法学演習	2	4単位まで履修可能	
	32271	判例研究	2	4単位まで履修可能	
	32281	卒業論文	6		
	その他選択科目	32113	哲学概論A	2	
		32115	哲学概論B	2	
		32181	社会学概論1	1	
		32182	社会学概論2	1	
		32123	環境政策論Ⅰ	1	
		32124	環境政策論Ⅱ	1	
		32183	国際関係論	2	
		32184	国際機構論	2	
		32135	国際政治史1	1	
32136		国際政治史2	1		
32139		比較政治学1	1		
32140		比較政治学2	1		

別表第4 専門基礎科目・専門科目単位配当表（人間社会学域番号 51）
経済学類（学類番号03）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
専門基礎科目	13501	基礎統計学		2	
	13502	マクロ経済学 I		2	
	13503	ミクロ経済学 I		2	
	13504	Basic Economics A		2	
	13601	経済学史		2	
	13602	日本経済論		2	
	13603	経営学概論		2	
	13604	Basic Economics B		2	
	13605	経済史		2	
	23001	経済学入門		1	
	23002	経営学入門		1	
	23003	情報処理		1	
	23100	演習	8		
	23200	卒業研究		2	
	23210	海外語学研修A		2	
	23211	海外語学研修B		3	
	23212	海外語学研修C		4	
	23220	インターンシップ		2	
	専門教育科目	45100	マクロ経済学Ⅱ		2
45101		ミクロ経済学Ⅱ		2	
45102		政治経済学		2	
45103		計量経済学		2	
45104		情報科学概論		2	
45105		実験経済学		2	
45106		都市経済学		2	
45107		金融論		2	
45108		財政学		2	
45109		公共政策論		2	
45110		地方財政論		2	
45111		地方財政分析論		2	
45112		地域経済学		2	
45115		環境経済論Ⅰ		1	
45116		環境経済論Ⅱ		1	
45117		環境経済政策論Ⅰ		1	
45118		環境経済政策論Ⅱ		1	
45119		農業経済論Ⅰ		1	
45120		農業経済論Ⅱ		1	
45121		農業政策論Ⅰ		1	
45122		農業政策論Ⅱ		1	
45130		社会政策論		2	
45127		社会保障論		2	
45128		社会福祉行政論		1	
45129		福祉計画論		1	
45200		世界経済論		2	
45201		グローバル・エコノミー		2	
45202		アジア経済論		2	
45203		国際金融論		2	
45204		国際金融史		2	
45205		国際経済学1E		1	
45206		国際経済学2E		1	
45207		国際政治経済論		2	
45208		国際公共政策論		2	
45209		比較地域経済論		2	
45210		国際貿易論1E		1	
45211		国際貿易論2E		1	
45212		国際開発論1E		1	
45213		国際開発論2E		1	
45214		アジア経済史AⅠ		1	
45215		アジア経済史AⅡ		1	
45216		アジア経済史BⅠ		1	
45217		アジア経済史BⅡ		1	
45218		日本経済史		2	
45219		社会言語学		2	
45220		対照社会言語学		2	
45221		グローバル経済史		2	
45300	経営管理論		2		
45301	人的資源管理論		2		
45302	経営情報論		2		
45303	経営戦略論		2		
45304	マーケティング論		2		
45305	生産システム論		2		

科目区分	科目番号	授業科目	単位数		備考	
			必修	選択		
専門科目	45306	経営工学		2		
	45307	情報分析論		2		
	45308	簿記会計論		2		
	45309	現代会計論		2		
	45310	財務会計論		2		
	45311	財務分析論		2		
	45312	管理会計論		2		
	45313	証券市場論		2		
	45314	証券論		2		
	45315	コーポレートファイナンス		2		
	45316	パーソナルファイナンス		2		
	45317	国際会計論		2		
	45318	国際経営論		2		
	45319	国際マーケティング論		2		
	45320	地域マネジメント論		2		
	45530	経済学特別講義A		1		
	45531	経済学特別講義B		1		
	45540	経済学特別講義Ⅰ		2		
	45541	経済学特別講義Ⅱ		2		
	45542	経済学特別講義Ⅲ		2		
	45543	経済学特別講義Ⅳ		2		
	45544	経済学特別講義Ⅴ		2		
	45545	経済学特別講義Ⅵ		2		
	専門教育科目	33801	地理学概論A		2	
		33803	日本地誌A		2	
		33804	日本地誌B		2	
		33826	政治学A		1	
		33827	政治学B		1	
		33828	日本史要説A		1	
		33829	日本史要説B		1	
		33830	東洋史要説A		1	
		33831	東洋史要説B		1	
		33806	日本古代中世史概説A1		1	
		33807	日本古代中世史概説A2		1	
		33808	日本古代中世史概説B1		1	
33809		日本古代中世史概説B2		1		
33810		日本近世近代史概説A1		1		
33811		日本近世近代史概説A2		1		
33812		日本近世近代史概説B1		1		
33813		日本近世近代史概説B2		1		
33832		地中海世界史概説		2		
33816		西洋中世史概説A		1		
33817		西洋中世史概説B		1		
33818		西洋近代史概説A		1		
33819		西洋近代史概説B		1		
33820		東アジア史概説A1		1		
33821		東アジア史概説A2		1		
33822		東アジア史概説B1		1		
33823	東アジア史概説B2		1			
33824	哲学概論A		2			
33825	哲学概論B		2			

別表第4 専門基礎科目・専門科目単位配当表（人間社会学域番号 51）
学校教育学類（学類番号04）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目等	90000	教師論	2	
	90008	教育の理念と歴史A	1	
	90009	教育の理念と歴史B	1	
	90035	発達と学習の心理	2	
	90050	教育の制度と経営	2	学域GS科目として履修
	90072	教育課程論	1	
	90116	教育方法学	2	
	90090	道德教育論	2	
	90081	特別活動論	1	
	90270	生徒の生活と進路の指導論	2	学域GS科目として履修
	90290	教育相談論(教育・学校心理学)	2	
	90370	特別支援教育概論	1	
	90380	総合的な学習の時間教育論	1	
	90348	教育実習A(幼・小)	4	
	90349	教育実習B(中・高)	4	
	90350	教育実習事前事後指導A(幼・小)	1	
	90351	教育実習事前事後指導B(中・高)	1	
	90313	教職実践演習A(教諭)	2	
	90130	初等国語科教育法	2	
	90131	初等社会科教育法	2	
	90132	算数科教育法	2	
	90133	初等理科教育法	2	
	90134	生活科教育法	2	
	90135	初等音楽科教育法	2	
	90136	図画工作科教育法	2	
	90137	初等家庭科教育法	2	
	90149	体育科教育法Ⅰ	1	
	90150	体育科教育法Ⅱ	1	
	90147	初等英語科教育法A	1	
	90148	初等英語科教育法B	1	
	14000	国語基礎(書写を含む)	2	
	14001	社会科基礎	2	
	14002	算数科基礎	2	
14003	理科専門研究	2		
14004	生活科専門研究	2		
14005	ピアノ基礎	1		
14006	ソルフェージュ基礎	1		
14007	絵画・彫刻	1		
14008	デザイン・工作	1		
14009	家政教育専門研究	2		
14014	体育専門研究AⅠ	0.5		
14015	体育専門研究AⅡ	0.5		
14016	体育専門研究BⅠ	0.5		
14017	体育専門研究BⅡ	0.5		
14012	英語科基礎A	1		
14013	英語科基礎B	1		
90406	情報と教育	1		
90407	環境と教育	1		
90408	現代子ども学	1		
90409	学校インターンシップ	1		
90410	宿泊野外活動	1		
14500	卒業論文	4		
90250	幼児の人間関係指導法	2		
90251	幼児の表現指導法	2		
90252	幼児の健康指導法	2		
90253	幼児の言葉指導法	2		
90254	幼児の環境指導法	2		
90300	幼児理解の理論と方法	2		
90011	教育哲学	2		
90015	教育史	2		
90031	発達心理学	2		
90062	教育社会学A	1		
90063	教育社会学B	1		
90060	教育法制度論	2		
90101	教授学	2		
90105	生活指導論	2		
90109	学習指導論	2		
90291	学校心理学(心理学的支援法)	2		
90012	教育原論特殊講義	2		
90016	教育史特殊講義	2		
90019	教育学演習Ⅰ	1		

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
(教育基礎専修)	90020	教育学演習Ⅱ	1	
	90032	発達心理学特殊講義	2	
	90061	教育法制度論特殊講義	2	
	90102	教授学特殊講義	2	
	90106	生活指導論特殊講義	2	
	90110	学習指導論特殊講義	2	
	90286	学校心理学特殊講義	2	
	90500	特別支援教育の理念と歴史	2	
	90510	聴覚障害の心理・生理・病理	2	
	90520	聴覚障害教育課程論	2	
	90521	聴覚障害指導法	2	
	90522	発声発語支援法	2	
	90530	知的障害の心理・生理・病理	2	
	90540	知的障害教育課程論	2	
	90550	肢体不自由の心理・生理・病理	2	
	90560	肢体不自由教育論	2	
	90570	ことばの障害とコミュニケーション	2	
	90580	障害児教育基礎論	2	
	90581	発達障害指導法	2	
	90590	教育実習事前事後指導(特支)	1	
	90591	障害児教育実習	2	
	90600	障害児福祉教育論	2	
	90611	音響聴覚学	2	
	90630	人間発達の生理と障害	2	
	90640	知的障害指導法	2	
	90651	障害乳幼児発達支援演習	2	
	90652	手話序論	2	
	90660	言語障害指導法	2	
	90661	特別支援コーディネーター序論	2	
	90664	重複障害児教育	2	
	90667	障害児教育基礎演習	2	
	90682	発達障害総論	2	
	90683	特別支援教育学演習Ⅰ	1	
90684	特別支援教育学演習Ⅱ	1		
34000	国語学概論	2		
34001	音声言語の研究と文章表現	2		
34002	国語史	2		
34019	日本文学概論・日本文学史	2		
34500	日本文学講読	2		
34501	日本文学基礎演習	2		
34020	漢文学基礎	2		
34024	漢文学演習	2		
34025	古典文学基礎	2		
34030	書写書道基礎	2		
90160	中等国語科教育法A	2		
90161	中等国語科教育法B	2		
90162	国語科授業研究Ⅰ	2		
90163	国語科授業研究Ⅱ	2		
34027	国語学演習AⅠ	1		
34028	国語学演習AⅡ	1		
34029	国語学演習BⅠ	1		
34031	国語学演習BⅡ	1		
34018	古典文学演習	2		
34502	近現代文学演習	2		
34503	日本文学特殊講義	2		
34021	漢文講読	2		
90139	国語科教育演習A	2		
90164	国語科教育演習B	2		
90458	国語科教育実践研究Ⅰ	2		
90459	国語科教育実践研究Ⅱ	2		
34040	日本史	2		
34045	ヨーロッパ圏理解A	2		
34047	東洋史	2		
34060	地理学	2		
34061	地誌学	2		
34070	法律学	2		
34071	政治学	2		
34080	経済学	2		
34082	社会学Ⅰ	1		
34083	社会学Ⅱ	1		
34090	哲学	2		

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考	
(専修基礎科目) (社会科学教育専修)	90167	中等社会科教育法A	2		
	90168	中等社会科教育法B	2		
	90169	社会科授業研究Ⅰ	2		
	90170	社会科授業研究Ⅱ	2		
	34041	日本史A	2		
	34042	日本史B	2		
	34043	日本史演習A	2		
	34044	日本史演習B	2		
	34046	西洋近・現代史概説	2		
	34048	歴史学実習	2		
	34049	西洋史演習A	2		
	34050	西洋史演習B	2		
	34062	自然地理学	2		
	34063	農村地理学	2		
	34064	都市地理学	2		
	34065	地理学演習A	2		
	34066	地理学演習B	2		
	34072	行政法	2		
	34073	法律学演習A	2		
	34074	法律学演習B	2		
	34091	倫理学	2		
	34092	哲学史	2		
	34093	哲学演習	2		
	34094	宗教学	2		
	34095	現代青年心理学	2		
	90140	社会科教育演習A	2		
	90171	社会科教育演習B	2		
	90172	社会科・地理歴史科教育法A	2		
	90173	社会科・地理歴史科教育法B	2		
	90174	社会科・公民科教育法A	2		
	90175	社会科・公民科教育法B	2		
	90460	社会科教育実践研究Ⅰ	2		
	90461	社会科教育実践研究Ⅱ-A	2		
	90462	社会科教育実践研究Ⅱ-B	2		
	専修専門科目 (社会科学教育専修)	34100	代数学基礎A	2	
		34101	代数学基礎B	2	
		34110	幾何学基礎A	2	
		34111	幾何学基礎B	2	
		34120	解析学基礎A	2	
		34121	解析学基礎B	2	
		34130	確率・統計	2	
		34131	行列と行列式	2	
		34132	微分積分	2	
		34140	コンピュータ	2	
		90176	数学科教育法A	2	
		90177	数学科教育法B	2	
90178		数学科授業研究Ⅰ	2		
90179		数学科授業研究Ⅱ	2		
34105		代数学演習	1		
34106		現代代数学	1		
34115		幾何学演習	1		
34116		現代幾何学	1		
34125		解析学演習	1		
34126		現代解析学	1		
34133	集合と位相	2			
34134	数学演習Ⅰ	2			
34135	数学演習Ⅱ	2			
90180	数学科教育演習	2			
90141	算数科教育演習	2			
90463	算数科教育実践研究	2			
90464	数学科教育実践研究	2			
(専修基礎科目) (理科教育専修)	34150	理科内容基礎A(物理学)	2		
	34151	理科内容発展A(物理学)	2		
	34160	理科実験A(物理学)	1		
	34170	理科内容基礎B(化学)	2		
	34171	理科内容発展B(化学)	2		
	34180	理科実験B(化学)	1		
	34190	理科内容基礎C(生物学)	2		
	34191	理科内容発展C(生物学)	2		
	34200	理科実験C(生物学)	1		
	34210	理科内容基礎D(地学)	2		

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考	
(専修基礎科目) (理科教育専修)	34211	理科内容発展D(地学)	2		
	34220	理科実験D(地学)	1		
	90183	中等理科教育法A	2		
	90184	中等理科教育法B	2		
	90185	理科授業研究Ⅰ	2		
	90186	理科授業研究Ⅱ	2		
	(専修専門科目) (理科教育専修)	34152	理科内容演習AⅠ(物理学)	2	
		34153	理科内容演習AⅡ(物理学)	2	
		34154	教職物理学	1	理工学域開設
		34172	理科内容演習BⅠ(化学)	2	
		34173	理科内容演習BⅡ(化学)	2	
		34192	理科内容演習CⅠ(生物学)	2	
		34193	理科内容演習CⅡ(生物学)	2	
		34212	理科内容演習DⅠ(地学)	2	
		34213	理科内容演習DⅡ(地学)	2	
		90142	理科教育演習Ⅰ	2	
90187		理科教育演習Ⅱ	2		
90465		理科教育実践研究Ⅰ	2		
90466		理科教育実践研究Ⅱ	2		
34230		ソルフェージュ	2		
(専修基礎科目) (音楽教育専修)		34240	歌唱法Ⅰ	2	
		34241	アンサンブルA(声楽)	1	
	34242	アンサンブルB(声楽)	1		
	34243	日本の伝統的歌唱法	1		
	34250	和楽器奏法	1		
	34251	伴奏法	1		
	34252	ピアノ奏法Ⅰ	2		
	34253	アンサンブルD(木管)	1		
	34254	アンサンブルE(金管)	1		
	34260	指揮法	1		
	34270	音楽理論及び和声学(作曲・編曲を含む)Ⅰ	2		
	34271	音楽史A(西洋音楽)	2		
	34272	音楽史B(日本及び世界の音楽)	2		
	90190	音楽科教育法A	2		
	90191	音楽科教育法B	2		
	90192	音楽科授業研究Ⅰ	2		
	90193	音楽科授業研究Ⅱ	2		
	34244	歌唱法Ⅱ	2		
	34245	歌唱法演習Ⅰ	2		
	34246	歌唱法演習Ⅱ	2		
	34247	アンサンブルC(声楽)	1		
	34255	ピアノ奏法Ⅱ	2		
	34256	ピアノ奏法演習Ⅰ	2		
	34257	ピアノ奏法演習Ⅱ	2		
34273	音楽理論及び和声学(作曲・編曲を含む)Ⅱ	2			
34274	作曲(編曲を含む)演習Ⅰ	2			
34275	作曲(編曲を含む)演習Ⅱ	2			
90143	音楽科教育演習Ⅰ	2			
90194	音楽科教育演習Ⅱ	2			
90467	音楽科教育実践研究Ⅰ	2			
90468	音楽科教育実践研究Ⅱ	2			
(専修基礎科目) (美術教育専修)	34600	絵画基礎A(映像メディア表現を含む)	1		
	34601	絵画基礎B(映像メディア表現を含む)	1		
	34602	絵画ⅠA	1		
	34603	絵画ⅠB	1		
	34604	絵画ⅡA	1		
	34605	絵画ⅡB	1		
	34620	彫刻基礎A	1		
	34621	彫刻基礎B	1		
	34622	彫刻ⅠA	1		
	34623	彫刻ⅠB	1		
	34624	彫刻ⅡA	1		
	34625	彫刻ⅡB	1		
	34640	デザイン基礎(映像メディア表現を含む)A	1		
	34641	デザイン基礎(映像メディア表現を含む)B	1		
	34642	デザインⅠA	1		
	34643	デザインⅠB	1		
34644	デザインⅡA	1			
34645	デザインⅡB	1			
34310	工芸基礎	2			
90195	中等美術科教育法A	2			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考	
(美術教育専修科目)	90196	中等美術科教育法B	2		
	90232	美術科授業研究ⅠA	1		
	90233	美術科授業研究ⅠB	1		
	90234	美術科授業研究ⅡA	1		
	90235	美術科授業研究ⅡB	1		
	(美術教育専修科目)	34606	絵画ⅢA	1	
		34607	絵画ⅢB	1	
		34608	絵画制作研究A	1	
		34609	絵画制作研究B	1	
		34626	彫刻ⅢA	1	
		34627	彫刻ⅢB	1	
		34628	彫刻制作研究A	1	
		34629	彫刻制作研究B	1	
		34646	デザインⅢA	1	
		34647	デザインⅢB	1	
		34648	デザイン制作研究A	1	
		34649	デザイン制作研究B	1	
		34311	工芸論	2	
		34324	比較美術史A(美術理論を含む)	1	
		34325	比較美術史B(美術理論を含む)	1	
		34326	西洋美術史A	1	
		34327	西洋美術史B	1	
		34328	西洋美術史C	1	
		34329	西洋美術史D	1	
		34323	美術実地研究	1	
	90144	図画工作科教育演習	2		
	90199	美術科教育演習	2		
	90469	図画工作科教育実践研究	2		
	90470	美術科教育実践研究	2		
	(家政教育専修科目)	34330	家政学原論	2	
		34331	家庭経営学(家庭経済学を含む)	2	
		34332	家族関係学	2	
		34340	被服科学Ⅰ	2	
		34341	被服科学実験	1	
		34342	被服構成実習	1	
		34352	調理実習	1	
34366		食環境学	2		
34367		住生活学Ⅰ	1		
34368		住生活学Ⅱ(製図を含む)	1		
34371		保育学(実習を含む)	2		
34374		保育学概論(家庭看護を含む)(福祉心理学)	2		
34381	電気・機械・情報概論	1			
90207	中等家庭科教育法A	2			
90208	中等家庭科教育法B	2			
90209	家庭科授業研究Ⅰ	2			
90210	家庭科授業研究Ⅱ	2			
(家政教育専修科目)	34333	家庭経営学演習Ⅰ	2		
	34334	家庭経営学演習Ⅱ	2		
	34343	被服科学Ⅱ	2		
	34344	被服科学演習Ⅰ	2		
	34345	被服科学演習Ⅱ	2		
	34351	健康栄養学実習	1		
	34359	栄養生理学	2		
	34364	住環境論Ⅰ	1		
	34365	住環境論Ⅱ	1		
	34372	保育学演習Ⅰ	2		
	34373	保育学演習Ⅱ	2		
	90145	家庭科教育演習A	2		
90211	家庭科教育演習B	2			
90471	家庭科教育実践研究Ⅰ	2			
90472	家庭科教育実践研究Ⅱ	2			
34660	体操・器械運動Ⅰ	0.5			
34661	体操・器械運動Ⅱ	0.5			
34662	陸上競技Ⅰ	0.5			
34663	陸上競技Ⅱ	0.5			
34664	水泳Ⅰ	0.5			
34665	水泳Ⅱ	0.5			
34666	球技AⅠ	0.5			
34667	球技AⅡ	0.5			
34668	球技BⅠ	0.5			
34669	球技BⅡ	0.5			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
(保健体育専修科目)	34670	武道A	0.5	
	34671	武道B	0.5	
	34672	ダンスⅠ	0.5	
	34673	ダンスⅡ	0.5	
	34405	体育心理学Ⅰ	1	
	34406	体育心理学Ⅱ	1	
	34410	運動学概論(運動方法学を含む)	1	
	34423	バイオメカニクスⅠ	1	
	34424	バイオメカニクスⅡ	1	
	34425	表現運動学Ⅰ	1	
	34426	表現運動学Ⅱ	1	
	34427	生理学Ⅰ(運動生理学を含む)	1	
	34428	生理学Ⅱ(運動生理学を含む)	1	
	34431	衛生学及び公衆衛生学Ⅰ	1	
	34432	衛生学及び公衆衛生学Ⅱ	1	
	34443	学校保健Ⅰ(小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急処置を含む)	1	
	34444	学校保健Ⅱ(小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急処置を含む)	1	
	90236	保健体育科教育法AⅠ	1	
	90237	保健体育科教育法AⅡ	1	
	90238	保健体育科教育法BⅠ	1	
	90239	保健体育科教育法BⅡ	1	
	90240	保健体育科授業研究Ⅰ	1	
	90241	保健体育科授業研究Ⅱ	1	
	90242	保健体育科授業研究Ⅲ	1	
	90243	保健体育科授業研究Ⅳ	1	
	34680	バイオメカニクス演習Ⅰ	1	
	34681	バイオメカニクス演習Ⅱ	1	
	34682	バイオメカニクス演習Ⅲ	1	
	34683	バイオメカニクス演習Ⅳ	1	
	34684	バイオメカニクス演習Ⅴ	0.5	
	34685	バイオメカニクス演習Ⅵ	0.5	
	34686	バイオメカニクス演習Ⅶ	0.5	
	34687	バイオメカニクス演習Ⅷ	0.5	
	34688	生理学演習Ⅰ	1	
	34689	生理学演習Ⅱ	1	
	34690	生理学演習Ⅲ	1	
34691	生理学演習Ⅳ	1		
34692	生理学演習Ⅴ	0.5		
34693	生理学演習Ⅵ	0.5		
34694	生理学演習Ⅶ	0.5		
34695	生理学演習Ⅷ	0.5		
34696	学校保健演習Ⅰ	1		
34697	学校保健演習Ⅱ	1		
34698	学校保健演習Ⅲ	1		
34699	学校保健演習Ⅳ	1		
34700	学校保健演習Ⅴ	0.5		
34701	学校保健演習Ⅵ	0.5		
34702	学校保健演習Ⅶ	0.5		
34703	学校保健演習Ⅷ	0.5		
90244	体育科教育演習Ⅰ	1		
90245	体育科教育演習Ⅱ	1		
90691	保健体育科教育演習Ⅰ	1		
90692	保健体育科教育演習Ⅱ	1		
90693	保健体育科教育演習Ⅲ	0.5		
90694	保健体育科教育演習Ⅳ	0.5		
90695	保健体育科教育演習Ⅴ	0.5		
90696	保健体育科教育演習Ⅵ	0.5		
90697	体育科教育実践研究Ⅰ	1		
90698	体育科教育実践研究Ⅱ	1		
90699	保健体育特殊講義Ⅰ	1		
90700	保健体育特殊講義Ⅱ	1		
90701	保健体育科教育実践研究Ⅰ	1		
90702	保健体育科教育実践研究Ⅱ	1		
34450	英語学概論A	2		
34451	英語学概論B	2		
34452	英語音声学	1		
34453	英文法	1		
34470	英語文学概論A(イギリス)	1		
34471	英語文学概論B(イギリス)	1		
34472	英語文学概論C(アメリカ)	1		
34473	英語文学概論D(アメリカ)	1		

別表第4 専門基礎科目・専門科目単位配当表（人間社会学域番号 51）
地域創造学類（学類番号05）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考	
専門科目	（英語基礎科目）	34474	英語文学演習A	1	
		34475	英語文学演習B	1	
		34480	英作文A	1	
		34481	英作文B	1	
		34482	英会話A	1	
		34483	英会話B	1	
		34491	異文化理解A	1	
		34492	異文化理解B	1	
		34493	異文化理解C	1	
		34494	異文化理解D	1	
	（英語専門科目）	90212	英語科教育法A	2	
		90213	英語科教育法B	2	
		90214	英語科授業研究 I	2	
		90215	英語科授業研究 II	2	
		34454	英語学演習A	1	
		34455	英語学演習B	1	
		34456	英語学特殊講義	2	
		34476	英語文学演習C	1	
		34477	英語文学演習D	1	
		34478	英語文学特殊講義	2	
34484	英作文C	1			
34485	英作文D	1			
34486	英会話C	1			
34487	英会話D	1			
90216	英語科教育演習 I	2			
90217	英語科教育演習 II	2			
90475	英語科教育実践研究 I	2			
90476	英語科教育実践研究 II	2			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考	
専門基礎科目	15012	地域創造学 I	1		
	15013	地域創造学 II	1		
	15022	地域創造学 III	1		
	15023	地域創造学 IV	1		
	15038	学類英語演習	1		
	15009	地域創造体験実習 A	1		
	15010	地域創造体験実習 B	1		
	15011	地域創造体験実習 C	1		
	15033	地域創造学特別講義 A	1		
	15034	地域創造学特別講義 B	1		
	15035	地域創造学特別講義 C	1		
	15036	地域創造学特別講義 D	1		
	15037	地域創造インターンシップ	1		
	15024	地域創造インターンシップ	2		
	15025	異文化体験（海外） I	1		
	15026	異文化体験（海外） I	2		
	15027	異文化体験（海外） I	3		
	15028	異文化体験（海外） I	4		
	15029	異文化体験（海外） I	5		
	15030	異文化体験（海外） I	6		
	15031	異文化体験（海外） I	7		
	15032	異文化体験（海外） I	8		
	福祉マネジメントコース	35506	高齢者福祉論	2	
		35508	障害者福祉論	2	
		35950	現代社会と貧困	2	
		35951	社会政策論	2	
		35521	労使関係法	2	
		35952	社会システム論	1	
		35953	現代社会論	1	
		35954	コミュニティ論	1	
		35528	社会福祉行政論	1	
		35529	福祉計画論	1	
		35531	権利擁護と成年後見制度	2	
35955		対人コミュニケーション演習 I	1		
35956		対人コミュニケーション演習 II	1		
35572		社会保障論	2		
35573		地域福祉論	2		
35574		介護保険制度論	2		
35957		家族支援論	2		
35575		保健医療論	2		
35958		雇用政策論	1		
35578		人権論 I	1		
35579		人権論 II	1		
35580		現代社会学 A I	1		
35581		現代社会学 A II	1		
35582		現代社会学 B I	1		
35583		現代社会学 B II	1		
35584		現代社会学 C I	1		
35585		現代社会学 C II	1		
35586		現代社会学 D I	1		
35587		現代社会学 D II	1		
35588		現代社会学 E I	1		
35589		現代社会学 E II	1		
35959		基礎社会統計学 I	1		
35960		基礎社会統計学 II	1		
35961		発展社会統計学 I	1		
35962		発展社会統計学 II	1		
35963		社会政策論基礎演習	1		
35964		医療・福祉社会学基礎演習	1		
35965		公共社会学基礎演習	1		
35966		国際障害学基礎演習	1		
35967		地域社会学基礎演習	1		
35968		社会保障論基礎演習	1		
35969		社会福祉学基礎演習	1		
35594		福祉マネジメント演習	4		
35765		自然環境と社会	2		
35707		環境と経済基礎演習 I	1		
35708		環境と経済基礎演習 II	1		
35711		自然環境文献講読 I	1		
35712	自然環境文献講読 II	1			
35713	資源活用・流通文献講読 I	1			
35714	資源活用・流通文献講読 II	1			
35720	地誌学演習 I	1			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
環境共生コース	35721	地誌学演習Ⅱ	1	
	35766	自然環境基礎論	2	
	35751	環境思想Ⅰ	1	
	35752	環境思想Ⅱ	1	
	35747	農村計画論Ⅰ	1	
	35748	農村計画論Ⅱ	1	
	35722	環境経済論Ⅰ	1	
	35723	環境経済論Ⅱ	1	
	35724	農業経済論Ⅰ	1	
	35725	農業経済論Ⅱ	1	
	35726	環境経済政策論Ⅰ	1	
	35727	環境経済政策論Ⅱ	1	
	35728	農業政策論Ⅰ	1	
	35729	農業政策論Ⅱ	1	
	35738	自然環境論A	1	
	35739	自然環境論B	1	
	35744	防災・減災と地理学	2	
	35745	流通・消費論	2	
	35746	地域資源活用論	2	
	35757	社会環境論Ⅰ	1	
	35758	社会環境論Ⅱ	1	
	35705	環境共生応用演習	4	
	35706	環境共生応用実習	4	
	35717	環境政策論基礎演習Ⅰ	1	
	35718	環境政策論基礎演習Ⅱ	1	
	35753	環境政策論Ⅰ	1	
	35754	環境政策論Ⅱ	1	
	35761	地域体験実習A	1	
	35762	地域体験実習B	1	
	35763	地域体験実習C	1	
	35764	地域体験実習D	1	
	35700	環境共生基礎実習A	1	
	35701	環境共生基礎実習B	1	
	35702	環境共生基礎実習C	1	
	35703	環境共生基礎実習D	1	
	35704	環境共生基礎論	2	
	35709	食環境文献購読Ⅰ	1	
	35710	食環境文献購読Ⅱ	1	
	35715	生態系サービス英語文献購読Ⅰ	1	
	35716	生態系サービス英語文献購読Ⅱ	1	
	35719	コミュニケーション理論	2	
	35767	栄養生理学	2	
	35768	食環境学	2	
	35740	自然地理学A	1	
	35741	自然地理学B	1	
	35742	自然地理学C	1	
	35743	自然地理学D	1	
	35749	生態系サービス基礎論	2	
	35750	環境形成戦略論	2	
	35755	環境教育	2	
	35756	環境コミュニケーション	2	
	35769	地域マネジメント論(ローカル・コミュニティ創生論)	2	
	35770	ソーシャル・ビジネス論	2	
35771	ソーシャル・ビジネス論演習	2		
地域プランニングコース	35801	地域計画論Ⅰ	1	
	35802	地域計画論Ⅱ	1	
	35815	人口地理学Ⅰ	1	
	35816	人口地理学Ⅱ	1	
	35817	都市地理学A	2	
	35831	交通計画	1	
	35838	まちづくりインターンシップ	4	
	35836	地域分析実習Ⅰ	1	
	35837	地域分析実習Ⅱ	1	
	35839	地域計画論演習	1	
	35849	海外地域プランニング演習	1	
	35847	地域プランニング演習	4	
	35818	都市地理学B	2	
	35800	地域学原論	2	
	35805	地域居住論	1	
	35806	景観論	1	
	35807	地域スポーツ論Ⅰ	1	
	35808	地域スポーツ論Ⅱ	1	
	35850	地域政策論Ⅰ	1	

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
地域プランニングコース	35851	地域政策論Ⅱ	1	
	35811	比較地域経済論	2	
	35812	地域経済学	2	
	35813	地方財政論	2	
	35814	地方財政分析論	2	
	35819	農村地理学	2	
	35820	地域地理学	2	
	35823	スポーツ社会学A	1	
	35824	スポーツ社会学B	1	
	35825	スポーツ経営学Ⅰ	1	
	35826	スポーツ経営学Ⅱ	1	
	35852	地域政策論BⅠ	1	
	35853	地域政策論BⅡ	1	
	35855	リスクコミュニケーション	2	
	35856	地域社会のリスクガバナンス	2	
	35827	都市計画A	1	
	35828	都市計画B	1	
	35829	景観デザイン学A	1	
	35830	景観デザイン学B	1	
	35832	道路政策論	1	
	35833	ミクロ経済学基礎	1	
	35834	都市経済学	1	
	35842	地域居住論演習	1	
	35843	スポーツ政策論演習	1	
	35844	スポーツ産業論演習	1	
	35854	地域政策論演習	1	
	35857	リスクコミュニケーション演習	1	
	35900	観光論Ⅰ	1	
	35901	観光論Ⅱ	1	
	35902	観光調査・研究法概説Ⅰ	1	
	35903	観光調査・研究法概説Ⅱ	1	
	35944	北陸観光産業論	1	
	35904	観光政策論Ⅰ	1	
	35905	観光政策論Ⅱ	1	
	35906	地域経営論Ⅰ	1	
35907	地域経営論Ⅱ	1		
35908	地域文化論Ⅰ	1		
35909	地域文化論Ⅱ	1		
35910	観光地域論Ⅰ	1		
35911	観光地域論Ⅱ	1		
35912	コミュニティ・デザイン論Ⅰ	1		
35913	コミュニティ・デザイン論Ⅱ	1		
35914	都市計画A	1		
35915	都市計画B	1		
35916	景観デザイン学A	1		
35917	景観デザイン学B	1		
35918	交通計画	1		
35919	道路政策論	1		
35920	ミクロ経済学基礎	1		
35921	都市経済学	1		
35922	地域資源活用論	2		
35923	環境コミュニケーション	2		
35937	自然環境基礎論	2		
35938	国際経済学1E	1		
35939	国際経済学2E	1		
35940	国際貿易論1E	1		
35941	国際貿易論2E	1		
35942	国際開発論1E	1		
35943	国際開発論2E	1		
35926	地域経営論演習Ⅰ	1		
35927	地域経営論演習Ⅱ	1		
35928	地域文化論演習Ⅰ	1		
35929	地域文化論演習Ⅱ	1		
35930	コミュニティ・デザイン演習Ⅰ	1		
35931	コミュニティ・デザイン演習Ⅱ	1		
35932	観光学・文化継承論演習	4		
35933	観光学インターンシップ	4		
35934	文化人類学実習	4		
35935	コミュニティ・デザイン実習	4		
35936	地域経営論実習	4		
35400	卒業演習	4		
35401	卒業研究	6		

別表第4 専門基礎科目・専門科目単位配当表(人間社会学域番号 51)
国際学類(学類番号06)

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考	
専門基礎科目	16202	国際学入門	1	2科目から1	
	16402	国際学入門E	1	単位必修	
	16206	国際経済学1	1		
	16406	国際経済学2	1		
	16260	国際経済学1E	1		
	16460	国際経済学2E	1		
	16208	国際貿易論1	1		
	16408	国際貿易論2	1		
	16261	国際貿易論1E	1		
	16461	国際貿易論2E	1		
	16209	国際協力論1	1		
	16409	国際協力論2	1		
	16210	異文化理解1	1		
	16410	異文化理解2	1		
	16062	国際学特論E	2		
	16068	国際政治経済論	2		
	16069	国際公共政策論	2		
	16268	国際機構論	2		
	16271	国際機構論E	2		
	16049	国際コミュニケーション論	2		
	16479	国際関係論	2		
	16269	国際関係論E	2		
	16257	国際政治史1	1		
	16457	国際政治史2	1		
	16264	国際開発論1	1		
	16464	国際開発論2	1		
	16262	国際開発論1E	1		
	16462	国際開発論2E	1		
	16267	ヨーロッパ・アフリカ概説1	1		
	16467	ヨーロッパ・アフリカ概説2	1		
	16214	日本文化	1	2科目から1	
	16414	日本文化E	1	単位必修	
	16212	日本の思想と宗教1	1		
	16412	日本の思想と宗教2	1		
	16213	日本史概説1	1		
	16413	日本史概説2	1		
	16415	日本史概論1	1		
	16416	日本史概論2	1		
	16014	日本経済論	2		
	16450	政治経済学1E	1		
	16451	政治経済学2E	1		
	16265	日本民俗文化論1E	1		
	16465	日本民俗文化論2E	1		
	16270	日本語学概論A	2		
	16468	日本語学概論B	2		
	16221	日本語教育学基礎1	1		
16421	日本語教育学基礎2	1			
16067	日本の文学	2			
16469	日本の古典文学1	1			
16470	日本の古典文学2	1			
16238	日本文化体験A	2			
16239	日本文化体験B	2			
16477	日本文化体験C	1			
16478	日本文化体験D	1			
16471	日本の近代文学1	1			
16472	日本の近代文学2	1			
16473	日本の現代文学1	1			
16474	日本の現代文学2	1			
16263	日本の人口学1E	1			
16463	日本の人口学2E	1			
16475	日本研究特論1E	1			
16476	日本研究特論2E	1			
16480	比較教育学1E	1	国際社会コース		
16481	比較教育学2E	1	所属以外		
専門教育科目	51029	国際金融論	2		
	51030	国際金融史	2		
	51031	国際経営論	2		
	52027	比較文化論A1	1		
	52527	比較文化論A2	1		
	52028	比較文化論B1	1		
	52528	比較文化論B2	1		
	52017	比較文化論1E	1		
	52517	比較文化論2E	1		
	52018	多文化主義論1E	1		
	52518	多文化主義論2E	1		
	国際社会コース専門科目	52019	比較政治学1E	1	
		52519	比較政治学2E	1	
		52531	比較政治学1	1	
		52532	比較政治学2	1	
		51010	世界地誌A	2	
		51011	世界地誌B	2	
52020		国際社会論特論1	1		
52520		国際社会論特論2	1		
52241		現代中国論A1	1		
52741		現代中国論A2	1		
52242		現代中国論B1	1		
52742		現代中国論B2	1		
52243		現代中国論1E	1		
52743		現代中国論2E	1		
52021		地球環境論1E	1		
52521		地球環境論2E	1		
52529		国際法概論A	2		
52530		国際法概論B	2		
52026		国際政治史(東洋)1E	1		
52526		国際政治史(東洋)2E	1		
52338		国際政治史(西洋)1E	1		
52838		国際政治史(西洋)2E	1		
16480		比較教育学1E	1		
16481		比較教育学2E	1		
52101		日本語の文字・表記1	1		
52601		日本語の文字・表記2	1		
52130		日本語の語彙・意味1	1		
52630		日本語の語彙・意味2	1		
52641		日本語史1	1		
52642		日本語史2	1		
52105		日本語文法A1	1		
52605		日本語文法A2	1		
52106		日本語文法B1	1		
52606		日本語文法B2	1		
52107	日本語教科書研究1	1			
52607	日本語教科書研究2	1			
52108	日本語教授法A1	1			
52608	日本語教授法A2	1			
52134	日本語教授法B	1			
52634	日本語教授法演習(教育実習)	1			
52110	日本語教育とコンピュータ1	1			
52610	日本語教育とコンピュータ2	1			
52113	第二言語習得論1	1			
52613	第二言語習得論2	1			
52117	日本語教育史1	1			
52617	日本語教育史2	1			
51115	日本語教育実習A	1			
51116	日本語教育実習B	1			
52643	日本語音声学1	1			
52644	日本語音声学2	1			
52645	言語学概論A	1			
52646	言語学概論B	1			
52647	言語学概論C	1			
52648	言語学概論D	1			
52649	対照言語学1	1			
52650	対照言語学2	1			
52651	認知言語学1	1			
52652	認知言語学2	1			
52655	発達と学習の心理A	1			
52656	発達と学習の心理B	1			
52124	社会言語学1	1			
52624	社会言語学2	1			
52653	日本研究特論1E	1			
52654	日本研究特論2E	1			
52132	日本思想史1	1			
52632	日本思想史2	1			
52133	日本史特論1	1			
52633	日本史特論2	1			
51139	日本語教育評価法	1			
51140	日本語教育評価法	1			
51134	海外日本語教育実習	2			
52201	東アジア史概説A1	1			
52701	東アジア史概説A2	1			
52202	東アジア史概説B1	1			
52702	東アジア史概説B2	1			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
アジアコース	52241	現代中国論A1	1	
	52741	現代中国論A2	1	
	52242	現代中国論B1	1	
	52742	現代中国論B2	1	
	52243	現代中国論1E	1	
	52743	現代中国論2E	1	
	52206	アジア経済史A1	1	
	52706	アジア経済史A2	1	
	52207	アジア経済史B1	1	
	52707	アジア経済史B2	1	
	52210	東アジア国際交流史1	1	
	52710	東アジア国際交流史2	1	
	52211	東南アジア研究	1	
	52212	南アジア文化論	1	
	52213	仏教文化論	1	
	52216	現代中国文化論1	1	
	52716	現代中国文化論2	1	
	52217	韓国・北朝鮮研究1	1	
	52717	韓国・北朝鮮研究2	1	
	52219	アジアのマイノリティと人権1	1	
	52719	アジアのマイノリティと人権2	1	
	52244	中国の文化と社会1E	1	
	52744	中国の文化と社会2E	1	
	52220	アジア研究特論A1	1	
	52720	アジア研究特論A2	1	
	52221	アジア研究特論B1	1	
	52721	アジア研究特論B2	1	
	52245	東アジア社会と教育A1	1	
	52745	東アジア社会と教育A2	1	
	52246	東アジア社会と教育B1	1	
	52746	東アジア社会と教育B2	1	
	36318	地理学概論A	2	
	52748	中国語コミュニケーション初級1	1	
	52749	中国語コミュニケーション初級2	1	
	52750	中国語コミュニケーション初級3	1	
	52751	中国語コミュニケーション初級4	1	
	52752	中国語コミュニケーション初級5	1	
	52753	中国語コミュニケーション初級6	1	
	52754	中国語コミュニケーション初級7	1	
	52755	中国語コミュニケーション初級8	1	
	52240	ビジネス中国語1	1	
	52740	ビジネス中国語2	1	
	52226	中国語表現法A1	1	
	52726	中国語表現法A2	1	
	52227	中国語表現法B1	1	
52727	中国語表現法B2	1		
52228	現代中国時事文A1	1		
52728	現代中国時事文A2	1		
52229	現代中国時事文B1	1		
52729	現代中国時事文B2	1		
52756	朝鮮語コミュニケーション初級1	1		
52757	朝鮮語コミュニケーション初級2	1		
52758	朝鮮語コミュニケーション初級3	1		
52759	朝鮮語コミュニケーション初級4	1		
52760	朝鮮語コミュニケーション初級5	1		
52761	朝鮮語コミュニケーション初級6	1		
52762	朝鮮語コミュニケーション初級7	1		
52763	朝鮮語コミュニケーション初級8	1		
52764	朝鮮語コミュニケーション中級1	1		
52765	朝鮮語コミュニケーション中級2	1		
52766	朝鮮語コミュニケーション中級3	1		
52767	朝鮮語コミュニケーション中級4	1		
米英コース	52334	米英研究A1	1	
	52834	米英研究A2	1	
	52335	米英研究B1	1	
	52835	米英研究B2	1	
	52345	アメリカ地域文化論1E	1	
	52845	アメリカ地域文化論2E	1	
	52356	米英文化関係論1E	1	
	52856	米英文化関係論2E	1	
	52347	イギリス地域文化論1E	1	
	52847	イギリス地域文化論2E	1	
	51362	英語学概説1	1	
	51363	英語学概説2	1	
	51364	英語学概説1E	1	

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
米英コース	51365	英語学概説2E	1	
	52350	米英メディア文化論1E	1	
	52850	米英メディア文化論2E	1	
	52337	米英政治・外交論1E	1	
	52837	米英政治・外交論2E	1	
	52316	アメリカ経済論1E	1	
	52816	アメリカ経済論2E	1	
	51366	北米文化論1	1	
	51367	北米文化論2	1	
	52339	米英政治・外交論1	1	
	52839	米英政治・外交論2	1	
	52333	英文法教授法	1	
	52338	国際政治史(西洋)1E	1	
	52838	国際政治史(西洋)2E	1	
	52363	米英研究特論1	1	
	52364	米英研究特論2	1	
	52319	アカデミックライティングA1	1	
	52819	アカデミックライティングA2	1	
	52320	アカデミックライティングB1	1	
	52820	アカデミックライティングB2	1	
	52321	アカデミックライティングC1	1	
	52821	アカデミックライティングC2	1	
	52322	アカデミックライティングD1	1	
	52822	アカデミックライティングD2	1	
	52323	英語グローバルトピックA1	1	
	52823	英語グローバルトピックA2	1	
	52324	英語グローバルトピックB1	1	
	52824	英語グローバルトピックB2	1	
	52325	英語グローバルトピックC1	1	
	52825	英語グローバルトピックC2	1	
	52326	英語グローバルトピックD1	1	
	52826	英語グローバルトピックD2	1	
	52327	国際英語コミュニケーションA1	1	
	52827	国際英語コミュニケーションA2	1	
	52328	国際英語コミュニケーションB1	1	
	52828	国際英語コミュニケーションB2	1	
	52329	国際英語コミュニケーションC1	1	
	52829	国際英語コミュニケーションC2	1	
	52330	国際英語コミュニケーションD1	1	
	52830	国際英語コミュニケーションD2	1	
	52359	英語圏文化論1E	1	
	52859	英語圏文化論2E	1	
	52357	Business Communication	1	
	52358	Management Communication	1	
	53036	西洋近・現代史概説	2	
	52489	現代ヨーロッパ社会論	2	
	52405	ヨーロッパの宗教1	1	
	52905	ヨーロッパの宗教2	1	
	52410	美術史1E	1	
	52910	美術史2E	1	
	51412	ヨーロッパ社会言語学	2	
	51477	ドイツ文学史A1	1	
	51478	ドイツ文学史A2	1	
	51479	ドイツ文学史B1	1	
	51480	ドイツ文学史B2	1	
51481	フランス文学史A1	1		
51482	フランス文学史A2	1		
51483	フランス文学史B1	1		
51484	フランス文学史B2	1		
52445	ヨーロッパ生活論1E	1		
52945	ヨーロッパ生活論2E	1		
52446	ヨーロッパ研究特論1	1		
52946	ヨーロッパ研究特論2	1		
52447	ヨーロッパ研究特論1E	1		
52947	ヨーロッパ研究特論2E	1		
52448	ヨーロッパ研究特論3E	1		
52948	ヨーロッパ研究特論4E	1		
53037	ヨーロッパ歴史特論A	2		
53038	ヨーロッパ歴史特論B	2		
52470	ヨーロッパ文化特論A1	1		
52970	ヨーロッパ文化特論A2	1		
52471	ヨーロッパ文化特論B1	1		
52971	ヨーロッパ文化特論B2	1		
52472	ヨーロッパ社会特論A1	1		
52972	ヨーロッパ社会特論A2	1		

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
	52473	ヨーロッパ社会特論B1	1	
	52973	ヨーロッパ社会特論B2	1	
	52479	ヨーロッパアフリカ概説1	1	
	52480	ヨーロッパアフリカ概説2	1	
	52481	ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義A	1	
	52482	ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義B	1	
	52483	ヨーロッパ・アフリカ史演習A	1	
	52484	ヨーロッパ・アフリカ史演習B	1	
	52485	ヨーロッパ・アフリカ史演習C	1	
	52486	ヨーロッパ・アフリカ史演習D	1	
	52487	ヨーロッパ・アフリカ史演習E	1	
	52488	ヨーロッパ・アフリカ史演習F	1	
	52423	ドイツ語読解基礎1	1	
	52923	ドイツ語読解基礎2	1	
	52979	ドイツ語コミュニケーション初級1	1	
	52980	ドイツ語コミュニケーション初級2	1	
	52981	ドイツ語コミュニケーション初級3	1	
	52982	ドイツ語コミュニケーション初級4	1	
	52983	ドイツ語コミュニケーション初級5	1	
	52984	ドイツ語コミュニケーション初級6	1	
	52985	ドイツ語コミュニケーション中級1	1	
	52986	ドイツ語コミュニケーション中級2	1	
	52987	ドイツ語コミュニケーション中級3	1	
	52988	ドイツ語コミュニケーション中級4	1	
	52989	ドイツ語コミュニケーション中級5	1	
	52990	ドイツ語コミュニケーション中級6	1	
	52430	ドイツ語表現法1	1	
	52930	ドイツ語表現法2	1	
	52991	フランス語コミュニケーション初級1	1	
	52992	フランス語コミュニケーション初級2	1	
	52993	フランス語コミュニケーション初級3	1	
	52994	フランス語コミュニケーション初級4	1	
	52995	フランス語コミュニケーション初級5	1	
	52996	フランス語コミュニケーション初級6	1	
	52997	フランス語コミュニケーション初級7	1	
	52998	フランス語コミュニケーション初級8	1	
	52999	フランス語コミュニケーション中級1	1	
	53000	フランス語コミュニケーション中級2	1	
	53001	フランス語コミュニケーション中級3	1	
	53002	フランス語コミュニケーション中級4	1	
	53003	フランス語コミュニケーション中級5	1	
	53004	フランス語コミュニケーション中級6	1	
	53005	フランス語コミュニケーション中級7	1	
	53006	フランス語コミュニケーション中級8	1	
	53007	スペイン語コミュニケーション初級1	1	
	53008	スペイン語コミュニケーション初級2	1	
	53009	スペイン語コミュニケーション初級3	1	
	53010	スペイン語コミュニケーション初級4	1	
	53011	スペイン語コミュニケーション初級5	1	
	53012	スペイン語コミュニケーション初級6	1	
	53013	スペイン語コミュニケーション初級7	1	
	53014	スペイン語コミュニケーション初級8	1	
	53015	スペイン語コミュニケーション中級1	1	
	53016	スペイン語コミュニケーション中級2	1	
	53017	スペイン語コミュニケーション中級3	1	
	53018	スペイン語コミュニケーション中級4	1	
	53019	スペイン語コミュニケーション中級5	1	
	53020	スペイン語コミュニケーション中級6	1	
	53021	スペイン語コミュニケーション中級7	1	
	53023	スペイン語コミュニケーション中級8	1	
	53024	ロシア語コミュニケーション初級1	1	
	53025	ロシア語コミュニケーション初級2	1	
	53026	ロシア語コミュニケーション初級3	1	
	53027	ロシア語コミュニケーション初級4	1	
	53028	ロシア語コミュニケーション初級5	1	
	53029	ロシア語コミュニケーション初級6	1	
	53030	ロシア語コミュニケーション初級7	1	
	53031	ロシア語コミュニケーション初級8	1	
	53032	ロシア語コミュニケーション中級1	1	
	53033	ロシア語コミュニケーション中級2	1	
	53034	ロシア語コミュニケーション中級3	1	
	53035	ロシア語コミュニケーション中級4	1	
	36001	インターンシップ	2	
	36002	卒業論文	6	
	36108	異文化体験実習 I (海外)	1	

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
	36101	異文化体験実習 I (海外)	2	
	36102	異文化体験実習 I (海外)	3	
	36103	異文化体験実習 I (海外)	4	
	36104	異文化体験実習 I (海外)	5	
	36105	異文化体験実習 I (海外)	6	
	36106	異文化体験実習 I (海外)	7	
	36107	異文化体験実習 I (海外)	8	
	36201	異文化体験実習 II (海外)	2	
	36323	日本史要説A	1	
	36324	日本史要説B	1	
	36325	東洋史要説A	1	
	36326	東洋史要説B	1	
	36327	政治学A	1	
	36328	政治学B	1	
	36335	社会学概論1	1	
	36336	社会学概論2	1	
	36309	地域経営論 I	1	
	36310	地域経営論 II	1	
	36311	地域文化論 I	1	
	36312	地域文化論 II	1	
	36313	コミュニティ・デザイン論 I	1	
	36314	コミュニティ・デザイン論 II	1	
	36329	漢文学概説1	1	
	36330	漢文学概説2	1	
	36331	漢文学史A1	1	
	36332	漢文学史A2	1	
	36317	書写書道基礎	2	
	52248	地理学概論B	2	
	36321	哲学概論A	2	
	36322	哲学概論B	2	
	36333	英米言語文化概説A	1	
	36334	英米言語文化概説B	1	
	36513	ELPセンター英語セミナー1	1	
	36514	ELPセンター英語セミナー2	1	
	36515	ELPセンター英語セミナー3	1	
	36516	ELPセンター英語セミナー4	1	
	36501	外国語コミュニケーション	1	
	36502	外国語コミュニケーション	2	
	36503	外国語コミュニケーション	3	
	36504	外国語コミュニケーション	4	
	36505	外国語コミュニケーション	5	
	36506	外国語コミュニケーション	6	
	36507	外国語コミュニケーション	7	
	36508	外国語コミュニケーション	8	
	36509	外国語コミュニケーション	9	
	36510	外国語コミュニケーション	10	
	36511	外国語コミュニケーション	11	
	36512	外国語コミュニケーション	12	
	36601	国際学特別研究	1	
	36602	国際学特別研究	2	
	36603	国際学特別研究	3	
	36604	国際学特別研究	4	
	36605	国際学特別研究	5	
	36606	国際学特別研究	6	
	36607	国際学特別研究	7	
	36608	国際学特別研究	8	
	36609	国際学特別研究	9	
	36610	国際学特別研究	10	
	36611	国際学特別研究	11	
	36612	国際学特別研究	12	
	36613	研究演習A1	1	
	36614	研究演習A2	1	
	36615	研究演習A3	1	
	36616	研究演習A4	1	
	36617	研究演習B1	1	
	36618	研究演習B2	1	
	36619	研究演習B3	1	
	36620	研究演習B4	1	

専門教育科目

ヨーロッパコース

専門教育科目

学類共通専門科目

4単位必修

別表第5（第8条関係） 履修登録単位数の上限

学期	1年				2年				3年				4年			
	第1 クォーター	第2 クォーター	第3 クォーター	第4 クォーター												
人文学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
法学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
経済学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
学校教育学類	12	12	12	12	16	16	16	16	16	16	16	16	12	12	12	12
地域創造学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
国際学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

別表第6（第37条関係）

免許状の種類

免許取得対象学類	免許状の種類	免許教科・特別支援教育領域
人文学類	中学校教諭一種免許状	国語，社会，英語
	高等学校教諭一種免許状	国語，地理歴史，公民，英語， 中国語
法学類	高等学校教諭一種免許状	公民
経済学類	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民
学校教育学類	小学校教諭一種免許状	
	中学校教諭一種免許状	国語，社会，数学，理科，音 楽，美術，保健体育，家庭，英
	高等学校教諭一種免許状	国語，地理歴史，公民，数学， 理科，音楽，美術，保健体育， 家庭，英語
	特別支援学校教諭一種免許状	聴覚障害者，知的障害者，肢体 不自由者
	幼稚園教諭一種免許状	
国際学類	中学校教諭一種免許状	国語，社会，英語
	高等学校教諭一種免許状	国語，地理歴史，公民，英語

別表第7（第39条関係）

教育の基礎的理解に関する科目等及び各教科（保育内容）の指導法

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
	90008	教育の理念と歴史A	1	学校教育学類
	90009	教育の理念と歴史B	1	
	95008	教育の理念と歴史A	1	学校教育学類以外
	95009	教育の理念と歴史B	1	
	90011	教育哲学	2	学校教育学類
	95011			学校教育学類以外
	90012	教育原論特殊講義	2	
	90015	教育史	2	学校教育学類
	95015			学校教育学類以外
	90016	教育史特殊講義	2	
	90019	教育学演習Ⅰ	1	
	90020	教育学演習Ⅱ	1	
教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	90000	教師論	2	学校教育学類
	95000			学校教育学類以外
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	90050	教育の制度と経営	2	学校教育学類
	95050			学校教育学類以外
	90060	教育法制度論	2	学校教育学類
	95060			学校教育学類以外
	90061	教育法制度論特殊講義	2	
	90062	教育社会学A	1	学校教育学類
	95056			学校教育学類以外
	90063	教育社会学B	1	学校教育学類
95057	学校教育学類以外			
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	90035	発達と学習の心理	2	学校教育学類
	95036	発達と学習の心理A	1	学校教育学類以外
	95037	発達と学習の心理B	1	学校教育学類以外
	90031	発達心理学	2	学校教育学類
	95031			学校教育学類以外
	90032	発達心理学特殊講義	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	90370	特別支援教育概論	1	学校教育学類
	95370			学校教育学類以外

	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	90072	教育課程論	1	学校教育学類
		95072			学校教育学類以外
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育に関する科目	道徳の理論及び指導法	90090	道徳教育論	2	学校教育学類
		95090			学校教育学類以外
	総合的な学習の時間の指導法	90380	総合的な学習の時間教育論	1	学校教育学類
		95380			学校教育学類以外
	特別活動の指導法	90081	特別活動論	1	学校教育学類
		95081			学校教育学類以外
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	90116	教育方法学	2	学校教育学類
		95116			学校教育学類以外
		90101	教授学	2	学校教育学類
		95101			学校教育学類以外
		90102	教授学特殊講義	2	
		90109	学習指導論	2	学校教育学類
	95109	学校教育学類以外			
	90110	学習指導論特殊講義	2		
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	90270	生徒の生活と進路の指導論	2	学校教育学類
		95270			学校教育学類以外
	幼児理解の理論及び方法	90300	幼児理解の理論と方法	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	90290	教育相談論（教育・学校心理学）	2	学校教育学類
		95290			学校教育学類以外
		90105	生活指導論	2	学校教育学類
95105		学校教育学類以外			
90106		生活指導論特殊講義	2		
90286		学校心理学特殊講義	2		
90291		学校心理学（心理学的支援法）	2	学校教育学類	
95291				学校教育学類以外	
教育実践に関する科目	教育実習	90348	教育実習A（幼・小）	4	
		90350	教育実習事前事後指導A（幼・小）	1	
		90349	教育実習B（中・高）	4	
		90351	教育実習事前事後指導B（中・高）	1	
		95352	教育実習C（中・高）	4	
		95353	教育実習D（高）	2	
		95354	教育実習事前事後指導C（中・高）	1	
	教職実践演習	90313	教職実践演習A（教諭）	2	学校教育学類
		95314	教職実践演習B（中・高）	2	学校教育学類以外

領域及び保育内容の指導演法に関する科目	保育内容の指導演法（情報機器及び教材の活用を含む。）	90250	幼児の人間関係指導演法	2	
		90251	幼児の表現指導演法	2	
		90252	幼児の健康指導演法	2	
		90253	幼児の言葉指導演法	2	
		90254	幼児の環境指導演法	2	
各教科の指導演法（情報機器及び教材の活用を含む。）（小学校）		90130	初等国語科教育法	2	
		90139	国語科教育演習A	2	
		90131	初等社会科教育法	2	
		90140	社会科教育演習A	2	
		90132	算数科教育法	2	
		90141	算数科教育演習	2	
		90133	初等理科教育法	2	
		90142	理科教育演習 I	2	
		90134	生活科教育法	2	
		90135	初等音楽科教育法	2	
		90143	音楽科教育演習 I	2	
		90136	図画工作科教育法	2	
		90144	図画工作科教育演習	2	
		90137	初等家庭科教育法	2	
		90145	家庭科教育演習A	2	
		90149	体育科教育法 I	1	
		90150	体育科教育法 II	1	
		90244	体育科教育演習 I	1	
		90245	体育科教育演習 II	1	
		90147	初等英語科教育法 A	1	
		90148	初等英語科教育法 B	1	
		90160	中等国語科教育法 A	2	学校教育学類 学校教育学類以外
		95160			
		90161	中等国語科教育法 B	2	学校教育学類 学校教育学類以外
		95161			
		90162	国語科授業研究 I	2	学校教育学類 学校教育学類以外
		95162			
		90163	国語科授業研究 II	2	学校教育学類 学校教育学類以外
		95163			
		90164	国語科教育演習 B	2	
		90167	中等社会科教育法 A	2	
		90168	中等社会科教育法 B	2	
		90169	社会科授業研究 I	2	
90170	社会科授業研究 II	2			
90171	社会科教育演習 B	2			
90172	社会科・地理歴史科教育法 A	2	学校教育学類 学校教育学類以外		
95172					
90173	社会科・地理歴史科教育法 B	2	学校教育学類 学校教育学類以外		
95173					
90174	社会科・公民科教育法 A	2	学校教育学類 学校教育学類以外		
95174					
90175	社会科・公民科教育法 B	2	学校教育学類 学校教育学類以外		
95175					
90176	数学科教育法 A	2			
90177	数学科教育法 B	2			
90178	数学科授業研究 I	2			
90179	数学科授業研究 II	2			
90180	数学科教育演習	2			

教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。) (中学校・高等学校)	90183	中等理科教育法A	2	
		90184	中等理科教育法B	2	
		90185	理科授業研究Ⅰ	2	
		90186	理科授業研究Ⅱ	2	
		90187	理科教育演習Ⅱ	2	
		90190	音楽科教育法A	2	
		90191	音楽科教育法B	2	
		90192	音楽科授業研究Ⅰ	2	
		90193	音楽科授業研究Ⅱ	2	
		90194	音楽科教育演習Ⅱ	2	
		90195	中等美術科教育法A	2	
		90196	中等美術科教育法B	2	
		90232	美術科授業研究ⅠA	1	
		90233	美術科授業研究ⅠB	1	
		90234	美術科授業研究ⅡA	1	
		90235	美術科授業研究ⅡB	1	
		90199	美術科教育演習	2	
		90236	保健体育科教育法AⅠ	1	
		90237	保健体育科教育法AⅡ	1	
		90238	保健体育科教育法BⅠ	1	
		90239	保健体育科教育法BⅡ	1	
		90240	保健体育科授業研究Ⅰ	1	
		90241	保健体育科授業研究Ⅱ	1	
		90242	保健体育科授業研究Ⅲ	1	
		90243	保健体育科授業研究Ⅳ	1	
		90691	保健体育科教育演習Ⅰ	1	
		90692	保健体育科教育演習Ⅱ	1	
		90693	保健体育科教育演習Ⅲ	0.5	
		90694	保健体育科教育演習Ⅳ	0.5	
		90695	保健体育科教育演習Ⅴ	0.5	
		90696	保健体育科教育演習Ⅵ	0.5	
		90207	中等家庭科教育法A	2	
		90208	中等家庭科教育法B	2	
		90209	家庭科授業研究Ⅰ	2	
		90210	家庭科授業研究Ⅱ	2	
		90211	家庭科教育演習B	2	
		90212	英語科教育法A	2	学校教育学類
		95212			学校教育学類以外
		90213	英語科教育法B	2	学校教育学類
		95213			学校教育学類以外
		90214	英語科授業研究Ⅰ	2	学校教育学類
		95214			学校教育学類以外
		90215	英語科授業研究Ⅱ	2	学校教育学類
		95215			学校教育学類以外
		90216	英語科教育演習Ⅰ	2	
		90217	英語科教育演習Ⅱ	2	
95230	中国語科教育法A	2			
95231	中国語科教育法B	2			
90458	国語科教育実践研究Ⅰ	2			
90459	国語科教育実践研究Ⅱ	2			
90460	社会科教育実践研究Ⅰ	2			
90461	社会科教育実践研究Ⅱ-A	2			
90462	社会科教育実践研究Ⅱ-B	2			
90463	算数科教育実践研究	2			

教科及び 教科の指 導法に関 する科目 における 複数の事 項を合わ せた内容 に係る科 目（複合 科目）	90464	数学科教育実践研究	2	
	90465	理科教育実践研究Ⅰ	2	
	90466	理科教育実践研究Ⅱ	2	
	90467	音楽科教育実践研究Ⅰ	2	
	90468	音楽科教育実践研究Ⅱ	2	
	90469	図画工作科教育実践研究	2	
	90470	美術科教育実践研究	2	
	90697	体育科教育実践研究Ⅰ	1	
	90698	体育科教育実践研究Ⅱ	1	
	90699	保健体育特殊講義Ⅰ	1	
	90700	保健体育特殊講義Ⅱ	1	
	90701	保健体育科教育実践研究Ⅰ	1	
	90702	保健体育科教育実践研究Ⅱ	1	
	90471	家庭科教育実践研究Ⅰ	2	
	90472	家庭科教育実践研究Ⅱ	2	
	90475	英語科教育実践研究Ⅰ	2	
	90476	英語科教育実践研究Ⅱ	2	

備考

- 1 学校教育学類は別表第4と一部重複する。
- 2 本表の授業科目から修得した単位は、学校教育学類以外の学類は別表第2に定める卒業に必要な単位数には算入しない。

別表第8(第40条関係)大学が独自に設定する科目(略)

別表第9(第41条関係)特別支援教育に関する科目(略)

別表第10-1(第6条の3関係)公認心理師養成プログラム単位配当表

公認心理師法施行規則に定める科目名	科目番号	授業科目名	単位数	備考
1 公認心理師の職責	80001	公認心理師の職責	2	別表第10-2に規定する修得すべき単位数を修得した学生のみ履修可
21 人体の構造と機能及び疾病	80002	人体の構造と機能及び疾病	2	
22 精神疾患とその治療	80003	精神疾患とその治療	2	
23 関係行政論	80004	関係行政論	2	
24 心理演習	80005	心理演習	2	
25 心理実習	80006	心理実習	2	

備考 本表の授業科目から修得した単位は、別表第2に定める卒業に必要な単位数には算入しない。

別表第10-2(第6条関係)

公認心理師養成プログラム履修要件科目

公認心理師法施行規則に定める科目名	授業科目名	単位数	備考
2 心理学概論	心理学概論A	1	人文学類専門教育科目
	心理学概論B	1	人文学類専門教育科目
3 臨床心理学概論	臨床心理学概論A	1	人文学類専門教育科目
	臨床心理学概論B	1	人文学類専門教育科目
4 心理学研究法	心理学研究法1A	1	人文学類専門教育科目
	心理学研究法1B	1	人文学類専門教育科目
	心理学研究法2A	1	人文学類専門教育科目
	心理学研究法2B	1	人文学類専門教育科目
5 心理学統計法	心理学統計法1A	1	人文学類専門教育科目
	心理学統計法1B	1	人文学類専門教育科目
	心理学統計法2A	1	人文学類専門教育科目
	心理学統計法2B	1	人文学類専門教育科目
6 心理学実験	心理学実験1A	1	人文学類専門教育科目
	心理学実験1B	1	人文学類専門教育科目
7 知覚・認知心理学	知覚・認知心理学A	1	人文学類専門教育科目
	知覚・認知心理学B	1	人文学類専門教育科目
8 学習・言語心理学	学習・言語心理学A	1	人文学類専門教育科目
	学習・言語心理学B	1	人文学類専門教育科目
9 感情・人格心理学	感情・人格心理学A	1	人文学類専門教育科目
	感情・人格心理学B	1	人文学類専門教育科目
10 神経・生理心理学	神経・生理心理学A	1	人文学類専門教育科目
	神経・生理心理学B	1	人文学類専門教育科目
11 社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学A	1	人文学類専門教育科目
	社会・集団・家族心理学B	1	人文学類専門教育科目
12 発達心理学	発達心理学	2	人文学類専門教育科目 学校教育学類専門教育科目
13 障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学A	1	人文学類専門教育科目
	障害者・障害児心理学B	1	人文学類専門教育科目
14 心理的アセスメント	心理的アセスメントA	1	人文学類専門教育科目
	心理的アセスメントB	1	人文学類専門教育科目
15 心理学的支援法	心理学的支援法	2	2単位 選択 必修 人文学類専門教育科目 学校教育学類専門教育科目
	学校心理学(心理学的支援法)	2	
16 健康・医療心理学	健康・医療心理学A	1	人文学類専門教育科目
	健康・医療心理学B	1	人文学類専門教育科目
17 福祉心理学	福祉心理学	2	2単位 選択 必修 人文学類専門教育科目 学校教育学類専門教育科目
	保育学概論(家庭看護を含む)(福祉心理学)	2	
18 教育・学校心理学	教育・学校心理学	2	2単位 選択 必修 人文学類専門教育科目 学校教育学類専門教育科目
	教育相談論(教育・学校心理学)	2	
19 司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学A	1	人文学類専門教育科目
	司法・犯罪心理学B	1	人文学類専門教育科目
20 産業・組織心理学	産業・組織心理学A	1	人文学類専門教育科目
	産業・組織心理学B	1	人文学類専門教育科目
修得すべき単位数		42	

備考 人文学類及び学校教育学類は別表第4と一部重複する。

人文学類細則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この細則(以下「本細則」という。)は、金沢大学人間社会学域規程(以下「規程」という。)に基づき、人文学類(以下「本学類」という。)におけるプログラム、試験及び成績評価、卒業論文、再入学、転学類、教育職員免許等に関し、必要な事項を定める。

第2章 プログラム

(プログラム、規程第5条関係)

第2条 学生は、本学類に置かれるプログラムの一つを選択して履修しなければならない。

2 学生は、第1学年の後学期の所定の期日までに、志望するプログラムを選択し、学類長に届け出なければならない。

3 本学類に置かれるプログラムの適正上限数は以下のとおりとする。

学域	学類 (一学年定員)	プログラム	適正上限数
人間社会学域	人文学類 (145)	心理学	20
		現代社会・人間学	35
		考古学・文化資源学	30
		歴史学	46
		日本・中国言語文化学	32
		欧米言語文化学	34
		言語科学	15

4 プログラムの志望者数が前項に定める適正上限数を超過したときは、第1学年前・後期のGPA(算出方法等は金沢大学履修規程による。)により選考を行う。

(選択プログラムの変更、規程第27条関係)

第3条 学生は、学類内の選択プログラムを変更しようとするときは、学類長に願い出なければならない。願い出の時期は別に定める。

2 選択プログラムの変更の時期は、学期の始めとする。

3 変更先のプログラムは、出願者と同学年の適正上限数に余裕がある場合のみ、受け入れることができる。

4 選択プログラムの変更を許可された学生の修業年限は、原則として6学期とする。ただし、変更前の単位修得状況によっては、短縮を認めることがある。

(修得すべき単位数等、規程第6条・第7条関係)

第4条 修得すべき単位数は、規程第6条第1項の規定による。

2 規程別表第2に定める単位修得要件の詳細は別表第1のとおりとする。

3 規程別表第5に定める授業科目群の開講時期及び修得すべき単位数は、選択するプログラムに応じ

て、別表第2のとおりとする。

4 選択必修科目の修得すべき単位数を超えた単位は、選択科目の単位として認定する。

(履修登録単位数の上限解除)

第5条 規程第8条第4項の規定により、履修登録単位数の上限は、履修登録する前の学期の通算の共通教育科目及び専門科目 GPA が2.7以上の場合に解除する。

(他学域・他学類における授業科目の履修，規程第9条・第10条関係)

第6条 規程第9条の規定により履修した他学域・他学類の授業科目については、24単位まで、本学類の選択科目の単位として認定する。

第3章 試験及び成績評価

(出席すべき授業回数)

第7条 規程第16条第3項の規定により、単位の認定を受けるのに必要な授業出席回数は、実際に授業を行った回数の3分の2以上を原則とする。

(GPA値の利用項目)

第8条 規程第20条の規定により、本学類において GPA 値を利用する項目は以下のとおりとする。

- (1) 転学類に際しての選考における資料
- (2) 選択するプログラム決定に際しての選考における資料
- (3) 履修登録単位数の上限を解除する際の資料
- (4) その他、本学類が必要と認めたこと

(再履修，規程第20条第2項関係)

第9条 本学類における再履修については、不可・放棄と評価された専門科目と同一科目を次学期以降に再履修した場合は、GPA 算出の際には分母をダブルカウントしないものとする。なお、同一科目とは別途指示する時間割に記載の枝番号を含めた授業科目とする。

第4章 卒業論文(規程第6条第4項関係)

(卒業論文提出資格)

第10条 卒業論文を提出するためには、選択プログラムにおいて5学期を超えて学修していなければならない。また、卒業論文演習A、卒業論文演習B、卒業論文演習C、及び卒業論文演習Dの計4単位を修得又は修得見込であること。ただし、第3条第4項ただし書きにより修業年限の短縮を認められた者は、これを短縮することができる。

(卒業論文提出期限)

第11条 卒業論文は、1月11日(当日が土曜日、日曜日又は祝日の場合は、休日明けの日)午後5時までに、所定の場所へ提出しなければならない。ただし、9月末卒業予定者については、7月21日(当日が土曜日、日曜日又は祝日の場合は、休日明けの日)午後5時までとする。

(卒業論文の評価)

第12条 卒業論文の評価は、提出論文の審査及びその論文に関する口述試験により行う。

第5章 再入学，転学類

(再入学)

第13条 規程第23条第2項の規定により，本学類へ再入学を志願する者の出願資格及び選考方法は別に定めるところによる。

(転学類)

第14条 規程第26条第2項の規定により，本学類へ転学類を志願する者の出願資格及び選考方法は別に定める。

2 選考方法において，入学定員の10%を超える出願があった場合は，GPA値により選考する。

第6章 教育職員免許

第15条 規程第38条及び第39条の規定により，共通教育科目，「教科(領域)に関する専門的事項」，「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「各教科(保育内容)の指導法」の履修方法等は，別に定める。

附 則

本細則は，平成20年4月1日から施行する。

附 則

本細則は平成21年12月16日から施行し，平成21年度入学者から適用する。

平成20年度入学者については，なお従前の例による。

附 則

1 本細則は平成22年4月1日から施行する。

2 平成22年3月31日に在学する者については，なお従前の例による。ただし，別表第2の必修科目における「認知科学概論」については平成22年3月31日に在学する者についても適用する。

附 則

1 本細則は平成22年4月21日から施行する。

2 平成22年3月31日に在学する者については，なお従前の例による。ただし，別表第2の日本語学日本文学専門分野の選択必修科目における「漢文学史B」については平成22年3月31日に在学する者についても適用する。

附 則

本細則は平成22年12月15日から施行する。

附 則

本細則は平成23年5月27日から施行し，平成23年5月1日から適用する。

附 則

1 本細則は平成24年4月1日から施行し，平成24年度入学者から適用する。

2 平成24年3月31日に在学する者については，なお従前の例による。

附 則

- 1 本細則は平成 25 年 4 月 1 日から施行し，平成 25 年度入学者から適用する。
- 2 平成 25 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

附 則

- 1 本細則は平成 26 年 4 月 1 日から施行し，平成 26 年度入学者から適用する。
- 2 平成 26 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

附 則

- 1 本細則は平成 27 年 4 月 1 日から施行し，平成 27 年度入学者から適用する。
- 2 平成 27 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

附 則

- 1 本細則は平成 28 年 4 月 1 日から施行し，平成 28 年度入学者から適用する。
- 2 平成 28 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

附 則

- 1 本細則は平成 30 年 4 月 1 日から施行し，平成 30 年度入学者から適用する。
- 2 平成 30 年 3 月 31 日に在学する者については，従前の例による。

附 則

- 1 本細則は平成 31 年 4 月 1 日から施行し，平成 31 年度入学者から適用する。
- 2 平成 31 年 3 月 31 日に在学する者については，従前の例による。

附 則

- 1 本細則は令和 2 年 4 月 1 日から施行し，令和 2 年度入学者から適用する。
- 2 令和 2 年 3 月 31 日に在学する者については，従前の例による。

附 則

- 1 本細則は，令和 3 年 4 月 1 日から施行する。但し，平成 30 年度に在学した者は，本改正第 14 条を適用する。

別表第1 単位修得要件

区 分		修得すべき単位数及び条件	
共通 教育 科目	導 入 科 目	大学・社会生活論 1単位 データサイエンス基礎 1単位 地域概論 1単位	28単位 以上
	G S 科 目 (6 群)	1群から5群の各群から2単位を含む 12単位 6群から3単位 ※単一の群で3単位を超える修得単位 は、自由履修科目に算入する。 計15単位	
	G S 言 語 科 目	TOEIC 準備コース4単位, EAP コース4 単位	
	自 由 履 修 科 目※ ¹	2単位以上	
	基 礎 科 目		
	初 習 言 語 科 目	1言語8単位以上	
専 門 教 育 科 目	学 域 G S 科 目	アカデミックスキル1単位 プレゼン・ディベート論1単位	6単位以上
		学域俯瞰科目	
		データサイエンス応用系科目 2単位以上	
	学 域 G S 言 語 科 目	2科目2単位	
	専 門 基 礎 科 目 (人 文 学 基 盤 科 目)	「人文学序説A・B・C・D」4単位を含む14単位以上を必ず履修すること。	
専 門 科 目	「卒業論文演習A」1単位, 「卒業論文演習B」1単位, 「卒業論文演習C」1単位, 「卒業論文演習D」1単位, 「卒業論文」6単位を必ず履修すること。また, これら10単位に加えて, 各プログラムで指定する専門科目54単位以上の履修が必要。※ ²		
卒業に必要な単位数		124単位以上	

※¹ 共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目および初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した単位、並びにその他の共通教育科目（導入科目及びGS言語科目を除く）の単位を指します。

※² 教職免許を取得するために必要な「教育の基礎的理解に関する科目等」や「各教科の指導法」の単位は、卒業要件に含まれませんので、十分に注意して下さい。

別表第2

学類共通（学域GS科目・学域GS言語科目・人文学基盤科目・卒論関係）

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
初学 者科 目	10301	アカデミックスキル	1	1	
	10302	プレゼン・ディベート論	1	1	
学域 俯 瞰 科 目	10015	大学・学問論	1		}
	10016	ジェンダーと教育	1		
	10019	異文化理解1	1		
	10020	異文化理解2	1		
	10021	文学概論1	1		
	10022	文学概論2	1		
	10023	世界遺産学	1		
	10059	ルールリテラシー	1		
	10060	人文社会科学における法	1		
	10026	イメージの比較文化学	1		
	10050	防災学入門	2		
	10027	現代日本の文化と社会	1		
	10028	地域創造学1	1		
	10029	地域創造学2	1		
	90050	教育の制度と経営 ※1	2		
	10061		2		
	90270	生徒の生活と進路の指導論 ※1	2		
	10062		2		
	GS科目発展系科目群 ※2				
学域 G S 科 目	10070	データサイエンスの技術	1		}
	10063	国際経済の理論とデータ	1		
	10064	国際貿易の理論とデータ	1		
	10065	データの活用に向けた線形代数学入門	2		
	10066	情報処理	1		
	10067	計量政治分析実習	2		
	10055	ビジネス・データ分析（ビジネス・データ・サイエンス）	1		
	10052	統計データ分析の基本（多変量解析）	1		
	10031	データで考える日本の未来（データサイエンス）	1		
	10057	統計ソフトRによるビッグデータ分析	1		
	10032	金融リテラシー	1		
	10044	白書の購読と議論	1		
	10056	地域課題解決と政策立案のための統計データ分析：EBPM（根拠に基づく政策立案）	1		
	10068	統計学技能Ⅰ	2		
	10069	統計学技能Ⅱ	3		
	学域データサイエンス系発展科目群 ※3				
	学域GS科目 小計		8		
言 語 科 目 S	10101	学域GS言語科目Ⅰ	1	}	2年
	10102		1		海外研修等
	10201	学域GS言語科目Ⅱ	1	}	2年
	10202		1		海外研修等
	学域GS言語科目 小計		2		

学類共通（学域GS科目・学域GS言語科目・人文学基盤科目・卒論関係）

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
人文学基盤科目	11057	人文学序説A	1	1	1～4年
	11058	人文学序説B	1	1	1～4年
	11059	人文学序説C	1	1	1～4年
	11060	人文学序説D	1	1	1～4年
	11063	現代社会・人間学入門	1		1～4年
	11064	哲学の始源	1		1～4年
	11065	社会情報学A	1		1～4年
	11066	社会情報学B	1		1～4年
	11067	ジェンダーと社会A	1		1～4年
	11068	ジェンダーと社会B	1		1～4年
	42621	知覚・認知心理学A	1		2～4年 公認心理師科目
	42622	知覚・認知心理学B	1		2～4年 公認心理師科目
	42623	学習・言語心理学A	1		2～4年 公認心理師科目
	42624	学習・言語心理学B	1		2～4年 公認心理師科目
	42625	感情・人格心理学A	1		2～4年 公認心理師科目
	42626	感情・人格心理学B	1		2～4年 公認心理師科目
	41475	古代文明論	1		2～4年
	11069	北陸の考古学	1		2～4年
	11070	宗教芸術論	1		2～4年
	11071	イメージを読み解く	1		2～4年
	21303	グローバルヒストリー	1		2～4年
	11078	歴史学と現在 1	1		1～4年
	11079	歴史学と現在 2	1		1～4年
	41975	日本語学講義 1	1		2～4年
	11073	日本の物語と語り物	1		2～4年
	11074	日本文学の近代	1		2～4年
	11075	日本文学とメディア	1		2～4年
	11076	中国の言語文化A	1		2～4年
	11077	中国の言語文化B	1		2～4年
	21401	言語研究入門	1		2～4年
21402	文学研究入門	1		2～4年	
21416	比較文学入門	1		2～4年	
21417	言語認知科学入門	1		2～4年	
人文学基盤科目 小計			14		
卒論関係	31005	卒業論文演習A	1	1	4年
	31006	卒業論文演習B	1	1	4年
	31007	卒業論文演習C	1	1	4年
	31008	卒業論文演習D	1	1	4年
	31003	卒業論文	6	6	4年
卒論関係 小計			10		

本表は、令和3年度入学者から適応する。

- ※1 教育職員免許取得希望者は、人間社会学域規程 別表第7に定める科目番号95050「教育の制度と経営」、科目番号95270「生徒の生活と進路の指導論」で履修すること。
なお、この場合、修得した単位は教育職員免許取得に必要となるため、学域GS科目の単位として認められない。
- ※2 学域GS科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS科目発展系科目群」の科目（GS科目の発展系として位置づけられる科目を言う。）を履修することができる。なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4月初めに公示する。
- ※3 当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4月初めに公示する。

別表第2

心理学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	
			必修	選択必修		
—	学域GS科目	—	8		学類共通 参照	
—	学域GS言語科目	—	2			
—	人文学基盤科目	—	14			
—	卒論関係	—	10			
基礎講義	42637	心理学概論A	1	1	8	2~4年
	42638	心理学概論B	1	1		2~4年
	42639	臨床心理学概論A	1	1		2~4年
	42640	臨床心理学概論B	1	1		2~4年
	42641	心理学統計法1A	1	1		2~4年
	42642	心理学統計法1B	1	1		2~4年
	42643	心理学統計法2A	1	1		2~4年
	42644	心理学統計法2B	1	1		2~4年
	41166	基礎社会統計学1	1		2~4年	
	41167	基礎社会統計学2	1		2~4年	
	41312	応用倫理学	2		2~4年	
	41162	社会学概論1	1		1~4年	
	41163	社会学概論2	1		1~4年	
	41164	社会調査基礎1	1		1~4年	
	41165	社会調査基礎2	1		1~4年	
	21104	哲学概論A	2		1~4年	
	41348	哲学概論B	2		1~4年	
	42538	音声学1	1		2~4年	
	42539	音声学2	1		2~4年	
	42540	音声学3	1		2~4年	
	42541	音声学4	1		2~4年	
	42534	言語と認知A1	1		2~4年	
	42535	言語と認知A2	1		2~4年	
	発展講義	42615	社会・集団・家族心理学A	1		6
42616		社会・集団・家族心理学B	1		2~4年	
41062		心理学特殊講義A	1		2~4年	
41063		心理学特殊講義B	1		2~4年	
42617		応用心理学特殊講義A	1		2~4年	
42618		応用心理学特殊講義B	1		2~4年	
42619		神経・生理心理学A	1		2~4年	
42620		神経・生理心理学B	1		2~4年	
42631		健康・医療心理学A	1		2~4年	
42632		健康・医療心理学B	1		2~4年	
42659		司法・犯罪心理学A	1		2~4年	
42660		司法・犯罪心理学B	1		2~4年	
42661		産業・組織心理学A	1		2~4年	
42662		産業・組織心理学B	1		2~4年	
42655		心理的アセスメントA	1		2~4年	
42656		心理的アセスメントB	1		2~4年	
42657		障害者・障害児心理学A	1		2~4年	
42658		障害者・障害児心理学B	1		2~4年	
42627		発達心理学	2		2~4年	学校教育学類開講
42630		心理学的支援法	2		3~4年	学校教育学類開講
42633	福祉心理学	2		2~4年	学校教育学類開講	
42634	教育・学校心理学	2		3~4年	学校教育学類開講	
41168	発展社会統計学1	1		2~4年		
41169	発展社会統計学2	1		2~4年		

プログラム指定の専門科目

心理学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	
			必修	選択必修		
42532	社会言語学 1	1			2～4年	
42533	社会言語学 2	1			2～4年	
基礎演習・実習	42645	心理学実験 1 A	1	1	2～4年 心理学プログラムは2年次必修	
	42646	心理学実験 1 B	1	1	2～4年 心理学プログラムは2年次必修	
	42647	心理学実験 2 A	1	1	2～4年 心理学プログラムは2年次必修	
	42648	心理学実験 2 B	1	1	2～4年 心理学プログラムは2年次必修	
	42649	心理学研究法 1 A	1	1	3～4年 心理学プログラムは3年次必修	
	42650	心理学研究法 1 B	1	1	3～4年 心理学プログラムは3年次必修	
	42651	心理学研究法 2 A	1	1	3～4年 心理学プログラムは3年次必修	
	42652	心理学研究法 2 B	1	1	3～4年 心理学プログラムは3年次必修	
	41055	心理学実験・調査演習 A	1		2	原則として3年次必修
	41056	心理学実験・調査演習 B	1			原則として3年次必修
	41057	心理学実験・調査演習 C	1			3～4年
発展演習・実習	41083	学習心理学演習 A	1		8	2～4年
	41084	学習心理学演習 B	1			2～4年
	41085	比較心理学演習 A	1			2～4年
	41086	比較心理学演習 B	1			2～4年
	41087	行動分析学演習 A	1			2～4年
	41088	行動分析学演習 B	1			2～4年
	41089	知覚心理学演習 A	1			2～4年
	41090	知覚心理学演習 B	1			2～4年
	41091	神経心理学演習 A	1			2～4年
	41092	神経心理学演習 B	1			2～4年
	41093	基礎心理学演習 A	1			2～4年
	41094	基礎心理学演習 B	1			2～4年
	41095	応用心理学演習 A	1			2～4年
	41096	応用心理学演習 B	1			2～4年
	41097	人格心理学演習 A	1			2～4年
	41098	人格心理学演習 B	1			2～4年
	41099	青年心理学演習 A	1			2～4年
	42601	青年心理学演習 B	1			2～4年
	42602	臨床心理学演習 A	1			2～4年
	42603	臨床心理学演習 B	1			2～4年
42604	健康心理学演習 A	1		2～4年		
42605	健康心理学演習 B	1		2～4年		
42606	認知行動療法演習 A	1		2～4年		
42607	認知行動療法演習 B	1		2～4年		
プログラム指定の専門科目 小計				32		
選択科目 ※1				22		
合計				88		

本表は、令和3年度入学者から適応する。

※1 選択科目には、以下の単位が含まれる。

- ①学域GS科目で8単位を超えて修得した単位
- ②学域GS言語科目で2単位を超えて修得した単位（上限2単位）
- ③選択したプログラムの授業科目で卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
- ④人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
- ⑤他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限24単位）

別表第2

現代社会・人間学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
—	学域GS科目	—	8		学類共通 参照
—	学域GS言語科目	—	2		
—	人文学基盤科目	—	14		
—	卒論関係	—	10		
基礎講義 プログラム指定の専門科目	21104	哲学概論A	2		1～4年
	41348	哲学概論B	2		1～4年
	41349	人間学概説A	2		1～4年
	41350	人間学概説B	2		1～4年
	41302	西洋古代中世思想史A	2		2～4年
	41303	西洋古代中世思想史B	2		2～4年
	41304	西洋近世思想史A	2		1～4年
	41305	西洋近世思想史B	2		1～4年
	41306	西洋倫理思想史A	2		2～4年
	41307	西洋倫理思想史B	2		2～4年
	41312	応用倫理学	2		2～4年
	41351	現代哲学	2		2～4年
	41162	社会学概論1	1		1～4年
	41163	社会学概論2	1		1～4年
	41164	社会調査基礎1	1		2～4年
	41165	社会調査基礎2	1		2～4年
	41185	社会理論	1		1～4年
	41166	基礎社会統計学1	1		2～4年
	41167	基礎社会統計学2	1		2～4年
	41152	現代社会学A I	1		2～4年
	41154	現代社会学B I	1		2～4年
	41156	現代社会学C I	1		2～4年
	41158	現代社会学D I	1		2～4年
	41160	現代社会学E I	1		2～4年
	41232	地理学概論A	2		1～4年
	21103	地理学概論B	2		1～4年
	41201	自然地理学概説A	2		1～4年
	41202	自然地理学概説B	2		1～4年
	41203	日本地誌A	2		1～4年
	41204	日本地誌B	2		1～4年
	41205	世界地誌A	2		1～4年
	41206	世界地誌B	2		1～4年
	41891	文化人類学概論A	1		1～4年
	41892	文化人類学概論B	1		1～4年
	41352	西洋古代中世哲学特殊講義	2		2～4年
	41353	近現代哲学特殊講義	2		2～4年
41317	古代中世倫理思想特殊講義	2		2～4年	
41354	近現代倫理思想特殊講義	2		2～4年	
41355	人間学基礎講義A	1		2～4年	
41356	人間学基礎講義B	1		2～4年	
41357	人間学特殊講義A	1		2～4年	
41358	人間学特殊講義B	1		2～4年	
41168	発展社会統計学1	1		2～4年	
41169	発展社会統計学2	1		2～4年	
41170	社会学調査法1	1		2～4年	
41171	社会学調査法2	1		2～4年	

現代社会・人間学プログラム

	科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
				必修	選択必修	
発展講義	41137	経験社会学Ⅰ	1		6	2～4年
	41138	経験社会学Ⅱ	1			2～4年
	41153	現代社会学AⅡ	1			2～4年
	41155	現代社会学BⅡ	1			2～4年
	41157	現代社会学CⅡ	1			2～4年
	41159	現代社会学DⅡ	1			2～4年
	41161	現代社会学EⅡ	1			2～4年
	41235	人文地理学特殊講義Ⅰ	1			2～4年
	41236	人文地理学特殊講義Ⅱ	1			2～4年
	41237	自然地理学特殊講義Ⅰ	1			2～4年
	41238	自然地理学特殊講義Ⅱ	1			2～4年
	41239	地誌学特殊講義Ⅰ	1			2～4年
	41240	地誌学特殊講義Ⅱ	1			2～4年
	41468	比較民族誌	1			2～4年
41469	文化人類学講義	1		2～4年		
基礎演習・実習	41359	西洋古代中世哲学基礎演習A	1		6	2～4年
	41360	西洋古代中世哲学基礎演習B	1			2～4年
	41365	近現代哲学基礎演習	2			2～4年
	41368	倫理思想基礎演習A	1			2～4年
	41369	倫理思想基礎演習B	1			2～4年
	41374	応用倫理学基礎演習A	1			2～4年
	41375	応用倫理学基礎演習B	1			2～4年
	41380	人間学基礎演習A	1			2～4年
	41381	人間学基礎演習B	1			2～4年
	41147	経験社会学演習	2			2～4年
	41172	理論社会学演習	2			2～4年
	41175	社会情報学演習Ⅰ	1			2～4年
	41176	社会情報学演習Ⅱ	1			2～4年
	41275	地域調査入門演習Ⅰ	1			2～4年
	41276	地域調査入門演習Ⅱ	1			2～4年
	41259	人文地理学実習Ⅰ	1			2～4年
	41260	人文地理学実習Ⅱ	1			2～4年
	41261	自然地理学実習Ⅰ	1			2～4年
41262	自然地理学実習Ⅱ	1		2～4年		
41490	文化人類学演習A	1		2～4年		
41491	文化人類学演習B	1		2～4年		
発展演習・実習	41361	西洋古代中世哲学演習A	1		12	2～4年
	41362	西洋古代中世哲学演習B	1			2～4年
	41363	西洋古代中世哲学研究演習A	1			2～4年
	41364	西洋古代中世哲学研究演習B	1			2～4年
	41366	近現代哲学演習	2			2～4年
	41367	近現代哲学研究演習	2			2～4年
	41370	倫理思想演習A	1			2～4年
	41371	倫理思想演習B	1			2～4年
	41372	倫理思想研究演習A	1			2～4年
	41373	倫理思想研究演習B	1			2～4年
	41382	人間学演習A	1			2～4年
	41383	人間学演習B	1			2～4年
	41384	人間学研究演習A	1			2～4年
	41385	人間学研究演習B	1			2～4年
41173	応用社会学演習Ⅰ	1		2～4年		
41174	応用社会学演習Ⅱ	1		2～4年		

現代社会・人間学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
41177	ジェンダーと社会演習1	1			2～4年
41178	ジェンダーと社会演習2	1			2～4年
41273	人文地理学演習1	1			2～4年
41274	人文地理学演習2	1			2～4年
41247	自然地理学演習1	1			2～4年
41248	自然地理学演習2	1			2～4年
41249	地誌学演習1	1			2～4年
41250	地誌学演習2	1			2～4年
41179	現代社会・人間学実習A	1	1		3～4年
41180	現代社会・人間学実習B	1	1		3～4年
41181	現代社会・人間学実習C	1	1		3～4年
41182	現代社会・人間学実習D	1	1		3～4年
41183	現代社会・人間学実習E	2			3～4年
41184	現代社会・人間学実習F	2			3～4年
プログラム指定の専門科目 小計			36		
選択科目 ※1			18		
合計			88		

本表は、令和3年度入学者から適応する。

※1 選択科目には、以下の単位が含まれる。

- ①学域GS科目で8単位を超えて修得した単位
- ②学域GS言語科目で2単位を超えて修得した単位（上限2単位）
- ③選択したプログラムの授業科目で卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
- ④人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
- ⑤他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限24単位）

別表第2

考古学・文化資源学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	
			必修	選択必修		
—	学域GS科目	—	8		学類共通 参照	
—	学域GS言語科目	—	2			
—	人文学基盤科目	—	14			
—	卒論関係	—	10			
基礎講義	41876	考古学・文化資源学概説A	1	1	12	1年
	41877	考古学・文化資源学概説B	1	1		1年
	21203	比較文化学概説A	1	1		2年
	21204	比較文化学概説B	1	1		2年
	21207	文化遺産学概説A	1	1		2年
	21208	文化遺産学概説B	1	1		2年
	21209	考古学概説A	1	1		2年
	21210	考古学概説B	1	1		2年
	41878	文化資源学の方法論	1	1		2年
	41879	考古学の方法論	1	1		2年
	41880	プログラム基礎実習	2	2		2年
	発展講義	41463	比較文化論	1		
41465		南アジア文化論	1		2年	
41464		仏教文化論	1		2年	
41466		日本の思想と宗教	1		2年	
41863		文化交流史	1		2年	
41864		宗教文化論	1		2年	
41865		建築史A	1		2年	
41866		建築史B	1		2年	
41470		東アジア文化遺産学A	1		2年	
41471		東アジア文化遺産学B	1		2年	
41881		オリент文化遺産学A	1		2年	
41882		オリент文化遺産学B	1		2年	
41472		西洋美術史A	1		2年	
41473		西洋美術史B	1		2年	
41867		西洋美術史C	1		2年	
41868		西洋美術史D	1		2年	
41869		比較美術史A	1		2年	
41870		比較美術史B	1		2年	
41883		地域考古学A	1		2年	
41884		地域考古学B	1		2年	
41885		社会考古学A	1		2年	
41886		社会考古学B	1		2年	
41887		比較考古学A	1		2年	
41888		比較考古学B	1		2年	
41889		考古科学A	1		2年	
41890		考古科学B	1		2年	
41891		文化人類学概論A	1		2年	
41892		文化人類学概論B	1		2年	
41468	比較民族誌	1		2年		
41469	文化人類学講義	1		2年		
プログラム指定の専門科目	41484	比較文化論演習A	1			2年
	41485	比較文化論演習B	1			2年
	41486	南アジア文化論演習A	1			2年
	41487	南アジア文化論演習B	1			2年
	41871	文化交流史演習A	1			2年
	41872	文化交流史演習B	1			2年

考古学・文化資源学プログラム

	科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
				必修	選択必修	
基礎演習・実習	41873	建築史演習A	1			2年
	41874	建築史演習B	1			2年
	41893	美術史演習A	1			2年
	41894	美術史演習B	1			2年
	41494	東アジア文化遺産学演習A	1			2年
	41495	東アジア文化遺産学演習B	1			2年
	41895	オリエント考古学演習A	1			2年
	41896	オリエント考古学演習B	1			2年
	41897	地域考古学演習A	1			2年
	41898	地域考古学演習B	1			2年
	42701	社会考古学演習A	1			2年
	42702	社会考古学演習B	1			2年
	42703	比較考古学演習A	1			2年
	42704	比較考古学演習B	1			2年
	42705	考古科学演習A	1			2年
	42706	考古科学演習B	1			2年
発展演習・実習	41845	比較文化学実習A	1			3年
	41846	比較文化学実習B	1			3年
	41847	比較文化学実習C	1			3年
	41848	比較文化学実習D	1			3年
	41853	文化遺産学実習A	1			3年
	41854	文化遺産学実習B	1			3年
	41855	文化遺産学実習C	1			3年
	41856	文化遺産学実習D	1			3年
	42707	考古学実習A	1			2年
	42708	考古学実習B	1			2年
	42709	考古学実習C	1			2年
	42710	考古学実習D	1			2年
	42711	考古学実習1	1			2年
	42712	考古学実習2	1			2年
42713	考古学実習3	1			2年	
42714	考古学実習4	1			2年	
学芸員科目	42715	博物館実習A	1			4年 ※2
	42716	博物館実習B	1			4年 ※2
	42717	博物館実習C	1			4年 ※2
	42734	博物館実習D	1			4年 ※2
	42718	博物館概論A	1			1～4年
	42719	博物館概論B	1			1～4年
	42720	博物館資料論A	1			2～4年
	42721	博物館資料論B	1			2～4年
	42722	博物館経営論A	1			2～4年
	42723	博物館経営論B	1			2～4年
	42724	博物館資料保存論A	1			2～4年
	42725	博物館資料保存論B	1			2～4年
	42726	博物館展示論A	1			2～4年
	42727	博物館展示論B	1			2～4年
42728	博物館教育論A	1			2～4年	
42729	博物館教育論B	1			2～4年	

考古学・文化資源学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
42730	博物館情報・メディア論A	1			2～4年
42731	博物館情報・メディア論B	1			2～4年
42732	生涯学習論A	1			2～4年
42733	生涯学習論B	1			2～4年
プログラム指定の専門科目 小計				32	
選択科目 ※1				22	
合計				88	

本表は、令和3年度入学者から適応する。

※1 選択科目には、以下の単位が含まれる。

- ①学域GS科目で8単位を超えて修得した単位
- ②学域GS言語科目で2単位を超えて修得した単位（上限2単位）
- ③選択したプログラムの授業科目で卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
- ④人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
- ⑤他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限24単位）

※2 「博物館実習」は、原則として学芸員資格取得に必要な科目全ての単位を修得した者のみ履修を認める。また、必要科目全ての単位を修得した3年生の履修も認める。

別表第2

歴史学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
—	学域GS科目	—	8		学類共通 参照
—	学域GS言語科目	—	2		
—	人文学基盤科目	—	14		
—	卒論関係	—	10		
基礎講義 (概説科目)	21301	歴史学入門	1	1	1～4年
	41552	日本古代中世史概説A 1	1		2～4年
	41553	日本古代中世史概説A 2	1		2～4年
	41554	日本古代中世史概説B 1	1		2～4年
	41555	日本古代中世史概説B 2	1		2～4年
	41556	日本近世近代史概説A 1	1		2～4年
	41557	日本近世近代史概説A 2	1		2～4年
	41558	日本近世近代史概説B 1	1		2～4年
	41559	日本近世近代史概説B 2	1		2～4年
	41628	中国史概説1	1		2～4年
	41629	中国史概説2	1		2～4年
	41630	東アジア史概説A 1	1		2～4年
	41631	東アジア史概説A 2	1		2～4年
	41632	東アジア史概説B 1	1		2～4年
	41633	東アジア史概説B 2	1		2～4年
	42790	地中海世界史概説	2		1～4年
	41745	西洋中世史概説A	1		1～4年
	41746	西洋中世史概説B	1		1～4年
	41747	西洋近代史概説A	1		1～4年
	41748	西洋近代史概説B	1		1～4年
	21209	考古学概説A	1		1～4年
21210	考古学概説B	1		1～4年	
			10以上		
発展講義 (特殊講義科目)	41560	日本古代史特殊講義A	1		2～4年
	41561	日本古代史特殊講義B	1		2～4年
	41562	奈良平安時代史特殊講義A	1		2～4年
	41563	奈良平安時代史特殊講義B	1		2～4年
	41564	日本中世地域史特殊講義A	1		2～4年
	41565	日本中世地域史特殊講義B	1		2～4年
	41566	日本中世寺院史特殊講義A	1		2～4年
	41567	日本中世寺院史特殊講義B	1		2～4年
	41568	日本近世政治史特殊講義A	1		2～4年
	41569	日本近世政治史特殊講義B	1		2～4年
	41570	日本近世社会史特殊講義A	1		2～4年
	41571	日本近世社会史特殊講義B	1		2～4年
	41572	日本近代都市史特殊講義A	1		2～4年
	41573	日本近代都市史特殊講義B	1		2～4年
	41574	日本現代都市史特殊講義A	1		2～4年
	41575	日本現代都市史特殊講義B	1		2～4年
	41584	日本史特殊講義A 1	1		2～4年
	41585	日本史特殊講義A 2	1		2～4年
41586	日本史特殊講義B 1	1		2～4年	
41587	日本史特殊講義B 2	1		2～4年	
41602	中国秦漢時代史特殊講義	2		2～4年	
41603	中国唐宋時代史特殊講義	2		2～4年	
41604	中国明清時代史特殊講義	2		2～4年	
			6以上		

歴史学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
プログラム指定の専門科目	41606	東アジア政治制度史特殊講義	2		2～4年
	41607	東アジア社会経済史特殊講義	2		2～4年
	42791	地中海世界政治史特殊講義	2		2～4年
	42792	地中海世界社会史特殊講義	2		2～4年
	42793	地中海世界国際関係史特殊講義	2		2～4年
	41755	西洋中世都市史特殊講義A	1		2～4年
	41756	西洋中世都市史特殊講義B	1		2～4年
	41757	西洋中世国制史特殊講義A	1		2～4年
	41758	西洋中世国制史特殊講義B	1		2～4年
	41759	西洋中世社会史特殊講義A	1		2～4年
	41760	西洋中世社会史特殊講義B	1		2～4年
	41765	西洋近代文化表象史特殊講義A	1		2～4年
	41766	西洋近代文化表象史特殊講義B	1		2～4年
	41588	日本古代政治史演習A 1	1		2～4年
41589	日本古代政治史演習A 2	1		2～4年	
41590	日本古代政治史演習B 1	1		2～4年	
41591	日本古代政治史演習B 2	1		2～4年	
41592	日本古代史料演習A 1	1		2～4年	
41593	日本古代史料演習A 2	1		2～4年	
41594	日本古代史料演習B 1	1		2～4年	
41595	日本古代史料演習B 2	1		2～4年	
41596	奈良平安時代史演習A 1	1		2～4年	
41597	奈良平安時代史演習A 2	1		2～4年	
41598	奈良平安時代史演習B 1	1		2～4年	
41599	奈良平安時代史演習B 2	1		2～4年	
42750	日本中世地域史演習A 1	1		2～4年	
42751	日本中世地域史演習A 2	1		2～4年	
42752	日本中世地域史演習B 1	1		2～4年	
42753	日本中世地域史演習B 2	1		2～4年	
42754	日本中世寺院史演習A 1	1		2～4年	
42755	日本中世寺院史演習A 2	1		2～4年	
42756	日本中世寺院史演習B 1	1		2～4年	
42757	日本中世寺院史演習B 2	1		2～4年	
42758	室町戦国時代史演習A 1	1		2～4年	
42759	室町戦国時代史演習A 2	1		2～4年	
42760	室町戦国時代史演習B 1	1		2～4年	
42761	室町戦国時代史演習B 2	1		2～4年	
42762	日本近世前期史演習A 1	1		2～4年	
42763	日本近世前期史演習A 2	1		2～4年	
42764	日本近世前期史演習B 1	1		2～4年	
42765	日本近世前期史演習B 2	1		2～4年	
42766	日本近世中期史演習A 1	1		2～4年	
42767	日本近世中期史演習A 2	1		2～4年	
42768	日本近世中期史演習B 1	1		2～4年	
42769	日本近世中期史演習B 2	1		2～4年	
42770	日本近世後期史演習A 1	1		2～4年	
42771	日本近世後期史演習A 2	1		2～4年	
42772	日本近世後期史演習B 1	1		2～4年	
42773	日本近世後期史演習B 2	1		2～4年	

歴史学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
演習科目	42774	日本近代史演習A 1	1		2~4年
	42775	日本近代史演習A 2	1		2~4年
	42776	日本近代史演習B 1	1		2~4年
	42777	日本近代史演習B 2	1		2~4年
	42778	日本現代史演習A 1	1		2~4年
	42779	日本現代史演習A 2	1		2~4年
	42780	日本現代史演習B 1	1		2~4年
	42781	日本現代史演習B 2	1		2~4年
	42782	日本近現代史演習A 1	1		2~4年
	42783	日本近現代史演習A 2	1		2~4年
	42784	日本近現代史演習B 1	1		2~4年
	42785	日本近現代史演習B 2	1		2~4年
	41634	中国秦漢時代史演習A 1	1		2~4年
	41635	中国秦漢時代史演習A 2	1		2~4年
	41636	中国唐宋時代史演習A 1	1		2~4年
	41637	中国唐宋時代史演習A 2	1		2~4年
	41638	中国明清時代史演習A 1	1		2~4年
	41639	中国明清時代史演習A 2	1		2~4年
	41640	中国秦漢時代史演習B 1	1		3~4年
	41641	中国秦漢時代史演習B 2	1		3~4年
	41642	中国唐宋時代史演習B 1	1		3~4年
	41643	中国唐宋時代史演習B 2	1		3~4年
	41644	中国明清時代史演習B 1	1		3~4年
	41645	中国明清時代史演習B 2	1		3~4年
	41646	東アジア政治制度史演習A 1	1		2~4年
	41647	東アジア政治制度史演習A 2	1		2~4年
	41648	東アジア社会経済史演習A 1	1		2~4年
	41649	東アジア社会経済史演習A 2	1		2~4年
	41650	東アジア政治制度史演習B 1	1		3~4年
	41651	東アジア政治制度史演習B 2	1		3~4年
	41652	東アジア社会経済史演習B 1	1		3~4年
	41653	東アジア社会経済史演習B 2	1		3~4年
	42786	東洋史学研究法基礎演習A	1		3~4年
	42787	東洋史学研究法基礎演習B	1		3~4年
	42788	東洋史学研究法展開演習A	1		3~4年
	42789	東洋史学研究法展開演習B	1		3~4年
	42794	地中海世界政治史演習	2		2~4年
	42795	地中海世界社会史演習	2		2~4年
	42796	地中海世界国際関係史演習	2		2~4年
	41773	西洋中世都市史演習A	1		2~4年
	41774	西洋中世都市史演習B	1		2~4年
	41775	西洋中世国制史演習A	1		2~4年
41776	西洋中世国制史演習B	1		2~4年	
41777	西洋中世社会史演習A	1		2~4年	
41778	西洋中世社会史演習B	1		2~4年	
41779	西洋近代国際関係史演習A	1		2~4年	
41780	西洋近代国際関係史演習B	1		2~4年	
41781	西洋近代政治文化史演習A	1		2~4年	
41782	西洋近代政治文化史演習B	1		2~4年	

歴史学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
実習科目	41783	西洋近代文化表象史演習A	1		2～4年
	41784	西洋近代文化表象史演習B	1		2～4年
	41578	日本史学実習A 1	1		2～4年
	41579	日本史学実習A 2	1		2～4年
	41580	日本史学実習B 1	1		2～4年
	41581	日本史学実習B 2	1		2～4年
	41656	東洋史学基礎実習A	1		2～4年
	41657	東洋史学基礎実習B	1		2～4年
	41658	東洋史学展開実習A	1		2～4年
	41659	東洋史学展開実習B	1		2～4年
	42797	西洋史学実習A 1	1		3～4年
	42798	西洋史学実習A 2	1		3～4年
	42799	西洋史学実習B 1	1		3～4年
	42800	西洋史学実習B 2	1		3～4年
	プログラム指定の専門科目 小計			33	
選択科目 ※1			21		
合計			88		

本表は、令和3年度入学者から適応する。

※1 選択科目には、以下の単位が含まれる。

- ①学域GS科目で8単位を超えて修得した単位
- ②学域GS言語科目で2単位を超えて修得した単位（上限2単位）
- ③選択したプログラムの授業科目で卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
- ④人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
- ⑤他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限24単位）

別表第 2

日本・中国言語文化学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
—	学域GS科目	—	8		学類共通 参照
—	学域GS言語科目	—	2		
—	人文学基盤科目	—	14		
—	卒論関係	—	10		
基礎講義	21420	日本語学概説 1	1		2～4年
	21421	日本語学概説 2	1		2～4年
	21422	日本の古典と古典学 1	1		2～4年
	21423	日本の古典と古典学 2	1		2～4年
	42801	日本の近代文学 1	1		2～4年
	42802	日本の近代文学 2	1		2～4年
	42803	日本の現代文学 1	1		2～4年
	42804	日本の現代文学 2	1		2～4年
	21426	漢文学概説 1	1		2～4年
	21427	漢文学概説 2	1		2～4年
	21424	中国語学概説 A 1	1		2～4年
	21425	中国語学概説 A 2	1		2～4年
	42068	中国語学概説 B 1	1		2～4年
	42069	中国語学概説 B 2	1		2～4年
	42072	中国文学概説 1	1		2～4年
	42073	中国文学概説 2	1		2～4年
	21428	英語学概説 A 1	1		2～4年
	21429	英語学概説 A 2	1		2～4年
	21442	英語学概説 B 1	1		2～4年
	21443	英語学概説 B 2	1		2～4年
	21430	英米文学史 A 1	1		2～4年
	21431	英米文学史 A 2	1		2～4年
	42853	英米文学史 B 1	1		2～4年
	42854	英米文学史 B 2	1		2～4年
	21432	ドイツ語学概説 A 1	1		2～4年
	21433	ドイツ語学概説 A 2	1		2～4年
	21444	ドイツ語学概説 B 1	1		2～4年
	21445	ドイツ語学概説 B 2	1		2～4年
	21434	ドイツ文学史 A 1	1		2～4年
	21435	ドイツ文学史 A 2	1		2～4年
	42901	ドイツ文学史 B 1	1		2～4年
	42902	ドイツ文学史 B 2	1		2～4年
	21436	フランス語学概説 A 1	1		2～4年
	21437	フランス語学概説 A 2	1		2～4年
	21446	フランス語学概説 B 1	1		2～4年
	21447	フランス語学概説 B 2	1		2～4年
	42951	フランス文学史 A 1	1		2～4年
	42952	フランス文学史 A 2	1		2～4年
	42953	フランス文学史 B 1	1		2～4年
	42954	フランス文学史 B 2	1		2～4年
	21438	言語学概論 A	1		2～4年
21439	言語学概論 B	1		2～4年	
21440	言語学概論 C	1		2～4年	
21441	言語学概論 D	1		2～4年	

日本・中国言語文化学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
発展講義 プログラム指定の専門科目	41973	日本語の歴史 1	1		2～4年
	41974	日本語の歴史 2	1		2～4年
	41976	日本語学講義 2	1		2～4年
	42836	日本古典文学史講義	1		2～4年
	42837	日本近代文学史講義	1		2～4年
	42838	日本現代文学史講義	1		2～4年
	42805	日本古典文学研究法	1		2～4年
	42806	日本近代文学研究法	1		2～4年
	42807	日本現代文学研究法	1		2～4年
	42808	日本文芸思潮講義	1		2～4年
	42809	日本古典比較文学講義	1		2～4年
	42810	日本近代比較文学講義	1		2～4年
	42811	日本現代比較文学講義	1		2～4年
	42080	漢文学史A 1	1		2～4年
	42081	漢文学史A 2	1		2～4年
	42082	漢文学史B 1	1		2～4年
	42083	漢文学史B 2	1		2～4年
	42070	中国語学研究 1	1		2～4年
	42071	中国語学研究 2	1		2～4年
	42078	中国文学研究 1	1		2～4年
	42079	中国文学研究 2	1		2～4年
	42074	中国文学史A 1	1		2～4年
	42075	中国文学史A 2	1		2～4年
	42076	中国文学史B 1	1		2～4年
	42077	中国文学史B 2	1		2～4年
	42058	中国語文献読解基礎A 1	1		2～4年
	42059	中国語文献読解基礎A 2	1		2～4年
	42060	中国語文献読解基礎B 1	1		2～4年
	42061	中国語文献読解基礎B 2	1		2～4年
	42040	中国の文化と社会C 1	1		2～4年
	42041	中国の文化と社会C 2	1		2～4年
	42066	中国の文化と社会E 1	1		2～4年
	42067	中国の文化と社会E 2	1		2～4年
	42859	英米文学特殊講義A 1	1		2～4年
	42860	英米文学特殊講義A 2	1		2～4年
	42861	英米文学特殊講義B 1	1		2～4年
	42862	英米文学特殊講義B 2	1		2～4年
	42863	英語圏文学特殊講義 1	1		2～4年
	42864	英語圏文学特殊講義 2	1		2～4年
	42366	ドイツ文学講義A 2	1		2～4年
	42368	ドイツ文学講義B 2	1		2～4年
42370	ドイツ文学講義C 2	1		2～4年	
42372	ドイツ文学講義D 2	1		2～4年	
42458	フランス文学特殊講義A 1	1		2～4年	
42459	フランス文学特殊講義A 2	1		2～4年	
42460	フランス文学特殊講義B 1	1		2～4年	
42461	フランス文学特殊講義B 2	1		2～4年	

10

日本・中国言語文化学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
基礎演習・実習	42812	日本語学演習A 1	1		2～4年
	42813	日本語学演習A 2	1		2～4年
	42814	日本語学演習B 1	1		2～4年
	42815	日本語学演習B 2	1		2～4年
	42818	日本古典文学演習A 1	1		2～4年
	42819	日本古典文学演習A 2	1		2～4年
	42820	日本古典文学演習B 1	1		2～4年
	42821	日本古典文学演習B 2	1		2～4年
	42824	日本近代文学演習A 1	1		2～4年
	42825	日本近代文学演習A 2	1		2～4年
	42830	日本現代文学演習A 1	1		2～4年
	42831	日本現代文学演習A 2	1		2～4年
	42084	中国語コミュニケーション初級1	1		2～4年
	42085	中国語コミュニケーション初級2	1		2～4年
	42086	中国語コミュニケーション初級3	1		2～4年
	42087	中国語コミュニケーション初級4	1		2～4年
	42088	中国語コミュニケーション初級5	1		2～4年
	42089	中国語コミュニケーション初級6	1		2～4年
	42090	中国語コミュニケーション初級7	1		2～4年
	42091	中国語コミュニケーション初級8	1		2～4年
	42050	中国語表現法A 1	1		2～4年
	42051	中国語表現法A 2	1		2～4年
	42052	中国語表現法B 1	1		2～4年
	42053	中国語表現法B 2	1		2～4年
	42054	現代中国時事文A 1	1		2～4年
	42055	現代中国時事文A 2	1		2～4年
	42056	現代中国時事文B 1	1		2～4年
	42057	現代中国時事文B 2	1		2～4年
	42871	英語圏文学演習A 1	1		2～4年
	42872	英語圏文学演習A 2	1		2～4年
	42873	英米文学演習A 1	1		2～4年
	42874	英米文学演習A 2	1		2～4年
	42217	英米文学演習B 1	1		2～4年
	42218	英米文学演習B 2	1		2～4年
	42375	ドイツ文学演習A 1	1		2～4年
	42377	ドイツ文学演習B 1	1		2～4年
	42379	ドイツ文学演習C 1	1		2～4年
	42381	ドイツ文学演習D 1	1		2～4年
	42955	フランス文学分析演習A 1	1		2～4年
	42956	フランス文学分析演習A 2	1		2～4年
	42957	フランス文学演習A 1	1		2～4年
	42958	フランス文学演習A 2	1		2～4年
42816	日本語学演習C 1	1		2～4年	
42817	日本語学演習C 2	1		2～4年	
42822	日本古典文学演習C 1	1		2～4年	
42823	日本古典文学演習C 2	1		2～4年	
42826	日本近代文学演習B 1	1		2～4年	
42827	日本近代文学演習B 2	1		2～4年	

8

日本・中国言語文化学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
発展演習・実習	42828	日本近代文学演習C 1	1		2～4年
	42829	日本近代文学演習C 2	1		2～4年
	42832	日本現代文学演習B 1	1		2～4年
	42833	日本現代文学演習B 2	1		2～4年
	42834	日本現代文学演習C 1	1		2～4年
	42835	日本現代文学演習C 2	1		2～4年
	42092	中国語学演習A 1	1		2～4年
	42093	中国語学演習A 2	1		2～4年
	42094	中国語学演習B 1	1		2～4年
	42095	中国語学演習B 2	1		2～4年
	42062	中国語学テーマ別演習A	1		2～4年
	42063	中国語学テーマ別演習B	1		2～4年
	42096	中国文学演習A 1	1		2～4年
	42097	中国文学演習A 2	1		2～4年
	42098	中国文学演習B 1	1		2～4年
	42099	中国文学演習B 2	1		2～4年
	42064	中国文学テーマ別演習A	1		2～4年
	42065	中国文学テーマ別演習B	1		2～4年
	42252	英語圏文学演習B 1	1		2～4年
	42253	英語圏文学演習B 2	1		2～4年
	42254	英語圏文学演習C 1	1		2～4年
	42255	英語圏文学演習C 2	1		2～4年
	42376	ドイツ文学演習A 2	1		2～4年
	42378	ドイツ文学演習B 2	1		2～4年
	42380	ドイツ文学演習C 2	1		2～4年
	42382	ドイツ文学演習D 2	1		2～4年
	42981	フランス文学分析演習B 1	1		2～4年
	42982	フランス文学分析演習B 2	1		2～4年
	42985	フランス文学演習B 1	1		2～4年
	42986	フランス文学演習B 2	1		2～4年
プログラム指定の専門科目 小計			34		
選択科目 ※1			20		
合計			88		

本表は、令和3年度入学者から適応する。

※1 選択科目には、以下の単位が含まれる。

- ①学域GS科目で8単位を超えて修得した単位
- ②学域GS言語科目で2単位を超えて修得した単位（上限2単位）
- ③選択したプログラムの授業科目で卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
- ④人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
- ⑤他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限24単位）

別表第2

欧米言語文化学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
—	学域GS科目	—	8		学類共通 参照
—	学域GS言語科目	—	2		
—	人文学基盤科目	—	14		
—	卒論関係	—	10		
基礎 講義	21428	英語学概説A 1	1		2～4年
	21429	英語学概説A 2	1		2～4年
	21442	英語学概説B 1	1		2～4年
	21443	英語学概説B 2	1		2～4年
	42264	英語学総論 1	1		2～4年
	42265	英語学総論 2	1		2～4年
	42851	英文法講義A 1	1		2～4年
	42852	英文法講義A 2	1		2～4年
	42201	英文法講義B 1	1		2～4年
	42202	英文法講義B 2	1		2～4年
	21432	ドイツ語学概説A 1	1		2～4年
	21433	ドイツ語学概説A 2	1		2～4年
	21444	ドイツ語学概説B 1	1		2～4年
	21445	ドイツ語学概説B 2	1		2～4年
	42353	ドイツ語学講義A 1	1		2～4年
	42355	ドイツ語学講義B 1	1		2～4年
	42357	ドイツ語学講義C 1	1		2～4年
	21436	フランス語学概説A 1	1		2～4年
	21437	フランス語学概説A 2	1		2～4年
	21446	フランス語学概説B 1	1		2～4年
	21447	フランス語学概説B 2	1		2～4年
	21430	英米文学史A 1	1		2～4年
	21431	英米文学史A 2	1		2～4年
	42853	英米文学史B 1	1		2～4年
	42854	英米文学史B 2	1		2～4年
	42855	北米文化論 1	1		2～4年
	42856	北米文化論 2	1		2～4年
	21434	ドイツ文学史A 1	1		2～4年
	21435	ドイツ文学史A 2	1		2～4年
	42901	ドイツ文学史B 1	1		2～4年
	42902	ドイツ文学史B 2	1		2～4年
	42365	ドイツ文学講義A 1	1		2～4年
	42367	ドイツ文学講義B 1	1		2～4年
	42369	ドイツ文学講義C 1	1		2～4年
	42371	ドイツ文学講義D 1	1		2～4年
	42951	フランス文学史A 1	1		2～4年
	42952	フランス文学史A 2	1		2～4年
	42953	フランス文学史B 1	1		2～4年
	42954	フランス文学史B 2	1		2～4年
	21438	言語学概論A	1		2～4年
21439	言語学概論B	1		2～4年	
21440	言語学概論C	1		2～4年	
21441	言語学概論D	1		2～4年	
42801	日本の近代文学 1	1		2～4年	
42802	日本の近代文学 2	1		2～4年	
42803	日本の現代文学 1	1		2～4年	
42804	日本の現代文学 2	1		2～4年	

欧米言語文化学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
21426	漢文学概説1	1			2~4年
21427	漢文学概説2	1			2~4年
42072	中国文学概説1	1			2~4年
42073	中国文学概説2	1			2~4年
42857	英語学講義A 1	1			2~4年
42858	英語学講義A 2	1			2~4年
42199	英語学講義B 1	1			2~4年
42200	英語学講義B 2	1			2~4年
42859	英米文学特殊講義A 1	1			2~4年
42860	英米文学特殊講義A 2	1			2~4年
42861	英米文学特殊講義B 1	1			2~4年
42862	英米文学特殊講義B 2	1			2~4年
42863	英語圏文学特殊講義1	1			2~4年
42864	英語圏文学特殊講義2	1			2~4年
42256	英米言語文化概説A 1	1			2~4年
42257	英米言語文化概説A 2	1			2~4年
42258	英米言語文化概説B 1	1			2~4年
42259	英米言語文化概説B 2	1			2~4年
42354	ドイツ語学講義A 2	1			2~4年
42356	ドイツ語学講義B 2	1			2~4年
42358	ドイツ語学講義C 2	1			2~4年
42366	ドイツ文学講義A 2	1			2~4年
42368	ドイツ文学講義B 2	1			2~4年
42370	ドイツ文学講義C 2	1			2~4年
42372	ドイツ文学講義D 2	1			2~4年
42458	フランス文学特殊講義A 1	1			2~4年
42459	フランス文学特殊講義A 2	1			2~4年
42460	フランス文学特殊講義B 1	1			2~4年
42461	フランス文学特殊講義B 2	1			2~4年
42837	日本近代文学史講義	1			2~4年
42838	日本現代文学史講義	1			2~4年
42806	日本近代文学研究法	1			2~4年
42807	日本現代文学研究法	1			2~4年
42808	日本文芸思潮講義	1			2~4年
42810	日本近代比較文学講義	1			2~4年
42811	日本現代比較文学講義	1			2~4年
42080	漢文学史A 1	1			2~4年
42081	漢文学史A 2	1			2~4年
42082	漢文学史B 1	1			2~4年
42083	漢文学史B 2	1			2~4年
42078	中国文学研究1	1			2~4年
42079	中国文学研究2	1			2~4年
42074	中国文学史A 1	1			2~4年
42075	中国文学史A 2	1			2~4年
42076	中国文学史B 1	1			2~4年
42077	中国文学史B 2	1			2~4年
42058	中国語文獻読解基礎A 1	1			2~4年
42059	中国語文獻読解基礎A 2	1			2~4年
42060	中国語文獻読解基礎B 1	1			2~4年
42061	中国語文獻読解基礎B 2	1			2~4年
42865	英文法研究A 1	1			2~4年
42866	英文法研究A 2	1			2~4年
42221	英文法研究B 1	1			2~4年
42222	英文法研究B 2	1			2~4年

発展講義

6

欧米言語文化学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
42223	英語学理論研究 1	1			2~4年
42224	英語学理論研究 2	1			2~4年
42867	英語認知論 A 1	1			2~4年
42868	英語認知論 A 2	1			2~4年
42225	英語認知論 B 1	1			2~4年
42226	英語認知論 B 2	1			2~4年
42869	英語学基礎演習 1	1			2~4年
42870	英語学基礎演習 2	1			2~4年
42359	ドイツ語学演習 A 1	1			2~4年
42361	ドイツ語学演習 B 1	1			2~4年
42363	ドイツ語学演習 C 1	1			2~4年
42871	英語圏文学演習 A 1	1			2~4年
42872	英語圏文学演習 A 2	1			2~4年
42873	英米文学演習 A 1	1			2~4年
42874	英米文学演習 A 2	1			2~4年
42217	英米文学演習 B 1	1			2~4年
42218	英米文学演習 B 2	1			2~4年
42375	ドイツ文学演習 A 1	1			2~4年
42377	ドイツ文学演習 B 1	1			2~4年
42379	ドイツ文学演習 C 1	1			2~4年
42381	ドイツ文学演習 D 1	1			2~4年
42955	フランス文学分析演習 A 1	1			2~4年
42956	フランス文学分析演習 A 2	1			2~4年
42957	フランス文学演習 A 1	1			2~4年
42958	フランス文学演習 A 2	1			2~4年
42478	フランス語作文表現法 (基礎) 1	1			2~4年
42479	フランス語作文表現法 (基礎) 2	1			2~4年
42480	フランス語作文表現法 (中級) A 1	1			3~4年
42481	フランス語作文表現法 (中級) A 2	1			3~4年
42482	フランス語作文表現法 (中級) B 1	1			3~4年
42483	フランス語作文表現法 (中級) B 2	1			3~4年
42260	英語表現法 A 1	1			2~4年
42261	英語表現法 A 2	1			2~4年
42262	英語表現法 B 1	1			2~4年
42263	英語表現法 B 2	1			2~4年
42875	英語プレゼンテーション 1	1			2~4年
42876	英語プレゼンテーション 2	1			2~4年
42877	英語コミュニケーション 1	1			2~4年
42878	英語コミュニケーション 2	1			2~4年
42337	ドイツ語読解基礎 1	1			2~4年
42338	ドイツ語読解基礎 2	1			2~4年
42904	ドイツ語コミュニケーション初級 1	1			2~4年
42905	ドイツ語コミュニケーション初級 2	1			2~4年
42906	ドイツ語コミュニケーション初級 3	1			2~4年
42907	ドイツ語コミュニケーション初級 4	1			2~4年
42908	ドイツ語コミュニケーション初級 5	1			2~4年
42909	ドイツ語コミュニケーション初級 6	1			2~4年
42910	ドイツ語コミュニケーション中級 1	1			3~4年
42911	ドイツ語コミュニケーション中級 2	1			3~4年
42912	ドイツ語コミュニケーション中級 3	1			3~4年
42913	ドイツ語コミュニケーション中級 4	1			3~4年
42914	ドイツ語コミュニケーション中級 5	1			3~4年
42915	ドイツ語コミュニケーション中級 6	1			3~4年
42351	ドイツ語表現法 1	1			3~4年
42352	ドイツ語表現法 2	1			3~4年

プログラム指定の専門科目

基礎演習・コミュニケーション科目

16

欧米言語文化学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
42959	フランス語文法演習A 1	1			2~4年
42960	フランス語文法演習A 2	1			2~4年
42961	フランス語学演習A 1	1			2~4年
42962	フランス語学演習A 2	1			2~4年
42963	フランス語コミュニケーション初級1	1			2~4年
42964	フランス語コミュニケーション初級2	1			2~4年
42965	フランス語コミュニケーション初級3	1			2~4年
42966	フランス語コミュニケーション初級4	1			2~4年
42967	フランス語コミュニケーション初級5	1			2~4年
42968	フランス語コミュニケーション初級6	1			2~4年
42969	フランス語コミュニケーション初級7	1			2~4年
42970	フランス語コミュニケーション初級8	1			2~4年
42971	フランス語コミュニケーション中級1	1			3~4年
42972	フランス語コミュニケーション中級2	1			3~4年
42973	フランス語コミュニケーション中級3	1			3~4年
42974	フランス語コミュニケーション中級4	1			3~4年
42975	フランス語コミュニケーション中級5	1			3~4年
42976	フランス語コミュニケーション中級6	1			3~4年
42977	フランス語コミュニケーション中級7	1			3~4年
42978	フランス語コミュニケーション中級8	1			3~4年
42824	日本近代文学演習A 1	1			2~4年
42825	日本近代文学演習A 2	1			2~4年
42830	日本現代文学演習A 1	1			2~4年
42831	日本現代文学演習A 2	1			2~4年
42879	英語学理論演習A 1	1			2~4年
42880	英語学理論演習A 2	1			2~4年
42219	英語学理論演習B 1	1			2~4年
42220	英語学理論演習B 2	1			2~4年
42252	英語圏文学演習B 1	1			2~4年
42253	英語圏文学演習B 2	1			2~4年
42254	英語圏文学演習C 1	1			2~4年
42255	英語圏文学演習C 2	1			2~4年
42881	英米文化研究A 1	1			2~4年
42882	英米文化研究A 2	1			2~4年
42230	英米文化研究B 1	1			2~4年
42231	英米文化研究B 2	1			2~4年
42883	英語圏広域文化研究1	1			2~4年
42884	英語圏広域文化研究2	1			2~4年
42233	英米文化動態論1	1			2~4年
42234	英米文化動態論2	1			2~4年
42235	英米文化基礎論1	1			2~4年
42236	英米文化基礎論2	1			2~4年
42238	英米言語文化演習1	1			2~4年
42239	英米言語文化演習2	1			2~4年
42360	ドイツ語学演習A 2	1			2~4年
42362	ドイツ語学演習B 2	1			2~4年
42364	ドイツ語学演習C 2	1			2~4年
42376	ドイツ文学演習A 2	1			2~4年
42378	ドイツ文学演習B 2	1			2~4年
42380	ドイツ文学演習C 2	1			2~4年
42382	ドイツ文学演習D 2	1			2~4年
42979	フランス語文法演習B 1	1			2~4年
42980	フランス語文法演習B 2	1			2~4年
42981	フランス文学分析演習B 1	1			2~4年
42982	フランス文学分析演習B 2	1			2~4年

発展演習

6

欧米言語文化学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
42983	フランス語学演習 B 1	1			2～4年
42984	フランス語学演習 B 2	1			2～4年
42985	フランス文学演習 B 1	1			2～4年
42986	フランス文学演習 B 2	1			2～4年
42826	日本近代文学演習 B 1	1			2～4年
42827	日本近代文学演習 B 2	1			2～4年
42828	日本近代文学演習 C 1	1			2～4年
42829	日本近代文学演習 C 2	1			2～4年
42832	日本現代文学演習 B 1	1			2～4年
42833	日本現代文学演習 B 2	1			2～4年
42834	日本現代文学演習 C 1	1			2～4年
42835	日本現代文学演習 C 2	1			2～4年
42096	中国文学演習 A 1	1			2～4年
42097	中国文学演習 A 2	1			2～4年
42098	中国文学演習 B 1	1			2～4年
42099	中国文学演習 B 2	1			2～4年
42064	中国文学テーマ別演習 A	1			2～4年
42065	中国文学テーマ別演習 B	1			2～4年
プログラム指定の専門科目 小計				36	
選択科目 ※1				18	
合計				88	

本表は、令和3年度入学者から適応する。

※1 選択科目には、以下の単位が含まれる。

- ①学域GS科目で8単位を超えて修得した単位
- ②学域GS言語科目で2単位を超えて修得した単位（上限2単位）
- ③所属するプログラムの授業科目で卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
- ④人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
- ⑤他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限24単位）

別表第 2

言語科学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
—	学域GS科目	—	8		学類共通 参照
—	学域GS言語科目	—	2		
—	人文学基盤科目	—	14		
—	卒論関係	—	10		
基礎講義	21438	言語学概論A	1	1	2~4年
	21439	言語学概論B	1	1	2~4年
	21440	言語学概論C	1	1	2~4年
	21441	言語学概論D	1	1	2~4年
	42538	音声学1	1	1	2~4年
	42539	音声学2	1	1	2~4年
	42540	音声学3	1	1	2~4年
	42541	音声学4	1	1	2~4年
	42534	言語と認知A1	1		2~4年
	42535	言語と認知A2	1		2~4年
	21420	日本語学概説1	1		2~4年
	21421	日本語学概説2	1		2~4年
	21424	中国語学概説A1	1		2~4年
	21425	中国語学概説A2	1		2~4年
	42068	中国語学概説B1	1		2~4年
	42069	中国語学概説B2	1		2~4年
	21428	英語学概説A1	1		2~4年
	21429	英語学概説A2	1		2~4年
	21442	英語学概説B1	1		2~4年
	21443	英語学概説B2	1		2~4年
	42264	英語学総論1	1		2~4年
	42265	英語学総論2	1		2~4年
	42851	英文法講義A1	1		2~4年
	42852	英文法講義A2	1		2~4年
	42201	英文法講義B1	1		2~4年
	42202	英文法講義B2	1		2~4年
	21432	ドイツ語学概説A1	1		2~4年
	21433	ドイツ語学概説A2	1		2~4年
	21444	ドイツ語学概説 B1	1		2~4年
	21445	ドイツ語学概説 B2	1		2~4年
	42353	ドイツ語学講義 A1	1		2~4年
	42355	ドイツ語学講義 B1	1		2~4年
	42357	ドイツ語学講義 C1	1		2~4年
	21436	フランス語学概説 A1	1		2~4年
	21437	フランス語学概説 A2	1		2~4年
	21446	フランス語学概説 B1	1		2~4年
	21447	フランス語学概説 B2	1		2~4年
	42637	心理学概論A	1		2~4年
	42638	心理学概論B	1		2~4年
	42641	心理学統計法1A	1		2~4年
42642	心理学統計法1B	1		2~4年	
42643	心理学統計法2A	1		2~4年	
42644	心理学統計法2B	1		2~4年	
42530	歴史言語学1	1		2~4年	
42531	歴史言語学2	1		2~4年	
42532	社会言語学1	1		2~4年	
42533	社会言語学2	1		2~4年	

言語科学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	
			必修	選択必修		
発展講義	42536	言語と認知B 1	1		6	2~4年
	42537	言語と認知B 2	1			2~4年
	41973	日本語の歴史 1	1			2~4年
	41974	日本語の歴史 2	1			2~4年
	41976	日本語学講義 2	1			2~4年
	42070	中国語学研究 1	1			2~4年
	42071	中国語学研究 2	1			2~4年
	42857	英語学講義 A 1	1			2~4年
	42858	英語学講義 A 2	1			2~4年
	42199	英語学講義 B 1	1			2~4年
	42200	英語学講義 B 2	1			2~4年
	42354	ドイツ語学講義 A 2	1			2~4年
	42356	ドイツ語学講義 B 2	1			2~4年
	42358	ドイツ語学講義 C 2	1			2~4年
	42619	神経・生理心理学 A	1			2~4年
	42620	神経・生理心理学 B	1			2~4年
基礎演習・実習	42572	言語学基礎演習 A 1	1		8	2~4年
	42573	言語学基礎演習 A 2	1			2~4年
	42574	言語学基礎演習 B 1	1			2~4年
	42575	言語学基礎演習 B 2	1			2~4年
	42576	言語学基礎演習 C 1	1			2~4年
	42577	言語学基礎演習 C 2	1			2~4年
	42568	フィールド言語学 1	1	1		2~4年
	42569	フィールド言語学 2	1	1		2~4年
	42812	日本語学演習 A 1	1			2~4年
	42813	日本語学演習 A 2	1			2~4年
	42814	日本語学演習 B 1	1			2~4年
	42815	日本語学演習 B 2	1			2~4年
	42865	英文法研究 A 1	1			2~4年
	42866	英文法研究 A 2	1			2~4年
	42221	英文法研究 B 1	1			2~4年
	42222	英文法研究 B 2	1			2~4年
	42223	英語学理論研究 1	1			2~4年
	42224	英語学理論研究 2	1			2~4年
	42867	英語認知論 A 1	1			2~4年
	42868	英語認知論 A 2	1			2~4年
	42225	英語認知論 B 1	1			2~4年
	42226	英語認知論 B 2	1			2~4年
	42869	英語学基礎演習 1	1			2~4年
	42870	英語学基礎演習 2	1			2~4年
	42359	ドイツ語学演習 A 1	1			2~4年
	42361	ドイツ語学演習 B 1	1			2~4年
	42363	ドイツ語学演習 C 1	1			2~4年
	42959	フランス語文法演習 A 1	1			2~4年
	42960	フランス語文法演習 A 2	1			2~4年
	42961	フランス語学演習 A 1	1			2~4年
	42962	フランス語学演習 A 2	1			2~4年
	42645	心理学実験 1 A	1			2~4年
42646	心理学実験 1 B	1		2~4年		
42542	個別言語演習 A 1	1		2~4年		
42543	個別言語演習 A 2	1		2~4年		
42544	個別言語演習 A 3	1		2~4年		
42545	個別言語演習 A 4	1		2~4年		

言語科学プログラム

科目番号	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
発展演習・実習	42546	個別言語演習B 1	1		2～4年
	42547	個別言語演習B 2	1		2～4年
	42548	個別言語演習B 3	1		2～4年
	42549	個別言語演習B 4	1		2～4年
	42550	個別言語演習C 1	1		2～4年
	42551	個別言語演習C 2	1		2～4年
	42552	個別言語演習C 3	1		2～4年
	42553	個別言語演習C 4	1		2～4年
	42578	言語学発展演習A 1	1		2～4年
	42579	言語学発展演習A 2	1		2～4年
	42580	言語学発展演習B 1	1		2～4年
	42581	言語学発展演習B 2	1		2～4年
	42582	言語学発展演習C 1	1		2～4年
	42583	言語学発展演習C 2	1		2～4年
	42584	言語学実習A 1	1	1	3～4年
	42585	言語学実習A 2	1	1	3～4年
	42586	言語学実習B 1	1	1	2～4年
	42587	言語学実習B 2	1	1	2～4年
	42816	日本語学演習C 1	1		2～4年
	42817	日本語学演習C 2	1		2～4年
	42092	中国語学演習A 1	1		2～4年
	42093	中国語学演習A 2	1		2～4年
	42062	中国語学テーマ別演習A	1		2～4年
	42063	中国語学テーマ別演習B	1		2～4年
	42879	英語学理論演習A 1	1		2～4年
	42880	英語学理論演習A 2	1		2～4年
	42219	英語学理論演習B 1	1		2～4年
	42220	英語学理論演習B 2	1		2～4年
	42360	ドイツ語学演習A 2	1		2～4年
	42362	ドイツ語学演習B 2	1		2～4年
	42364	ドイツ語学演習C 2	1		2～4年
	42979	フランス語文法演習B 1	1		2～4年
	42980	フランス語文法演習B 2	1		2～4年
	42983	フランス語学演習B 1	1		2～4年
	42984	フランス語学演習B 2	1		2～4年
	プログラム指定の専門科目 小計				36
選択科目 ※1				18	
合計				88	

本表は、令和3年度入学者から適応する。

※1 選択科目には、以下の単位が含まれる。

- ①学域GS科目で8単位を超えて修得した単位
- ②学域GS言語科目で2単位を超えて修得した単位（上限2単位）
- ③選択したプログラムの授業科目で卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
- ④人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
- ⑤他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限24単位）

非常時等における緊急登学停止措置に関する要項（抄）

この要項は、学生の安全・安心の確保及び非常時等における学修機会の確保を担保しつつ、円滑な教育の推進を目的に、暴風警報、大雨警報、大雪警報等及び各種特別警報（以下、「警報」という。）の発令や地震等の自然災害等による公共交通機関の運休並びに学内事故等で、授業及び試験（以下、「授業等」という。）の実施が困難となった場合の取扱いに関し、必要な事項を定める。

（登学停止措置）

1. 警報の発令や不測の事態が生じ、学生・職員（非常勤講師を含む。以下、同じ）の通学・通勤の著しい困難が予見される場合や授業の実施が困難となる恐れが高いと本学が判断する場合、危機管理担当理事は全学生を対象に「緊急登学停止」の措置（帰宅命令を含む。以下、「登学停止措置」という。）を発令することができる。

（対象とする事例）

2. 警報の発令等により、北陸鉄道バス「金沢大学路線（金沢駅～金沢大学間）」が運休又は運休の可能性が高いと判断する場合、危機管理担当理事は教育担当理事の要請に基づき、学生に「緊急登学停止」の措置を発令し、これを学長に報告する。

なお、発令に際し、危機管理担当理事は、関係理事と事前協議を行い、前日の15時までに登学停止措置発令の有無を決定するよう努める。

（授業欠席の配慮）

3. 前項に規定するもののほか、公共交通機関の運休・不通により学生が授業等を欠席した場合、授業担当教員は欠席による不利益を与えないよう配慮するものとする。

（授業の取扱い）

4. 登学停止措置発令時における授業等は、休講とはせず、動画やオンライン教材等を用いたオンデマンド型の遠隔授業（以下、「オンライン授業」という。）で実施することを原則とする。

なお、登学停止措置発令時は当該一日の授業等は全てオンライン授業で実施することとし、授業担当教員は学生に対面授業実施等のため、登学を求めてはならない。

（登学停止措置の通知）

5. 登学停止措置発令に際し、学生及び職員へは金沢大学緊急連絡システム（C-SIREN）を介し通知するとともに、本学 Web サイト及びアカンサスポータルに情報を掲載し広く周知する。

6. （略）

（その他）

7. 第2に規定するもののほか、危機管理担当理事は、重篤な感染症の発生や、火災、大規模停電、その他の重大な事件又は事故により授業の実施が困難と判断する場合、登学停止措置の他、授業等を休講とすることができる。

学生及び職員への通知は登学停止措置に準ずる。

8. 各部局長は、第2及び第7の規定にかかわらず、授業実施に関して、大学全体と状況を異にすると判断する場合は、危機管理担当理事の許可を経て、学生の安全、公平が確保できる範囲内で、独自に授業の実施又は登学停止の措置をとることができる。

附則 （略）

講義室等設備一覧

フロア	講義室名	連結機	収容数	マイク	パソコン 投影	DVD (ビデオ)	スクリーン	冷房	単独暖房	情報 コンセント	実物投影	ブラインド	その他	
人間社会 第1講義棟	1階	101	○	356	○	○	○	○	○学務で	○		○	無線LAN	
		102	○	225	○	○	○	○	○	○	○	○	〃	
	2階	201	○	149	○	○	○	○	○	○	○		○	〃
		202		99	○	○	○	○	○	○	○		○	〃
		203		72	○	○	○	○	○	○	○		○	
		204		72	○	○	○	○	○	○	○		○	
		205		45		○	○	○	○	○	○		○	
		206		63		○	○	○	○	○	○		○	
	3階	301	○	149	○	○	○	○	○	○	○		○	無線LAN
		302		99	○	○	○	○	○	○	○		○	〃
		303		35		○	○	○	○	○	○		○	
		312 (演習室)		24		○	○	○	○	○	○		○	
		313		72	○	○	○	○	○	○	○		○	
		314		40	○	○	○	○	○	○	○		○	Web会議システム 無線LAN
		304 (演習室)		24		○(D)			○	○	○		○	
		305 (演習室)		24		○(D)			○	○	○		○	
		306 (演習室)		24		○(D)			○	○	○		○	
		307 (演習室)		18		○(D)			○	○	○		○	
		308 (演習室)		18		○(D)			○	○	○		○	
		309 (演習室)		18		○(D)			○	○	○		○	
310 (演習室)		18		○(D)			○	○	○		○			
311 (演習室)		16		○(D)			○	○	○		○			
人間社会 1号館	2階	207 (演習室)		20		○(D)			○	○	○	○		
	5階	502 (演習室)		20		○(D)			○	○	○	○		
人間社会 2号館	3階	多目的演習室		32		○			○	○				
	5階	第1実習室		20		○			○	○	○			
	6階	第2実習室		20		○			○	○	○			
学生課備付					4 (スピーカー付)		1	2					1	液晶プロジェクター：4 ノートパソコン：7 CD・MDラジカセ：1
教務員室備付													1	液晶プロジェクター：3 ノートパソコン：6 ポータブルDVD・BD プレイヤー：1

※「パソコン投影」欄の「D」はディスプレイを示す。